

- 一、救護所員ハ傷病者ニ對シ懇切丁寧ヲ旨トシ且救護ハ應急手當ニ止ムルコト
- 二、救護所ノ標識ハ成ルヘク公衆ニ知リ易カラシムル様装置スルコト
- 三、救護所員ハ故ナク救護所ヲ離レサルコト
- 四、救護シタル傷病者ノ取扱ハ左ノ各號ニ依ルコト
  1. 危篤ナル傷病者ハ最寄救護所ニ入ラシムルコト
  2. 輕症者ト雖成ルヘク通路ノ混雜セサルトキニ至リ歸家セシムルコト
  3. 傷病者ニシテ單獨歸宅シ得サルモノハ自宅ニ通知シ若シ引取人ノ來ラサルトキハ市役所ニ引渡ノ手續ヲナスモノトス
  4. 救護中死亡シタル者ハ前號ニ準シ取扱フコト

(三) 御大禮ニ關スル衛生上ノ各種統計

井水調査表

三重縣

所在地	所用者氏名	神宮司廳ノ距離	檢水種別	井ノ構造	井ノ状況
浦田町	神宮司廳	堀井戸 (勝手場一隅ニアリ)	堀井戸	コンクリート側 モルタル塗、徑 約四尺蓋蓋水 ポンプ付(鎖鑰 ヲ欠ク)	強同上留リハ何 レモセメントコ クリ叩キ使用
中ノ切町	小宮司官舎	南隣	堀井戸	セメンコンクリ ート側蓋蓋ボン プ付屋内	リト叩キ約三 間先便所アリ他 潔
外宮神苑	外宮齋館	約五十町	堀井戸(水源)	掘抜井戸(水源) 揚水ポンプニテ 汲引シ南方約二 町ヲ距ル齋宮ヘ 配水	地下約百五十尺 掘下ケタルモノ ナリト云フ
内宮神苑	内宮齋館	約十五町	堀井戸	井戸側セメンコ ンクリート屋外 蓋蓋鎖鑰付揚水 ポンプ上齋宮 ヘ配水	周囲神域樹木、 破損ノ爲修理ノ 管)潔
濱郷村	古館	約三十五町	堀井戸	井戸側コンクリ ートモルタル塗 繩ツルベ汲取 蓋付不完屋内	叩キ附近ハ樹木 不潔物ヲ認メス
四郷村	神宮皇學官	約三十三町	堀井戸	徑約四尺セメン トコンクリート 側 揚水ポンプ付屋 内	八間二尺
浦田町	祭主官舎		堀井戸	井戸側石積圓形 井徑約四尺屋形 付ツルベ井戸	三間

大便溜(約二間) 小便溜(約一間) 勝手場一隅 井戸周圍コンクリ

地面ト水面トノ距離	水	探酌日時	探酌當時ノ天候	探酌當時ノ温度	外観	臭味	反	アムモニア	硝酸	硫酸	過マンガン消費量	固形物總量	硬度(獨逸式)	寄生動物	水棲動物	細菌落數
十尺		十一月二日 午後〇時四十分	晴	攝氏 十八度	同	同	同	同	同	同	同	七、〇九〇	不檢出	ナシ	ナシ	八〇
十尺		十一月二日 午前〇時五十分	晴	攝氏 十八度	同	同	同	同	同	同	同	七、〇九〇	同	ナシ	ナシ	六五
十尺		十一月一日 午前十一時五分	晴	攝氏 十六度	同	同	同	同	同	同	同	七、〇九〇	同	ナシ	ナシ	二六
不詳(地上ヨリ井戸底迄約十五間)		十一月二日 午前十時五分	晴	攝氏 十四度	同	同	同	同	同	同	同	七、〇九〇	同	ナシ	ナシ	三五
八間二尺		十一月一日 午後二時	晴	攝氏 十七度	同	同	同	同	同	同	同	一、七二二	同	ナシ	ナシ	一三五
三間		十一月一日 午後二時三十分	晴	攝氏 十七度	同	同	同	同	同	同	同	一、〇六三	同	ナシ	ナシ	八五
九尺		十一月二日 午前十一時十分	晴	攝氏 十八度	同	同	同	同	同	同	同	一、〇六三	同	ナシ	ナシ	一一〇

病原	菌	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ		
非病原菌	八〇	ナシ	六五	ナシ	二六	ナシ	三五	ナシ	一三五	ナシ	八五	ナシ	一二〇
備考	一、本表中クロール、過マンガン酸カリウム消費量、固形物總量ノ數字ハ檢水一リットル中ノミリグラム量ヲ示ス 二、細菌落數ハ檢水一立方センチメートル中ノ個數ヲ示ス												

右ノ外宮崎文庫外十ヶ所ノ調査アルモ省略  
行幸啓直接關係者健康診斷成績

種別	健康		異常者		腹チフス菌有無検査	
	人員	健康	人員	異常者	検査人員	菌有無検査者
御料食品納入關係者	三二七					三二五
献上品及傳献品關係者	一六一					一六一
御料品關係者	一二六					一二六
行在所出入人夫	一五七					一五七
行幸啓事務關係者	三九五					三九五
皇族供奉員旅館關係者	三三七					三三七
同食品納入者	二〇九					二〇九
借上自動車運轉士	五四					五四
伺候者其他	二九二					二三一
神宮司應員	三一九					
土産物關係者	八三					
計	二、四六〇		九	八		一、九九五

海港防疫施設成績(自昭和三年七月一日至同年十二月一日)

防鼠設備	區分		除鼠施設	區分	捕鼠器ニヨル數
	倉庫等級	適宜倉庫數			
沿岸	A級 B級 C級	二八 一九 二	殺鼠劑ニヨル數	A級 B級 C級	五八 一四五 一三
倉庫	計	四九	鼠ニヨル數	計	二一六
準沿岸	A級 B級 C級	四三 一一六 六四	捕鼠器ニヨル數	A級 B級 C級	三九 八五九 六六二
倉庫	計	一一三		計	一、五六〇
防鼠設備完了倉庫	一二三				
地區					

御用牛乳ニ關スル事項  
御用牛乳ハ別紙ノ通り候補牛參頭及豫備牛一頭ヲ撰定ス  
乳牛検査成績表

検査月日	昭和三年十月五日	同	同	同	同	同	同
乳牛所有者	山田乳業者組合員	同	上	同	同	上	同

名	種	年	毛	産	體	分	容	性	乳	營	注	臨	備	備	備	備	備	備	備	備
稱	類	令	色	地	腰	娩	姿	質	量	養	射	床	考	考	考	考	考	考	考	考
三笠	ホルスタイン	七	白黒斑	北海	四尺五寸	昭和三年八月三日生	畸形損徴ナシ	柔順ニシテ惡癖ナシ	一斗一升	良	ツベルクリン	異常ナシ	清潔状態可良 従業人員他病者ナシ	三回分娩	三笠	一斗一升	一斗一升	一斗一升	一斗一升	一斗一升
ル第二淺間	上	七	上	自家	四尺五寸	昭和三年九月十五日生	上	上	一斗二升	同	ツベルクリン	異常ナシ	清潔状態可良 場内衛生可良 従業人員他病者ナシ	三回分娩	ル第二淺間	一斗二升	一斗二升	一斗二升	一斗二升	一斗二升
エコーボルド	外國種	五	白黒斑	上	四尺六寸	昭和三年六月	上	上	一斗一升	可良	ツベルクリン	異常ナシ	清潔状態可良 場内衛生可良 従業人員他病者ナシ	二回分娩	エコーボルド	一斗一升	一斗一升	一斗一升	一斗一升	一斗一升
白梅	ホルスタイン	六	白黒	上	四尺四寸	昭和三年八月	上	上	六升五合	良	ツベルクリン	異常ナシ	清潔状態可良 場内衛生可良 従業人員他病者ナシ	三回分娩	白梅	六升五合	六升五合	六升五合	六升五合	六升五合

比	脂	肪	重	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備
重	量	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考
一、〇二九二	三・五〇	一斗一升	一斗一升	四十日後ノ見込 乳量約六升六合	死體檢案施行檢案人員成績	自八月一日 至十一月廿八日	約七升五合	約六升八合	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上	約五升上
一、〇三三〇	三・五〇	一斗二升	一斗二升	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一、〇三一〇	三・五〇	一斗一升	一斗一升	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一、〇三三三	四・〇〇	六升五合	六升五合	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

市 町 村 宇治山田市 二見町 神社町 大湊町 御蔭村 四郷村

接客業者

一、七四六  
四〇六  
二二四  
四九  
一二  
一〇八

既往患家々族

二四六  
三〇  
二二  
四  
三一  
三三〇

濱郷村	六九		
豐濱村	一四一		
小俣村	一四一		
北濱村	七		
合計	二、七六二		

賜チフス豫防注射施行成績 (宇治山田警察署管内)

市	宇治山田市	注射人員	三、六三二
町	見町		一、四九七
	神社町		一、三五三
	大湊町		九一一
	御薊村		二、〇七一
	四郷村		一、八三三
	濱郷村		二、九四五
	豐濱村		三、八九九
	小俣村		一、四〇九
	北濱村		二、七九九
合計			二、三、三四九

檢病的戸口調査成績 (宇治山田市及附近町村)

調査延戸數 調査延人員 同上ニヨル發見患者

宇治山田市	二六、一九九
二見町	三、四六六
神社町	一、七三一
大湊町	一、八二四
御薊村	一、二六一
四郷村	一、五二六
濱郷村	二、六一八
豐濱村	二、二二九
小俣村	五五七
北濱村	三、八八五
其ノ他ノ町村	二五、六六九
合計	七〇、九九五

水質検査成績

宇治山田市	七、二〇六	適數	五、一七八	瀘過適數	一二三	不適數	一、九〇五	不適%	二六、四三
度會郡二見町	七九八		三九六	一一	三九一		四八、九九		
同 四郷村	六〇八		四八八	六四	五六		九、二一		
同 濱郷村	六三三		二七四	七	三五二		五五、六〇		
同 御薊村	四九〇		一五二	三三二	六		一、二二		
合計	九、七三五		六、四八八	五三七	二、七一〇		二七、八四		

飲食物其他物品検査施行成績表 自昭和三年十一月

種別	検査總數	検査ノ結果良ト 認メタルモノ	同上不良ト認メタルモノ
牛乳營業取締規則ニヨルモノ	二五二	二二二	四〇
水雪營業取締規則ニヨルモノ	四九	四九	—
清涼飲料水營業取締規則ニヨルモノ	六、一七七	五九二一	二五六
飲食物器具取締規則ニヨルモノ	二、三三九	二二五五	八四
人工甘味質取締規則ニヨルモノ	一、六七一	一六六九	二
飲食物防腐劑漂白劑取締規則ニヨルモノ	五、〇九二	五〇三七	五五
メチールアルコール(木精)取締規則ニヨルモノ	八	八	—
有害性着色料取締規則ニヨルモノ	一四	一四	—
其他	一、一七一	一一〇二	六九
飲料水	九、七三五	七〇二五	二七二〇
計	二六、五〇八	二三、二九二	三、二一六
其他縣令飲食物營業取締規則ニヨリ各種飲食物調製場ノ構造設備ニ就キ検査シタル成績左ノ如シ			
検査總數	八五三	三三八	二一一
検査ノ結果良ト認メタルモノ	五一一	三三八	—
同上不良ト認メタルモノ	—	—	—
縣令第二條違反	—	—	—
縣令第三條違反	—	—	—
尚各警察署へ通牒ヲ發シ清涼飲料水、アイスクーキ(第一表)或ハ各種飲食物營業者ニ對シ(第二表)一齊取締ヲナサシム其成績左ノ如シ			
第一表			
種別	検査總數	適數	不適數
清涼飲料水	四六八、二七七	四四四、五四六	二三、七三一
アイスクーキ	九二〇	八八一	三九
計	四六九、一九七	四四五、四二七	二三、七七〇

縣令飲食物營業取締規則項目

第 二 表	良	否
第 二 條	六、九八二	一、〇九九
第 三 條	八、八五八	一、一六〇
第 五 條	九、四三五	三六六

宇治山田市内  
救護成績

救護所	十一月十九日(宇治山田市へ着御ノ日)	十一月二十日(外宮御親詣ノ日)	十一月二十一日(内宮御親詣ノ日)	十一月二十二日(宇治山田市發御ノ日)	計
第一 山田驛附近	—	—	—	—	—
第二 外宮前	—	—	—	—	—
第三 縣立南勢病院	—	—	—	—	—
第四 警察署附近	—	—	—	—	—
第五 徵古館	—	—	—	—	—
第六 浦田停留場	—	—	—	—	—
宇治山田市内	三七	六五	一九	二〇	一四一
汽車沿道	六	—	—	—	六
救護成績	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

第七内宮前	一	一	六	一	七
第八山田上口驛	一	一	一	一	一
計	一五	二五	一一	八	五九

宇治山田市内救護成績 (二)日本赤十字社三重支部開設

救護所	十一月十九日(宇治)	十一月二十日(外宮御親訪)	十一月二十一日(内宮御親訪)	十一月二十二日(宇治)	計
山田驛前	一	一	一	一	四
市役所前	三	一	一	二	七
前田停留場附近	五	六	一	三	一五
徵古館東入口	五	二	一	一	九
楠部停留場	三	九	一	二	一五
浦田町	二	三	五	三	一三
離宮敷地	一	四	一	一	七
計	一九	三五	五	一一	七〇

宇治山田市内救護成績 (三)縣齒科醫師會開設

救護所	十一月十九日(宇治)	十一月二十日(外宮御親訪)	十一月二十一日(内宮御親訪)	十一月二十二日(宇治)	計
宮後町 山口齒科醫院	一	一	一	一	四
本町 前川齒科醫院	一	一	一	一	四
本町 西塚齒科醫院	一	一	一	一	四
吹上町 高森齒科醫院	一	一	一	一	四
館町 宇仁齒科醫院	一	一	一	一	四
計	五	五	五	五	二〇

汽車沿道救護成績 縣及縣醫師會開設

柘植驛	一	二	一	一	一	計
加太驛	一	一	一	一	一	五
關山驛	一	一	一	一	一	五
龜山驛	一	一	一	一	一	五
下之庄驛	一	一	一	一	一	五
一身田驛	一	一	一	一	一	五
津驛	二	二	一	一	一	七
阿漕驛	一	二	一	一	一	六
汽車沿道拜觀人	一	二	一	一	一	六
計	三	五	三	一	一	一二

一般拜觀人

十一月十九日	四一、七四三
同 二十一日	三七、四五六
計	七九、一九九

學生及各種團體

十一月十九日	二三、三〇一
同 二十一日	二二、〇〇二
計	四五、三〇三

一般拜觀人

十一月十九日	一四、二六七
同 二十日	一七九、八三九
計	一九三、一〇六

學生及各種團體

十一月十九日	二七、二七二
同 二十日	四一、一六一
計	六八、四四四

同 二十一日 五、五〇〇  
 同 二十二日 七八、一四〇  
 計 三七七、七四六  
 一八、四六〇  
 九〇、八九三  
 四六八、六三九

衛生施設調査成績 (宇治山田市)

宇治山田市	業 態		別	成 績		
	旅館	飲食店		料理店	優 良	否
九 九	一八二	九	二五	一四	三三九	三五
						二二六
						七八

備考 本調査ハ衛生技術員從事ス否ノモノニ對シテハ悉ク改善セシム  
 接客業者視察成績 (宇治山田警察署管内)

市 町 村	視察戸數	市 町 村	視察戸數
宇治山田市	三四八	市 町 村	六
二 見 町	五一	豐 濱 村	一
神 社 町	二三〇	小 俣 村	一二
大 湊 町	六〇	北 濱 村	七
御 菌 村	一	其ノ他ノ町村	七二
四 郷 村	九	合 計	七九五
市 町 村	九、四九六	市 町 村	九九八
宇治山田市	九、四九六	市 町 村	九九八

清潔方法及塵芥箱修理成績 (宇治山田警察署管内)

市 町 村	清潔方法 施行戸數	塵芥箱 修理箇數	市 町 村	簡易消毒 施行戸數
神 社 町	五〇五	二二五	豐 濱 村	八六九
大 湊 町	四五四	九〇	小 俣 村	八一五
御 菌 村	五一五	一	北 濱 村	五〇二
四 郷 村	七三四	一	其ノ他ノ町村	六、八七七
濱 郷 村	九二二	一	合 計	二二、六八七
市 町 村	九、四九六	一一、〇五〇	市 町 村	二二、四二五
宇治山田市	九、四九六	一一、〇五〇	市 町 村	二二、四二五

飲料井ニ對スル施設成績 (宇治山田警察署管内)

市 町 村	飲料井ニ對スル 施設成績	井側及周圍 修繕井數	簡易消毒 施行井數
二 見 町	八〇〇	一一〇九	八〇〇
神 社 町	三七九	二〇三	三七九
大 湊 町	三一七	四二	三一七
御 菌 村	四一九	一九	四一九
四 郷 村	三二五	六八	三二五
濱 郷 村	五九二	一一二	五九二
豐 濱 村	一	五	一
小 俣 村	一	六	一
北 濱 村	一	一九	一
其他町村	一、七一一	一、一六九	一、三九二
合 計	四、五四三	二、九六八	四、二二四

宇治山田市 五、〇一七  
 二見町 七五〇  
 四日市市 一四、九九八  
 津市 七、七三三  
 鳥羽町 三九三  
 計 二八、八九一

備考 四日市市ハ七月一日ヨリ其他ハ九月一日ヨリノ買収成績ナリ

「コレラ」豫防注射成績 (四日市警察署管内)

業態別	注射人員
沖仲仕	八一九
船行商	一五〇
船夫	二七四
漁業	九五〇
魚商人	一五二
其他	八
計	二、三五三
海港検査上「コレラ」菌検索成績	
船數	検査人員
一九	一、〇八九
	檢便人員成績陰性
	一、〇四八

昭和三年中 自一月至十一月 宇治山田警察署管内諸調査表

- 一、狂犬病豫防注射頭數 一、二四八頭
- 二、炭疽豫防注射頭數牛八七一頭、馬二二五頭、計一、〇九六頭
- 三、畜犬整理頭數

畜犬頭數		新タニ届出テタルモノ		鑑札再下附ノモノ	
牝	牡	牝	牡	牝	牡
六二九	八六一	八〇	六九	三三	一八
	計		計		計
	一、四九〇		一四九		五一

衛生講演會

開催場所	期日	聴講者數
四日市高等女學校	九月二十三日	約八百名
桑名町中橋座	九月二十四日	約千二百名
上野町廣榮座	九月二十九日	約八百名
津市市會議場	十月三日	約八百名
宇治山田市公會堂	十月十日	約千二百名
松阪町巴座	十月十一日	約一千名

以上ノ外九月三十日阿山郡柘植村ニテ活動寫真會ニ附帶シテ開催ス

(8) 愛知縣

御大禮ニ際シ我カ愛知縣衛生課ニテハ内務次官ノ依命通牒ト内務省ニ於ケル衛生課長會議ノ決議事項トニ基キ且ツ又昭和二年



陸軍特別大演習ニ於テ實驗シタル事項ヲ參酌シ以テ施設實行スヘキ大綱ヲ定メ昭和三年四月ヨリ夫々實行ニ着手シ年内ノ衛生状態ハ比較的良好ニ經過セリ今其ノ顛末ヲ左ニ記サム

甲、行幸啓關係衛生事項

第一、行在所御泊所御少憩所御昇降驛等ニ關スル件

一、名古屋市内全般ニ亘リ臨時清潔法ヲ施行スヘク六月十三日ヨリ着手十月末日終了セリ其ノ成績左ノ如シ	執行シタル戸數	事故ノ爲メ執行延期ノ戸數	再執行ノ戸數	消毒藥使用戸數
	四一、五五八		三二二	五四八
	三三、八〇八		六五	六一八
	六二、三七九		四一五	一、一三三
	三九、三〇三		五四	一五六
計	一七七、〇四八		五六六	二、四六五

二、名古屋驛及御通過沿道三丁以内ニ對シテハ檢病的戸口調査ヲ九、十ノ二ヶ月ハ各二回以上十月二十八日ヨリ十一月七日迄及十一月十八日ヨリ二十七日迄ハ毎日之ヲ行ヒ其ノ結果ハ翌日迄ニ報告セシムルコト、セリ其ノ十一月中ニ於ケル檢病戸口調査數ハ戸數五四、二二五、人口二三六、一四〇ナリ九月十月ノ分モ大差ナシ

而シテ御料品納付者附近ニ對シテハ十一月一日ヨリ毎日檢病的戸口調査ヲ爲シ宮内傳染病第一類第二類及傳染病患者並流行性腦炎患者發生シタルトキハ電話即報ト共ニ豫防措置ヲ爲スヘク所轄警察署ニ通達シ實行セリ其ノ調査戸數一八、〇七五人口七八、七一三ナリ

三、御泊所消毒ニ就テハ宮内省ヨリ依託無之直接施行セラル

第二、御料水御料氷御料乳肉其他御料食品ニ關スル件

一、御料氷御料乳肉及其他御料食品ノ取扱者及其ノ同居人百三十七名ニ對シ悉ク健康診斷並ニ保菌検査ヲ實施セシニ肺炎カタ

ル一名「トラホーム」患者一名發見遠慮セシメタルノ外ハ全部健康ニシテ糞便検査ノ結果何レモ保菌者ヲ發見セス

二、御料水ニ就テハ細菌學的及化學的ノ検査ヲ施行シタルカ適當ナルヲ認ム

所在地	名古屋離宮内	同	同	同	同	同	同	同	同
井戸ノ位置	御膳水	調理場傍	湯沸場傍	工作場前	天守西	同	同	同	同
探酌年月日	昭和三年八月十六日午前十一時十五分	同	同	同	同	同	同	同	同
天候	曇	同	同	同	同	同	同	同	同
探酌當日	晴	同	同	同	同	同	同	同	同
探酌當時氣溫	攝氏三十二度	同	同	同	同	同	同	同	同
探酌當時水溫	攝氏十七度五分	攝氏十八度	攝氏十七度	攝氏十八度	攝氏十七度	攝氏十七度	攝氏十七度	攝氏十七度	攝氏十七度
井戸周圍構造	完	全	井戸傍腐朽セリ	普通	普通	普通	普通	普通	普通
地面ヨリ水面マテノ距離	九米七	一米七三	九米五五	七米五二	七米三	七米三	七米三	七米三	七米三
水深	二米〇	一米八八	一米三七	一米二五	〇米九四	〇米九四	〇米九四	〇米九四	〇米九四
外觀	無色透明	同	同	同	同	同	同	同	同
固形物總量	一二四、〇〇〇	一七六、〇〇〇	一四〇、〇〇〇	一九二、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	一〇八、〇〇〇
クロール	八、八六〇	一〇、六三〇	四、九六〇	八、一五〇	四、九六〇	四、九六〇	四、九六〇	四、九六〇	四、九六〇
硫酸	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
硝酸	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
亞硝酸	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
アンモニア	檢出セス	同	同	同	同	同	同	同	同
硬度	三、六六〇	三、三三〇	四、三三〇	七、六六〇	三、一六〇	三、一六〇	三、一六〇	三、一六〇	三、一六〇
有機質酸化ニ要スル「カメレオン」消費量	四、一〇〇	五、三七〇	三、一六〇	一、五八〇	二、八四〇	二、八四〇	二、八四〇	二、八四〇	二、八四〇
一立方センチメートル中細菌墜數	四五	一四七	三九〇	一五七	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇

細菌ノ種類

二

二

五

二

二

四一〇

御膳水其他飲料水ニ就テハ離宮當局ト打合セノ上先ツ八月上旬及十月上旬ノ二回ニ亘リ淺深ヲ行ヒ尙水質検査ヲモ併セ行ヒ

上水道ニ就テハ十月二日名古屋市長並ニ鍋屋勝川、犬山各警察署長ニ對シ配給並ニ水源地濾過池沈澱池貯水池開渠地等ノ監視警戒方ニ付通牒ヲ發シ之カ勵行セリ

尙豫備トシテ名古屋偕行社内水道水ノ化學的検査及細菌検査ヲモ施行セリ

検査成績書

御膳水

所在地 名古屋偕行社内水道水

採酌年月日時 昭和三年十月十八日午前十時四十二分

採酌當時氣溫 攝氏二十四度

採酌當時水溫 攝氏十九度

採酌當時天候 前日曇

理學的検査ヲ遂クルニ左ノ如シ

無色透明ニシテ異臭味無ク反應弱アルカリ性ナリ

化學的検査ヲ遂クルニ左ノ如シ

固形物總量	一六五、〇	亞硝酸	同
クロール	二、八三六	アンモニア	同
硫酸	不檢出	有機質酸化ニ要スルカメレオン消費量	一、五八〇
硝酸	同	硬度	(獨逸法) 一、一三〇

三、御料米ハ名古屋市中區松重町日東製氷株式會社名古屋出張所ニ指定アリシヲ以テ技術員ヲ派遣シ原料精選及清潔狀態等ニ付検査セシムル等衛生上ニ關シ遺憾ナキヲ期セリ

四、御料牛乳ノ檢定ハ名古屋市及其ノ附近ノ牛乳搾取所ヘ技術員ヲ派遣シ検査セシメタルニ名古屋市東區千種町字一ノ神愛養社事清水太郎カ衛生的設備最モ完全ニシテ且ツ多數ノ優良乳牛ヲ繋留シ居リ既ニ回ヲ累ネテ御料牛乳ノ光榮ニ浴シタルモノナレハ其ノ旨行幸主務官ニ報告シ同人ヲ納入者ト撰定アリ然シテ小富士號ヲ御料乳牛ニ芙蓉號ヲ豫備乳牛ニ決定ノ旨十月二十九日通報アリ

五、御料肉ノ屠室ハ名古屋市ニ於テ同市營屠場内ニ特設シタルヲ以テ之ニ充テ御料肉納入者ハ名古屋市東區富澤町階樂亭事梅澤富次郎ニ指定アリシヲ以テ同人ハ肥育セル優良ナル肉牛ヲ選定シ名古屋屠場御料屠室隣室ニ繋留シ行幸ノ際ハ十一月二日還幸ノ際ハ十一月二十一日何レモ午前六時獸醫及所轄江川署衛生主任巡查部長立會ノ下ニ屠殺ヲ了シ納入ス

六、御料米御料乳肉納入者周圍三丁以内ニ宮内傳染病患者發生シタル場合ハ電話即報シ尙本年一月以降發生セシ傳染病患者ヲ圖示報告セシメ防疫上ニ關シ特ニ留意セルカ御料牛乳納入者周圍ニテハ腸チフス、流行性耳下腺炎患者各一名、御料肉納入者周圍ニテハ腸チフス患者三名ヲ發見セリ

七、御料食品ノ生産地ニ於ケル衛生狀態殊ニ傳染病ノ關係ニ就テハ衛生技術員ヲ派遣嚴重調査ヲ爲シ遺憾無キヲ期セリ

八、蔬菜果實類ノ栽培無之

九、御料品ノ容器取扱ヒニ付テハ技術員ヲ派シ實地ニ就キ監督ヲ嚴ニシ萬遺憾無キヲ期セリ

第三、行在地御泊所御少憩所等ニ出入スル者ニ關スル件

一、拜謁者ニ對シテハ心得書ヲ印刷之レヲ交付シテ心得事項ヲ遵守セシメタリ

二、離宮諸員五十九名及出入スル大工左官等ノ労働者四百三十九名ヲ始メ縣廳ノ大禮事務委員百八十二名及供奉員自動車運轉手百九十二名ニ至ル迄全部健康診斷及保菌検査ヲ行ヒタルカ悉ク健康ナリ

第四、飲食料品以外ノ御料品御用品並献上品天覽品ニ關スル件

御料品御用品並献上品天覽品上納者ニ對シテハ健康診斷並ニ糞便検査ヲ行ヒタルニ何レモ健康ナルコトヲ認メタリ尙左記心得書ヲ各戸ニ配布シテ遵守セシメ相待テ衛生上遺憾無カラシメタリ

御用飲食物調製上納者心得

- 一、御用品調製又ハ製造ニ従事スル者ハ勿論其ノ家族同居者ハ豫メ縣衛生課ノ健康診断並ニ菌保有ノ有無ニ就キ検査(糞便検査)ヲ受ケ從業員ハ常ニ健康證明書ヲ携帯スルコト
- 二、御用品調製所又ハ製造所ハ豫メ消毒の清潔方法ヲ行ヒ常ニ塵埃ノ飛散防止ニ努ムルコト
- 三、御用品調製所又ハ製造所ハ之ヲ他ノ場所ト區別シ調製又ハ製造以外ノ者ヲシテ出入セシメサル様注意スルコト
- 四、御用品調製又ハ製造ニ従事スル者ハ身體被服ノ清潔保持ニ留意シ調製又ハ製造ニ際シテハ清潔ナル白衣白帽ヲ着用シ並ニ「マスク」ヲ掛ケ且ツ從業前手指ヲ石鹼及温湯ヲ以テ清洗シタル後更ニ「アルコール」ヲ以テ拭淨スルコト
- 五、調製又ハ製造ニ要スル器具器械容器其ノ他ノ使用器具類ハ縣衛生課ノ検査ヲ受ケ煮沸又ハ蒸氣消毒其他適當ナル消毒ヲ行フコト
- 六、上納函及籠ノ類ハ新鮮ニシテ適當ノ消毒ヲ行ヒタルモノヲ使用スルコト
- 七、調製所又ハ製造所ニハ蠅其ノ他昆蟲類ノ侵入ヲ防クニ足ルヘキ適當ノ設備ヲナスコト
- 八、調製又ハ製造原料並ニ包装用品ハ豫メ縣衛生課ノ検査ヲ受クルコト
- 九、調製又ハ製造用水ハ總テ煮沸シアルモノヲ使用スルコト
- 十、御用清酒又ハ御用製氷ハ豫メ縣衛生課ノ検査ヲ受ケタル後之ヲ嚴封シ置キ詰換ヘ又ハ切出ノ際ハ縣衛生課技術員立會ノ下ニ之レヲ爲スコト
- 十一、御用ニ充ツル壺及栓ノ類ハ能ク清洗シタル後之レヲ三十分以上煮沸スルコト
- 十二、御用清酒ノ詰換ハ縣衛生課ノ適當ト認メタル方法ヲ以テ之ヲ爲スコト

第五、皇族御旅館及供奉諸員旅館ニ關スル件

愛知縣警察部衛生課

皇族並供奉員ノ御旅館ニ對シテハ家族同居人及出入者ニ對シテ全部健康診断並ニ保菌検査ヲ行ヒタルニ何レモ健康ナリ一方飲食

物調理場ニ對シテハ技術員ヲ派遣シ實地調ニセ查シメ左記心得書ヲ各戸ニ配布シ衛生上遺憾無カラシメタリ

皇族、貴賓、供奉員ノ御旅館並ニ飲食物調進所ノ衛生及其ノ心得

- 一、邸宅ノ内外ハ常ニ掃除ヲ怠ラス清潔ニナシ置クコト
- 二、室内ハ時々掃除シ且戸障子ヲ開放シ換氣ヲ計ルコト
- 三、柱敷居鴨居及襖障子ノ引手等ハ清拭シ置クコト
- 四、寢具類敷物等ハ御投宿前日光ニ曝シ清潔ニ爲シ置クコト
- 五、寢具其ノ他飲食物器具等ハ本年五月以降傳染病ノ發生シタル家又ハ肺結核癩等ノ傳染性疾患アル家ヨリ借リ入レサル様注意スルコト
- 六、寢具ハ清潔ナル白布ヲ以テ被包シタルモノヲ用ヒ襟掛枕掛等モ清淨ノ白布ヲ以テシ毎日清淨ノモノト取換フルコト
- 七、傳染性疾患アル者ハ勿論一切ノ病者ヲシテ飲食物ノ調理又ハ給仕等ヲ爲サシメサルコト
- 八、庖厨ノ作業ニ従事スル者及給仕人ハ之ヲ一定シ置クコト
- 九、料理人ハ清潔ナル衣類ヲ着用セシメ作業ノ際ハ白キ胸掛ヲ用ヒシムルコト
- 一〇、食事ノ給仕ヲ爲ス者ハ必ス供膳前石鹼及湯ヲ用ヒテ手ヲ洗滌シ且含嗽スルコト
- 一一、凡テ飲食物及飲食物用器具ニハ適當ナル覆蓋ヲ爲シ塵埃昆蟲類ノ附着ヲ防クコト
- 一二、飲食物ノ調理場ハ採光換氣ヲ充分ナラシメ常ニ清潔ヲ保持シ且蠅其ノ他昆蟲ヲ驅除スルコト
- 一三、宿舍外ノ調理場等ヨリ飲食物ヲ運搬スル場合ハ清潔ナル運搬器ヲ用ヒ覆蓋ヲ完全ニシ更ニ白布ヲ覆ヒ塵埃昆蟲類等ノ附着セサル様注意スルコト
- 一四、飲食物ノ調理ニヨリ生スル廢物ハ凡テ覆蓋アル一定ノ容器ニ收集シ一日一回以上他ニ搬出シ停滯セシメサルコト
- 一五、銅青銅製ノ器具ハ使用前充分ニ磨キ固有ノ光澤ヲ有セシメ且該器具ニシテ調理シタル飲食物ハ直ニ瀬戸物其ノ他ノ器物ニ移スコト

- 一六、飲食物ノ調理器ニシテ珧瑯ノ剝離シタルモノ又ハ銅青銅等ノ器具ニシテ鍍化シタルモノハ使用スヘカラサルコト
- 一七、飲食物用器具其ノ他口ニ觸ルヘキモノヲ（小揚子類）用ニ供セントスル場合ハ淨水ニテ洗滌シ且熱湯ヲ灌クコト
- 一八、飲料水ハ勿論洗滌水（盃洗ノ水等）モ一旦煮沸放冷シタルモノヲ用フルコト
- 一九、飲食物ハ新鮮ナルモノヲ選ヒ腐敗シ易キモノ及前日調理シタルモノ若ハ不熟ノ果物潤濁セル「ビール」「サイダー」等ハ一切調進セサルコト
- 二〇、風呂場浴槽水槽等ハ使用前清潔ニ掃除シ且熱曹達設ニテ擦拭シ其ノ後ハ使用毎ニ淨水ニテ洗滌スルコト
- 二一、風呂場洗面場ニハ清潔ナル容器ニ新鮮ナル多量ノ清水ヲ備フルコト但シ洗面及ヒ口嗽用ノ水ニハ煮沸水ヲ用フルコト
- 二二、室内廊下等ニテ目觸リトナラサル適當ノ場所ニ清潔ナル唾壺ヲ備ヘ毎日掃除ヲナスコト
- 二三、厠固ハ専用トシテ充分清潔ニシ御投宿前之ヲ汲ミ取り同時ニ石灰ノ類ヲ撒布シ鋸屑、粗穀等ヲ投入シテ乾燥セシメ置キ毎日一回以上掃除シ尿尿ハ充溢セサル様夜間汲ミ取り搬出スルコト
- 二四、便所ニハ「クロー」石灰ヲ以テ消毒シタル上淨水ヲ堪ヘタル流水装置ノ手洗器ヲ設置スルコト
- 二五、下水其ノ他汚物溜ハ停滯又ハ充溢セシメサル様清潔ニ掃除スルコト
- 二六、炊事場、浴場等火氣ヲ取扱フ場所ハ時々煙筒其ノ他ヲ掃除シ時々見廻リ火災ノ豫防ニ注意スルコト
- 二七、消火器ヲ設備スルコト但シ從來ヨリ備附アルモノハ豫メ使用試験ヲ行ヒ且家人ヲシテ其ノ扱方ヲ會得セシメ置クコト
- 二八、非常用水ヲ備ヘ置クコト
- 二九、常用燈火ノ外成ルヘク豫備燈ヲ備ヘ萬一ノ故障ニ差支ナカラシムルコト  
洋燈ヲ用ヒサルヘカラサル場合ハ其ノ油壺ハ金屬製ヲ用フル事
- 三〇、戸締ヲ完全ニナシ火災及盜難ヲ警戒スルコト
- 三一、客室ニハ貴重品ノ保管ニ適スル装置ヲナスコト
- 三二、非常口ハ豫メ調査シ置キ萬一ノ場合支障ナキ様爲シ置クコト

昭和三年

愛知縣

皇族御旅館及供奉員諸員旅舎關係健康成績表

種別	健康人員	病別		糞便検査數	保菌者數
		脚氣	計		
皇族御旅館及其他 供奉員旅舎	一五九	一	一	一九二	

第六、行幸啓地方ニ於ケル傳染病發生狀況通報ノ件

- 一、衛生局長通牒ニ基キ四月一日ヨリ十月十三日迄傳染病患者ノ發生報告ハ週報ナリシモ十月十四日ヨリ日報トシ隣縣ヘモ互報セリ
- 二、行幸啓ニ關係アル都市ノ傳染病流行性感冒麻疹流行性耳下腺炎流行性腦炎發生狀況ハ八月一日ヨリ警察署長ヲシテ日報セシメ之レヲ週報トシ十月十五日ヨリハ電話報告セシメ宮内省内務省大禮主務官京都府廳内内務省出張所ヘ送附セリ

乙、一般衛生事項

第一、飲料水ニ關スル件

- 一、水道布設地タル名古屋市ニ對シテハ水道水ノ使用ヲ奨勵シ特ニ衛生上取締ヲ要スル各種營業者ニ對シテハ之カ使用ヲ實行スヘキ様通牒シ實施セリ
- 二、水道水ノ配給水源地貯水地濾過地沈澱地開渠地ノ清淨保護警戒ニ就テハ十月三日名古屋市及其ノ關係地所轄鍋屋勝川犬山ノ各警察署ヘ通牒シ嚴重監視警戒ヲ勵行セリ
- 三、飲料水ノ検査ハ技術員ヲ派遣シ郡部及名古屋市内ニ於テ検査ヲ爲シタルニ左表ノ通りニシテ其ノ成績良好ナラサルヲ以テ改善方法別冊ヲ添ヘ名古屋市並ニ關係警察署長ヘ通達シ協力ヲ實績ヲ舉クルニ努メタリ尙此種不良井水ニ對シテハ「クロー」消毒ヲ勵行シ開放井戸ニ對シテハ可成ポンプ若クハ覆蓋裝置ヲ爲サシムル様夫レノ通牒セリ

飲料井水検査成績(名古屋市内一部)

施行地	検査總數	適當ナルモノ	濾過ヲ要スルモノ	煮沸ヲ要スルモノ	不適當ナルモノ
岩塚町桑原町方面	一、一八七	二九五	六三	三三四	四九五
野立町方面	一九八三	二九三	三五	四三一	一、二二四
荒子町方面	九八五	一一二	三八	一二九	七〇六
小碓町方面	五四七	三四	三三	五一	四二九
合計	四、七〇二	七三四	一六九	九四五	二、八五四

飲料井水検査成績(郡部一部)

施行地	検査總數	適當ナルモノ	濾過ヲ要スルモノ	煮沸ヲ要スルモノ	不適當ナルモノ
丹羽郡犬山町	一、三二二	三四二	六	七三六	二二七
愛知郡下ノ一色町	九一〇	二二	五	八八	七九四
西春日井郡庄内町	五七二	二七三	二三七	一三	四九
西枇杷島町	七六七	五三六	四三	六三	一二五
川中村	一一八	八一	七	一九	一一
荻野村	二四八	一九八	一一	二七	一一
合計	三、九二七	一、四五四	三〇九	九四六	一、二一八

第二 清潔保持ニ關スル件

一、街路又ハ之ニ沿ヒタル河川溝渠及ヒ下水溝ニ對シテハ掃除監督ヲ勵行シ以テ清潔保持スヘキ様名古屋市當局ト協商之カ勵行ニ努メタリ

第三 塵芥處分ニ關スル件

一、名古屋市内各戸ニ完全ナル塵芥容器備附ヲ勵行シ破損セルモノ又ハ覆蓋ナキモノハ改善修理セシメ塵芥ノ搬出回数ヲ増加シ塵芥ノ蓄積散出ヲ防キ塵芥取扱場及焼却場ノ設備ヲ完全ナラシメ掃除監督ヲ勵行シ以テ塵芥ノ處分ニ遺憾ナカラシムルヘク督勵セリ

第四 屎尿處分ニ關スル件

一、共同便所ニシテ位置又ハ設備不適當ナルモノハ改造又ハ修理シ且ツ鹵簿御沿道拜觀者ノ爲メニ假設便所ヲ設クル様市當局ニ協商セシ結果假設便所ヲ設置シ尙御沿道住家四百二十戸ニ對シ便所ノ使用承認ヲ得全部開放セリ  
 二、共同便所ノ消毒ヲ施行シ内外ノ清潔保持ニ努メ特ニ汲取リヲ怠ラサル様當局ニ通牒シ之レカ勵行ニ努メタリ水槽便所ニ對シテハ特ニ嚴重ナル検査監督ヲ加ヘ其ノ設備不完全ナルモノニ對シテハ適當ナル改善ヲ行ヒ各戸便所ハ汲取リヲ勵行セシム

第五、飲食物取締ニ關スル件

一、屠場内外ノ清潔殊ニ汚物ノ處置等ノ監督ヲ嚴ニシ屠夫其他ニ對シ規定ノ被服ヲ着用セシメ其ノ清潔ニ注意シ泥土其他不潔物ノ附着セル靴ヲ穿タシメサル様又運搬器具ノ清潔ニ對シテモ一段ノ取締ヲ爲ス様縣下各署ヘ通牒取締セリ  
 二、牛山羊乳搾取所及販賣店ニ對シテ搾取室取扱室其ノ他營業場ハ常時汚物掃除ニ努メ清潔保持セシメ従業員ノ健康状態ニ注意シ傳染病疾患ノ疑ヒアル場合ニハ特ニ技術員ノ派遣ヲ申請セシメ尙防蠅設備ヲ爲シ蠅ノ驅除ニ努メ諸容器ノ清潔保持セシメ不潔物ノ竄入防止スル様各警察署並ニ技術員協力取締ヲ爲セリ  
 尙牛乳ノ検査ヲ勵行シ以テ乳質ノ改善ニ努メタリ

三、飲食物製造所販賣店ノ從業者ニ對シテハ特ニ被服及手指ノ清潔ニ留意シ飲食物ニ對シテハ其ノ原料ヲ精選セシムルハ勿論

刺身鮎等ノ如キ其ノ儘食スヘキモノニ對シテハ防塵防蠅ノ方法ヲ講セシメ器具ハ一客毎ニ洗滌ノ上清潔ナラシメ設備ヲ完全ニシ飲用水飲食物ノ浸漬水飲食物器具洗滌水ハ善良ナルモノヲ用フヘキ様警察署並ニ技術官ト協力取締ヲ勵行セリ

四、公設市場ニ於ケル衛生施設ニ就テハ特ニ七月二十六日野菜洗場ノ清潔用水ノ清淨生魚熟煮飲食物等ノ覆蓋並ニ給水設備ヲ完全ニシ以テ食品市場取締法令ノ遵守方名古屋市當局ニ督勵スルト共ニ警察官吏並ニ衛生官吏ヲシテ取締ノ勵行ヲ期セリ一面私設市場ニ對シテハ前記同様取締方關係各警察署ヲ督勵シ實效ヲ期セリ

五、名古屋市内並ニ之ニ隣接セル勝川西枇杷島ノ各警察署管内ニ於ケル特種飲食物業者及家族従業員ニ對シ糞便検査ヲ勵行シタルニ何レモ保菌者ヲ發見セス其ノ成績左表ノ通り

特殊營業者保菌検査成績表

牛乳營業検査數	有菌者	清冷飲料水營業検査數	有菌者	水雪營業者検査數	有菌者
一、〇五二	ナシ	三六七	ナシ	一三九	ナシ

六、飲食物及飲食物用器具ニ關シテハ技術員ヲ派遣シ取締ヲ勵行シタル結果其ノ成績左表ノ通り

昭和三年九月末日

種別	検査數	同上有害件數	有害件數ノ取締規則別		
			水雪營業取締規則	清冷飲料水營業取締規則	飲食物用甘味質白劑取締規則
天然氷	一五	三			
人造氷	四一		三		
ラムネ類	二二六※	四			
サイダー類	一六六※	四			

種別	検査數	同上有害件數	有害件數ノ取締規則別		
			水雪營業取締規則	清冷飲料水營業取締規則	飲食物用甘味質白劑取締規則
リモナイデ	三〇〇※	一			
果實汁	一一				
果實密及類似品	一七四※	二			
陶磁器類	八一〇	五			
珪瑯鐵器類	三五				
鍍錫器具類	五				
其ノ他飲食物用器具	四				
菓子類	一、〇五三×	二一			二一
蒲鉾類	九〇※	七			七
漬物罐詰詰類	二五六※	二			二
醬油	一、三一八※	九			
清酒	一、一五三※	八			八
葡萄酒	三二				
蒸溜酒	四五〇				
其ノ他酒精含有飲料	六四七×	一			三三
其ノ他飲食物	三、〇〇二×	三三			一
玩具類	七六※	四			
其ノ他	四				
合計	九、一四九	一〇四	三	二	六三

※廢棄 ○衛生上危害ナキ方法 ×物品ナキトキ

營業種別	検査件数	調理場		飲食物器具類			覆蓋	便所并戸 其ノ他ノ 關係	摘要
		不潔	清潔	不潔ノモノ	錆蝕ノモノ	故障ノモノ			
公設市場	一三								
一般飲食店	九五								
清涼飲料水製造場	六二								
計	一七〇	九	三六	五	五	七	七	一五	七四四
									注意セリ

第六、旅館料理店飲食店貸座敷等ニ關スル件

一、旅店料理店其ノ他一般飲食店ニ對シテハ十月中二回縣下一齊取締ヲ勵行シ尙名古屋市内及勝川西枇杷島管内業者ニ對シテハ衛生心得書ヲ印刷シ各戸ニ配布實行ヲ促シ以テ衛生上遺漏無キヲ期セリ

宿屋料理店其ノ他一齊取締結果(昭和三年十月中二回施行)

業別	取締戸数	取締結果			注意處	罰金計
		調理場不潔	飲食用器具金 屬固有光澤ナ キモノ	同上器具類 落セルモノ		
宿屋	四、三八七	四七五	一三六	六〇	六七	一四三
料理店	六、三九一	六九〇	二八一	一七〇	一二四	一、五六八
其他	六、八二七	七二一	二九三	一一五	一一〇	二、一〇四
計	一七、六〇五	一、七八六	六五六	三四五	三一一	四、五九四

第七、其ノ他衛生上取締ヲ要スル各種營業ニ關スル件

一、劇場活動寫眞館寄席諸興行場ニ對シテハ場内ノ清潔及換氣ヲ圖リ畳及板ノ間ハ克ク拂拭シ座蒲團敷物類ハ時々日光消毒ヲ

爲シ仲買人ニハ被服手指ノ清潔ニ注意セシメ且ツ飲食物ハ防塵防蠅ノ法ヲ講セシメ唾壺ノ配置ヲ周到ニシ便所ノ清潔ヲ保持シ尿尿ノ充溢セサル様取締ノ徹底ヲ期セリ

諸興業場監査成績表

月別	取締数	違反数	同上處分	
			說諭處罰	計
八月	一五一	一四	一三	一五
九月	一五四	一四	一四	一四
十月	一五二	一六	一六	一六
十一月	一五〇	七	七	一七
計	六〇七	五二	五〇	五二

二、理髮店鋪器具ノ清潔ニ留意シ消毒方法ノ徹底ヲ期スヘク取締ヲ勵行セリ其ノ成績左ノ如シ

理髮營業監査成績表

月別	取締数	違反数	同上處分	
			說諭處罰	計
八月	五、四五二	二六三	二五八	五
九月	五、七七六	三二七	三二七	
十月	五、九四七	三五六	三五四	二
十一月	六、〇七五	二九二	二九〇	二
計	二二、二五〇	一、二三八	一、二二九	九

三、浴場並衣類箱ノ清潔保持ニ注意シ毎日浴場ノ更新ヲ行ヒ浴槽洗場小桶ノ掃除ヲ周密ニシ唾壺ノ配置ヲ適當ニ爲サシムル等取締セリ

湯屋營業監查成績表

月別	取締數	違反數	同上處分別	
			說諭處罰計	計
八月 中	一、一四四	一一四	一一四	一一四
九月 中	一、一七四	一三七	一三五	一三七
十月 中	八五七	一三八	一三八	一三八
十一月 中	七六五	六五	六四	六五
計	三、九四〇	四五四	四五二	四五四

四、營業用寢具ノ類ハ清潔ニ保持スル様取締ヲ勵行セリ  
 五、多數人ヲ使備スル各種工場會社等ニ對シテハ内外ノ掃除ヲ勵行シ清潔ヲ維持シ場内ニハ安全ナル飲料水ヲ供給シ飲食物用器具ヲ清潔ニシ共用手拭ヲ廢シ便所ノ消毒ヲ行ヒ寄宿舎ノ換氣採光ヲ計リ寢具敷物ノ日光消毒ヲ勵行シ舎内適當ノ位置ニ唾壺ヲ配置シ防蠅ニ努メ職工其他使備人ノ健康狀態ニ注意勵行セリ

第八 花柳病豫防ニ關スル件

一、縣下各郡市ノ適當ナル地域ヲ限リ保健組合ヲ組織セシメ診療所ノ設立ヲ促シ一面技術員ヲ派遣シ警察當局ト連絡シ接客業主ヲ會同セシメ講演會ヲ開催シ花柳病ニ對スル衛生思想ノ喚起ヲ計ルト共ニ客用豫防藥器具ヲ備付セシメ洗滌設備ヲ完全ナラシメ花柳病傳播ノ虞アル接客業婦ニ對シテハ花柳病診療施設ノ充實及豫防智識ノ啓發ニ努メタリ

花柳病豫防講演會開催狀況調

聽講人員

一四、四三〇人 藝妓、酌婦、料理屋藝妓置屋、女給、組合員及娼妓

昭和二年密賣淫人員健康診斷結果取調表

藝妓	酌婦	其他	計
檢診人員	檢診人員	檢診人員	檢診人員
患者	患者	患者	患者
七〇	二〇	一四	八〇
	五三	三五	三五
		二〇三	二〇三
		六九	六九

花柳病診療患者表

年別	男	女	計	同上ノ内死亡	
				男	女
大正十三年			八、六九九		五一
同十四年			一五、四六八		二一
同十五年			一二、六五一	二一	一六
昭和元年	九、九四六	二、七〇五	一二、六五一	二一	一六
昭和二年	七、八四九	一、四六一	九、三一〇	三	三
昭和三年	四、七六四	七七六	五、五四〇	二	一
自昭和八年八月					三

備考 本表ハ縣令醫師法施行細則ニ依リ醫師ヨリ届出タル患者數ヲ計上シタルモノナリ

大正十四年以前ニ在リテハ同細則ニ於テ男女別ニ届出スヘキ規定ナカリシヲ以テ性別數不明ナリ

第九 結核トラホーム豫防ニ關スル件

一、結核豫防法令トラホーム豫防法令ノ規定スル處ニ從ヒ接客業者ノ健康診斷及トラホーム檢診ヲ行ヒ尙興行場貸、座敷、料



理店、旅館、飲食店等ニハ適當ノ唾壺ノ配置勵行、多衆集會場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ノ共用手拭撤去、洗面手洗裝置等清潔保持ニ付嚴重取締ヲ勵行セリ

結核檢診成績表 (昭和三年)

健康診斷ヲ受ケタル人	患者ト決定セシ人員	受診者ニ對スル患者比	從業禁止ヲ諭旨人員	從業禁止ヲ命セシ人員	備考
六〇、三八三	一六	〇、二六	一六		

トラホーム檢診成績表 (昭和三年)

種別	性別	檢診人員	患者數				不參人員	檢診者ニ對スル患者百分比
			重症	輕症	疑似症	計		
壯丁	男	一八、五〇五	二二二	一、九八七	七五九	二、九四八	六三八	一五、九三
	女	一八、〇〇五	一三〇	一、二四八	五二九	一、九〇七	二二二	九、三五
接客業	男	三五、二二〇	一七六	一、九二七	九八一	三、〇七一	三二二	七、六八
	女	四一、〇三二	九五	一、八五七	六五一	二、六〇三	一、〇六五	五、六五
工場	男	六二、七九三	三二〇	三、七五八	一、二二〇	五、二九八	一、〇四四	八、七四
	女	九、一一〇	八	三三〇	一三八	四七六	二八七	
學校	男	八六、七一四	二五	三七八	一五六	五五九	一三六	
	女	一〇六、一二三	四四五	五、四二二	二、〇七七	七、九四四	二、二一一	
合計	男		五二一	六、〇六三	二、三三七	八、九一八	一、五〇一	
	女		五二一	六、〇六三	二、三三七	八、九一八	一、五〇一	

第十 癩豫防ニ關スル件

癩豫防ニ就テハ相當留意シ發見患者ニ對シテハ成ルヘク療養所或ハ適當ノ場所ニ隔離シ尙浮浪徘徊ノ患者ニ對シテハ取締方ヲ特ニ通達シ群集中ヘ出入セサルヤウ取締レリ尙昭和三年中第一區府縣立全生病院ヘ送致セシ患者ハ男十一名女四名ニシテ同年末現在收容人員ハ男六十五名女十六名ナリ

第十一 精神病者ニ關スル件

監置精神病者ニ對シテハ警察署ヲシテ月二回乃至三回以上視察ヲ爲サシメ一面衛生課員ヲ派遣實地視察ヲ勵行未治輕快等ニヨリ監置廢止ノ場合ハ主治醫ト連絡シ當廳主任醫師ノ立會診斷ヲ行ヒ以テ取締ノ目的ヲ達スヘク勵行セリ

監置精神病者視察取締成績表

月別	總數	視察方法		給養其ノ他待遇ノ適否	室内臥具其他飲食物衛生上適否	病者ノ容體	監置室ニ異狀有無	其ノ他
		適	否					
七月中	一九七	適	否	一九七	一九六	一八八	一九七	
八月中	二四九	適	否	二四八	二四八	二四七	二四九	
九月中	二五二	適	否	二五二	二五二	二五二	二五二	

第十二 防疫ニ關スル件

一、名古屋市及御大禮還幸啓鐵道沿線並ニ前年流行セシ地域貧民部落木賃宿其ノ他必要ト認ムル場所ヲ始メ全縣下ニ亘リ檢病的戸口調査ヲ勵行セリ

一齊檢病の戸口調査成績表

月別	戸数	人員	發見患者		赤痢	腸チフス	フバラチ	癩疹	其ノ他	計
			赤痢	腸チフス						
九月	三九六、七四一	一、九九九、七〇一	一	二二					一八	四七
十月	四三六、一五四	二、〇五九、一七五	四	一一					四	二〇
合計	八三二、八九五	四、〇五八、八七六	五	三三					二二	六七

傳染病患者現在表 (十月二十日)

市郡別	赤痢		腸チフス		バラチフス		チフテリア		猩紅熱		流行性腦脊髄膜炎		痘瘡	
	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計	現患	累計
丹羽郡	六	四八	一〇	三五	一	二								
西春日井郡	二	五二	四	一八										
東春日井郡	二	三〇	一四	六一										
愛知郡	六	一七三	五	一五										
一宮市														
岡崎市	一	一一九	一六	八七										
豊橋市	一四	五五二	四二	二〇二										
名古屋市	一九七	四七〇	二一三	五五七	八	二五	二	五八	一一	五二				
現患累計	一九七	四七〇	二一三	五五七	八	二五	二	五八	一一	五二				
累計	一九七	四七〇	二一三	五五七	八	二五	二	五八	一一	五二				
現患	一七	六	一七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
累計	一七	六	一七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

市郡別	赤痢	腸チフス	バラチフス	チフテリア	猩紅熱	流行性腦脊髄膜炎	痘瘡	計
業栗郡	九	四	一七	三	五			三一
中島郡	一	一九	五六	一	三			八〇
海部郡	一	一八	八五	九	一			一〇七
知多郡	三	二七	九五	一	三			一四三
碧海郡	九	二六	三七	二	五			二八六
幡豆郡	一	三三	四〇	一	二			九五
額田郡	一	三二	二七	一	二			四九
西加茂郡	一	二〇	三八	一	一			七六
東加茂郡	一	三	一一	二				一六
北設楽郡	二	八	六	一				一七
南設楽郡	一	七	一五	一				二二
寶飯郡	一	八二	一七	一				一〇
温美郡	八	四七	一八一	二				三四六
八名郡	一	三〇	六七	一				一〇八
計	五五八	三六七一	五〇二二	二五	一三八	二七	一一	三、四六八

備考 赤痢欄ノ左ハ疑似赤痢ヲ示ス

二、傳染病患者ノ早期發見ニ努メ早期診斷其他必要アルトキハ細菌検査ノ請求ニ應シテ便宜ノ方法ヲ講シタリ

三、傳染病發生ノ場合ハ系統調査ヲ嚴ニシ周圍住民ニ對シテハ成ルヘク豫防注射ヲ行ヒ且ツ關係アル者ニ對シテハ糞便検査ヲ實施セリ

四、腸チフス豫防ニ付テハ縣下各町村ノ需メニ應ジ無料注射液ヲ交付シ豫防注射ノ實施ヲ督勵セリ

前年 本年 腸チフス患者月別發生比較表

月別	患者		死者		患者對死者百分比	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
一月	七六	七三	一一	一五	一四・七	二〇・五
二月	一一〇	七五	二六	一三	二三・六	一七・三
三月	一二三	六七	三五	一九	二八・四	二八・三
四月	九一	六四	一八	一三	一九・八	二〇・三
五月	一〇九	二六一	二二	三四	二〇・一	一六・九
六月	一一七	二九五	三七	五〇	二四・五	一五・七
七月	一五一	三四九	五一	五五	二〇・六	一五・三
八月	二四七	三五九	四四	六七	一九・六	二二・八
九月	二二四	二九三	四四	六七	一九・六	二二・八
十月	二〇六	一五七	五二	二四	二九・六	一五・二
計	一、四六四	一、九九三	三三二	三四五	二二・六	一七・三

接客業者細菌検査成績表

検査總數	病原菌ヲ認メタル數		備考
	腸チフス	バラチフス	
一五、八一三	四	四	

胆汁培養基検査成績表

胆汁培養基交付數	同検査數	検査成績		陰性數
		腸チフス	バラチフス	
四八四	二二一	九七	三	一一一

腸チフス豫防注射施行人員 十八萬二千六百五十五名(自昭和三年一月一日至同十月十五日)

五、外航船舶ヲ直接繫留スル名古屋港沿岸及之ニ隣接スル準沿岸地帯ニ於ケル倉庫業者並ニ外航船舶ト直接航通スル船業者ニ對シ豫鼠並ニ除鼠設備ヲ行ハシメ別ニ捕鼠班ヲ編成シ鼠族ノ驅除及捕鼠ヲ勵行セリ

六、コレラ豫防ノ爲メ名古屋港沿岸海上生活者ニ對シ豫防注射ヲ實施セリ

七、名古屋市及縣下各町村長及警察署長ト協力臨時種痘ヲ勵行シ以テ痘瘡ノ豫防ニ努メタリ

八、狂犬病豫防週間ヲ實施シ飼犬ノ届出整理繫留強制豫防接種ノ徹底ヲ計リ野犬ノ掃蕩ヲ爲シ以テ斯病ノ撲滅ニ努メタリ

尙大禮還幸御沿道關係警察ニ對シテハ特ニ飼犬ノ繫留取締ヲ嚴ニシ苟クモ當日飼犬等ノ放浪スルカ如キ事ナキヲ期セリ

狂犬病豫防週間實施成績表 自十月一日至十月七日

捕獲數	戶口数的		畜犬數		調査數
	新届數	既届數	新届數	既届數	
四五〇	六〇三	一九、五三六	二一〇、一三九		

警察署自發的實施成績表

新聞掲載	豫防		宣傳		豫防注射
	ビラ	看板	ポスター	講演	
二一	四八、二〇〇	九〇	一、三二五	二二二	一五七

昭和三年 自一月至九月 狂犬病ニ關スル調査

狂犬病合	狂犬病咬傷人員		狂水病	犬咬傷者	豫防注射人員	捕獲頭數	畜犬數	豫防注射數
	狂	疑						
三	三	五	一	五二四	五	二、八一七	〇、八二二	二七、八五三

第十三 救護ニ關スル件

行還幸啓當日一般拜觀者傷病救護ノ爲赤十字社愛知支部及名古屋市當局ニ協商シ鹵簿御沿道二十二ヶ所ノ救護所ヲ設置シ救護ニ努メタリ

縣設置救護所

月	日	救護班數	取扱件數	救護人員	男	女
十一月	六日	一五	三六	九六	二五	一一
十一月	七日	一五	一六	九四	一一	五
十一月	二十六日	一五	三〇	九六	二四	六
十一月	二十七日	一五	三	九四	一	二
計		八五		六一	二四	
縣以外ノ救護所						
月	日	救護班數	取扱件數	救護人員	男	女
十一月	六日	七	二二	一六	一五	七
十一月	七日	七	六	一六	四	二
十一月	二十六日	七	一七	一六	一四	三
十一月	二十七日	七	三	一六	二	一
計		四八		三五	一三	

海港防疫施設(ペスト關係事項)

第一 倉庫防鼠設備

- (イ)倉庫防鼠設備施行ノ範圍ヲ左ノ如クスルコト
  - 一沿岸倉庫
    - 外航船繋船岸壁ニ直接關係アル地域ニアルモノニシテ別表第一號ノ通りトス
    - 二準沿岸倉庫

前項以外ノ地域ニアリテ外來貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫ニシテ別表第二號ノ如シ  
 三以上ノ沿岸及準沿岸倉庫ニシテ其ノ收藏物穀類穀粉類豆粕有機性肥料其他鼠ノ食料トナリ得ル物件並綿花類ヲ收納スルモノハ防鼠設備ヲナスモノトス  
 但シ上記ノ物件以外ノモノヲ收納スル倉庫ト雖モ必要ト認ムルモノニアリテハ防鼠設備ヲナサシムルコトアルヘシ  
 四上屋倉庫ニシテ全體ノ構造狀況等ヲ考慮シテ普通ノ防鼠設備ヲナシ得テ相當ノ效果ヲ擧ケ得ル見込アルモノハ倉庫ニ準シ之レヲ取扱フコト

(ロ)沿岸倉庫ニ對シ大概左記ニヨリ設備スルモノトス  
 一戸扉窓土臺廻リ其他破損等ニヨリ鼠ノ交通シ得ル如キ場所ハ完全ニ修理スルコト  
 二内部ノ地盤ヲ非防鼠材料ナルトキハ「コンクリート」漆喰叩キ其他ノ防鼠材料ニ改ムルヲ理想トスルモ止ムヲ得サルトキハ板張りナレハ腐朽物其他鼠ノ交通スル穴ヲ造ラル、部分ヲ完全ニ修葺シ土間ナレハ厚サ凡ソ一尺前後ニ小石砂利ノ類ヲ敷クカ止ヲ得サレハ鼠穴ヲ搜索シ砂利ノ類ニテ充分填塞スルコト  
 三外壁カ非防鼠材料ナルトキハ地上凡ソ三尺地下二尺ヲ防鼠材料トスルカ或ハ亞鉛板ヲ圍繞及埋没スルコト但シ内部ノ地盤カ「コンクリート」「アスファルト」煉瓦等ニテ鼠ノ潛入不可能ナルモノハ地上部ノ亞鉛板張りノミニテ可ナリ  
 四外壁ノ戸扉カ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニ於テ鼠ノ潛入シ得サル設備アルモノ、外ハ鼠返ヲ設備セシムルコト  
 五鼠返シハ成ルヘク兩柱間ニ嵌挿入スル式トシ外ニ對シテハ六十度以後ノ角度ヲ保チ高サハ一尺五寸以上トシ外面ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノトスルコト衝立式ハ裝置ノ際不注意ノ結果往々兩側ニ空隙ヲ造リ易キ等ノコトアル故成ルヘク避クルヲ要ス

六鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖モ入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置クコト  
 七夜間荷役ノ際ハ荷役中強力ナル燈火ヲ以テ其ノ入口ヲ照射スルコト  
 八準沿岸倉庫ニ對シテハ前記沿岸倉庫ニ準シ出來得ル丈ケ之ヲ勵行セシムルモ止ムヲ得サルモノニ對シテハ一號トシテ特

ニ次ノ除鼠施設ヲ勵行シテ之ニ代ラシムルコト  
(ハ)實行方法

- 一 沿岸及準沿岸倉庫所有者ニ向テ前記(二)ノ各號ヲ印刷シテ配付シ倉庫所有者並係員相會シ實地調査ノ上前各號ノ具體的方法ヲ協議シ設備ニ關シテハ期間ヲ定テ之レカ實行ヲ期スルコト
- 二 尙準沿岸倉庫ニ對シテハ前記二及三號ハ成ルヘク之カ實行ヲ勸奨シ其他ノ各號ノ實行ヲ勵行スルコト
- 三 國有縣有市有等ノ倉庫ニ對シテハ各其ノ主管者ニ於テ具體的方法其ノ費用概算等ヲ作製シ内務省出張員ト協力シテ夫々稟議協議等ヲナシ之レカ實行ヲ計ルコト
- 四 沿岸準沿岸倉庫ニ於ケル防鼠設備ニ要スル期間ハ左ノ標準ニヨル

小改修ヲ要スルモノ 十四日以内  
大改修ヲ要スルモノ 二ヶ月以内

五之等實行ノ成績監視ハ臨時海港檢疫所員及縣衛生課員ニ於テ豫メ協議又ハ通達シタル要項ニ對照シテ巡視ナシ其ノ成績ハ一週間毎ニ取纏メ毎火曜日内務省衛生局飯村防疫官宛報告スルコト  
(毎月曜日ニ到着スル如ク警察部長宛トスルコト)

第二 除鼠施設

- (イ) 沿岸地區 (ハ) 港船直接繫船又ハ之ニ準スル地帯ノ範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シトシテ別紙第三號ノ通りトス
- (ロ) 準沿岸地區 (沿岸地ニ隣接スル地帯及準沿岸倉庫所在地ノ範圍ヲ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シトシテ別紙第四號ノ通りトス
- (ハ) 沿岸地區準沿岸地區内ニ於ケル倉庫及建物ヲ便宜上左ノ三階級ニ區別ス

第一回殺鼠劑及捕鼠器配布標準

標準坪數	沿岸地區			準沿岸地區		
	殺鼠劑配付個數	捕鼠器配置個數	施行回數	殺鼠劑配付個數	捕鼠器配置個數	施行回數
二〇	一五	一	一回	一五	一	一回
二〇	三〇	二	二回	三〇	二	一回
二〇	五〇	四	三回	五〇	四	三回
第二回以後						
二〇	四	一	一回	四	一	一回
二〇	一〇	二	二回	一〇	二	一回
二〇	二〇	四	三回	二〇	四	二回

A級 外壁床等ハ石煉瓦「コンクリート」等ノ防鼠材料ニテ築造セラレ鼠ノ棲息殆ントナク且ツ扉ヲ閉チタル時鼠ノ出入全ク不可能ナルモノ

B級 外壁カ前記防鼠材料ナルモ床ハ土間又ハ板張りニテ通常ノ場所鼠ノ交通不可能ナルモ建物古クシテ鼠ノ棲息且所々ニ鼠交通ノ穴アル如キモノ

C級 外壁及床共非防鼠材料ニテ建築物古ク小修繕スルモ常時到底鼠ノ交通ヲ絶ツコト能ハサルモノ前各級ノ内鼠ノ食料タル物件又ハ綿花類ヲ收納セサル倉庫納屋等及人ノ住居ナキ家ニテ鼠ノ全ク棲息セサルモノハ之ヲ除外ス

(ニ) 沿岸及準沿岸地區ニ對シテハ殺鼠劑ノ配布及捕鼠器ノ引上ケ回数ヲ左ノ如クスルコト  
(ホ) 殺鼠劑ハ沿岸地區ニ對シ其ノC級ニハ殆ント各室(廣大ナルモノニ對シテハ大體住宅ノ間數ヲ標準トス) B級ニハA級ノ倍容積ヲ標準トシ數個宛ヲ配付スルコト

(ヘ) 捕鼠器及殺鼠劑ハ大概前表ニヨルモ其ノ鼠族ノ數及倉庫其他ノ狀況ヲ考慮シ其ノ數及配置ヲ參酌スルコトアルヘシ  
(ト) 沿岸地區ノ護岸及之ニ接續スル場所ニハ破損其他ニヨリ鼠ノ遁入潛伏シ得ル狀況ノモノハ之ヲ修理填塞スルハ原則ナル

モ止ヲ得サルモノハB級ニ準シ殺鼠劑又ハ捕鼠器ノ配置ヲナスコト

(チ)沿岸地區ニ面シ又ハ常ニ舩ニシテ鼠棲息ノ疑アルモノニ對シテハ捕鼠器ヲ配置スヘシ  
但シ捕鼠器ハ舩ノ所有者又ハ荷主ノ準備スルモノトス

(リ)捕鼠器及其ノ餌ニ付テノ準備又ハ配置或ハ引上ハ倉庫所有者各自ニ於テナスコト

(ヌ)殺鼠劑ハ縣ニ於テ調製シ人夫ヲシテ當業者ニ配付スルモ又各倉庫業ヨリモ有效ト認ムル殺鼠劑ハ自由ニ散置スルコト

(ル)縣ヨリ係員一名警察官一名人夫一名計三名ノ定員ヲ以テ一班トスル捕鼠班三班ヲ組織シ捕鼠劑ノ配布及捕鼠蒐集ニ便ナ  
ラシム而シテ其ノ人夫ハ市ヨリ派遣セラル、モノトス

(ヲ)捕鼠ハ市ヨリ沿岸及準沿岸ニ各一名ノ人夫ヲ配屬セシメ水上署ノ監督ノ許ニ其ノ蒐集ニ從事ス

(ワ)沿岸及準沿岸ノ區域ニ於ケル捕鼠蒐集場所ハ左記ニ依ルモノトス

江川署管區 鹽町派出所

新榮署管區 傳馬町派出所

征島署管區 下廣井町派出所

門前署管區 正木町派出所

熱田署管區 新尾頭白鳥派出所

築地署管區 築地署

以上除鼠施設ノ實行ニ伴フ巡視ハ市及縣ヨリ各係員ヲ命シ協同之ニ當ラシムルコト

上記各號ノ實施狀況ヲ一週間毎ニ(毎火曜日迄)取纏メ縣ヨリ内務省衛生局飯村防疫官宛報告スルモノトス

(カ)前記ノ方法ニヨリ捕鼠ヲ完全ニ遂行スルノ目的ヲ以テ市ニ於テハ捕鼠ノ買上ト同時ニ債券及電車回数券ノ抽籤券ヲ附與  
スルコトニ協定セリ

以上ノ防鼠設備並ニ捕鼠勵行ハ昭和三年六月二十日ヨリ實施ノコト

第三 第一次協議事項ノ決定

以上全部ノ協議事項ハ左記ノ範圍ノ責任者會同決定シ各協力シテ之カ實行ヲ期ス

内務省出張員 飯村防疫官

愛知縣衛生課愛知縣港務所

臨時海港檢疫所

名古屋水上警察署

名古屋市保健部

第二次協議事項ノ決定

水上警察署ニ於テ左記ノ倉庫業者及關係當局相會シ實施事項ヲ協議シテ之レカ實行ヲ期ス

内務省出張員(飯村防疫官)

愛知縣衛生課

臨時海港檢疫所

水上警察署 熱田警察署 江川警察署 新榮警察署 征島警察署

東陽倉庫株式會社

東神倉庫株式會社

日清製粉株式會社

川西倉庫株式會社

東陽倉庫株式會社堀川支店

名古屋港務所

第一號(省略)

第二號表(省略)



區	準沿岸			區計	區計	總計	備考
	A級	B級	C級				
六九	一五一	一四一	五一	三四三	三五、二〇〇	六五	六七〇
	九八、二〇〇	一二、八三五	七、七二〇	一一八、七五五		四九	二二二
						二四	三八九
						一六	四〇一
						八九	一、〇一二
						一五四	一、六八二
						八四八	三三四
						一、六八二	三、二四四
						三三四	
六九	一五一	一四一	五一	三四三	三五、二〇〇	六五	六七〇
	九八、二〇〇	一二、八三五	七、七二〇	一一八、七五五		四九	二二二
						二四	三八九
						一六	四〇一
						八九	一、〇一二
						一五四	一、六八二
						八四八	三三四
						一、六八二	三、二四四
						三三四	
六九	一五一	一四一	五一	三四三	三五、二〇〇	六五	六七〇
	九八、二〇〇	一二、八三五	七、七二〇	一一八、七五五		四九	二二二
						二四	三八九
						一六	四〇一
						八九	一、〇一二
						一五四	一、六八二
						八四八	三三四
						一、六八二	三、二四四
						三三四	
六九	一五一	一四一	五一	三四三	三五、二〇〇	六五	六七〇
	九八、二〇〇	一二、八三五	七、七二〇	一一八、七五五		四九	二二二
						二四	三八九
						一六	四〇一
						八九	一、〇一二
						一五四	一、六八二
						八四八	三三四
						一、六八二	三、二四四
						三三四	

市買收鼠數累計

一九三、七一

(乙)「コレラ」關係

(一)検査所ノ整備ニ關シ新ニ施行シタル事項

無

(二)港内汚染防止ニ關シテ施行シ又ハ注意シタル事項

無

(三)豫防注射施行

注射施行成績	回次別	沖仲仕	船行商	水船夫	其他	計
一	一五六	五二	九八五	七七五	一、九六八	

御大典衛生係配員表

係長 村島地方技師(衛生課長)

係員

庶務ニ關スル事項	伊藤 警部 外 九名
防疫ニ關スル事項	水野 防疫醫 外 十一名
細菌検査ニ關スル事項	岩塚 防疫醫 外 七名
健康診断ニ關スル事項	吉川 衛生技師 外 五名
救護ニ關スル事項	三宅 衛生技師 外 八名
水質検査消毒ニ關スル事項	勝田 衛生技師 外 十名
飲食物検査保健衛生ニ關スル事項	古川 地方技師 外 八名
乳肉衛生ニ關スル事項	安井 衛生技師 外 六名

大禮衛生事務ニ要シタル縣費

科目	配布豫算額	流用増減額	現在豫算額	支出済額	殘額
大禮施設費	六、三二二、〇〇〇	—	六、三二二、〇〇〇	六、三二〇、〇〇九	一、〇九一
衛生費	九九〇、〇〇〇	六七八、五九九	三一一、四一	三一〇、三二	一、〇九
國內旅費	四六七、〇〇〇	—	四五二、〇〇〇	四五二、〇〇〇	—
雜給及雜費	四、八六五、〇〇〇	六九三、五九九	五、五五八、五九九	五、五五八、五九九	—
總計	一一、六一四、〇〇〇	一、〇六六、五九九	一二、六八〇、五九九	一二、六八〇、五九九	—



悠紀齋田三上村ニ對スル衛生施設

悠紀齋田タル野洲郡三上村ニ對シテハ村民及奉耕者ノ健康ヲ保チ殊ニ厭ムヘキ傳染病患者等ノ發生ナキ事ヲ期シ左ノ如キ衛生施設ヲ實行セリ

一、健康診斷

悠紀齋田奉耕者及其ノ家族七百二十名ニ對シ前後三回ノ健康診斷ヲ實施シ異常アル者ハ速ニ醫療ヲ受ケシメタリ別ニ齋田所在地大字三上ノ村民壹千五十六名ニ對シ一回健康診斷ヲ實施シ尙引續キ時々檢病的ノ戸口調査ヲ勵行セリ

二、保菌檢査

大字三上村民壹千五十六名ニ對シ保菌檢査ヲ實施シ奉耕者及其ノ家族七百二十名ニ對シ前後三回ノ保菌檢査ヲ實行セリ

三、チフス豫防注射

三上村民中十年以上六十年以下ノ者九百九十五名ニ對シチフス豫防注射ヲ實施セリ

四、寄生蟲驅除

三上村民全部ニ(四月ヨリ十月迄)對シ海人草ヲ交付シ一ヶ月一回宛之ヲ服用セシメ以テ蛔蟲ノ驅除ヲ勵行セリ

五、水質檢査

三上村全村ノ井戸二百七十九個ノ水質檢査ヲ實行シ其ノ飲料不適ノ井戸八十八個ニ對シテハ夫々現場井戸ニ就キテ不良ナル個所ヲ指摘シ井戸ノ改修ヲ行ハシメ或ハ井戸ノ浚渫又ハ濾過裝置ヲ設備セシメタリ又時々井戸ノ「クロール」消毒ヲ實施セシメタリ

六、種痘

奉耕者其ノ家族五百四十七名ニ對シ臨時種痘ヲ實施ス

七、石油乳劑ノ配付

三上村全村各戸ニ一戸當一ヶ月一斗五升宛四月ヨリ九月迄石油乳劑ヲ配布シ下水溝渠及便所等ニ撒布セシメ蚊及蠅等ノ驅除ニ資セシメタリ

八、三上村各字ノ區長及衛生組合理事八名ヲ衛生巡視員トナシ其ノ下ニ三十名ノ青年團員ヲ配屬セシメ各字民ノ健康狀態前記各項ノ施設事項勵行ノ監督及清潔整頓、溝渠下水ノ浚渫、便所汲取口ノ覆蓋ノ實行等ノ監督ニ從事セシメ且ツ當該官吏ヲシテ之カ實施監督ヲ實行セシメタリ

一 般 衛 生 施 設

一、衛生思想啓發ニ關スル件

縣民ノ衛生思想ノ普及向上ヲ計ル爲メ衛生講話會、衛生展覽會、衛生活動寫眞會等ヲ開催シ猶ホ自鳳會ト稱スル衛生劇團ヲ後援シテ巡回興行ヲ爲サシムルノ外別紙「縣民ニ告グ」ト題スル衛生上ノ注意事項ヲ平易ニ印刷シテ各戸ニ配布セリ而シテ此等衛生思想啓發ニ關スル諸會合ノ狀況ハ次ノ如シ

衛生講話會 開會度數 三、七九四 聽講者數 三、七九四 衛生講習會 開會度數 九〇三 聽講者數 九〇三 衛生展覽會 開會度數 六、〇〇〇 觀覽者數 六、〇〇〇 衛生活動寫眞會 開會度數 三、五九三 觀覽者數 三、五九三 衛生劇團 開會度數 二〇、一〇五 觀覽者數 二〇、一〇五 衛生江州音頭踊 開會度數 六、〇〇一 觀覽者數 六、〇〇一

二、飲料水ニ關スル件

(一) 飲料水ニ關スル試驗

昭和三年七月以降九月迄ニ於テ大津市並ニ其ノ附近及御沿道重要驛附近ノ宿屋、料理屋、飲食店、牛乳搾取所、菓子製造業等ノ飲料水檢査ヲ施行ス

檢 査 總 數

飲料ニ適スルモノ

飲料不適ノモノ

一、五五八

五二三

一、〇四五

之ヲ警察署別及驛別ニセハ左ノ如シ

警察署及驛別	検査數	飲料水ニ適スルモノ	飲料不適ノモノ
大津署	六六六	二〇〇	四六六
堅田署	四七〇	八七	三八三
米原、醒井、彦根、各驛 草津、野川、守山、貴生川、手 原各驛	九〇	五五	三五
寺庄署	五九	三六	二三
合計	二七三	一三五	一三八
飲料不適ノ原因調査表	一、五五八	五一三	一、〇四五
クロール多量	五一一	二	
有機物多量	二〇二	二	
クロール多量 有機物多量	二七四	二	
アムモニア含有	一一	三	
クロール多量 アムモニア含有	九	一	
クロール有機物多量 アムモニア含有	一九	六	
小計	一、〇二六	一九	
合計	一、〇四五		

而シテ不適井戸ニ就テハ實地踏査ヲ爲シ  
 (1)井戸側ノ構造、井戸周圍ヨリ透水ノ箇所ナキヤ否ヤ  
 (2)井戸所在地ハ周圍ノ土地ヨリ低クシテ地上ヲ流ルル水ノ井邊ニ滯溜スルコトナキヤ否ヤ  
 (3)井戸附近ノ下水、便所、汚物溜等ノ關係

(4)職業ノ種類等不適ノ原因ヲ探査シ其ノ他濾過シテ飲料ニ適スルモノニハ濾過方法ヲ講セシメ夫々改善方法ヲ指示シ實行セシメタリ

(二)井戸ノ消毒  
 十一月二日大津市及石山、阪本、雄琴ノ各村並御沿道重要各驛附近ノ井水消毒ノ爲消毒藥「クлайト」ヲ井戸一箇ニ付二「グラム」ノ割合ニテ大津市ニ四千五百「グラム」阪本、雄琴、石山ノ各村、草津、野洲、守山、八幡、彦根、米原、能登川、貴生川、石部、三雲、手原、深川、大原市場ノ各驛ニ二百二十五瓦宛配布シ井戸ノ消毒ヲ嚴重ニ施行ス

(三)簡易水道新設數

關係戸數	團體名
四七	伊香郡丹生村上丹生
八	東淺井郡上草野村野瀬
一二	犬上郡芹谷村桃原
一二	同 村宮前
一六	同 村安原
一五	同 芹谷村
四一	坂田郡鳥居本村
五〇	犬上郡脇ヶ畑村

三、便所及下水改良ニ關スル件

項目	大津
共同便所改良數	四
共同便所點燈數	八
溝渠下水改良個所數	二五
同上間數	

寺庄	三二〇
武佐	三、六〇〇余
八日市	二九
計	三、九二〇余

四四四

四、警察取締ニ關スル諸營業者健康診断ニ關スル件

警察取締ニ關スル諸營業者ニ對シテハ屢々期日ヲ定メ縣下一齊取締ヲ勵行シ又當業者ヲ集合セシメ一齊取締ノ成績ニ就テ講評シ殊ニ旅人宿、飲食店、料理屋、飲食物販賣業者、湯屋、理髮業者ニ對シテハ注意書ヲ印刷セシメ之ヲ頒布シ以テ其實施ノ徹底ヲ期シタリ而シテ臨檢戸數注意件數調及健康診断成績等次ノ如シ

警察取締ニ關スル營業者臨檢度數及注意件數調

旅人宿	飲食店	料理屋	飲食物販賣業者
臨檢度數	臨檢度數	臨檢度數	臨檢度數
注意件數	注意件數	注意件數	注意件數
一四、九五〇	二六、五五三	一一、五九一	二五、九九九
三、八八九	五、〇八四	一二、五九一	五、〇一四
		三、五二六	

警察取締ニ屬スル營業者健康診断成績表

警察取締ニ屬スル營業者

營業者及家族	同居人又ハ使用人	以上計	診斷ノ結果發見シタル病者	同上中トラホーム、結核治療票ヲ交付シタル人員數	同上中營業停止ヲ命シタル人員數
一六、一四〇	六、三六二	二二、五〇二	一七七	一二	七
			結核	一六三	三

工場職工健康診断成績表

工場職工

營業者及家族	同居人又ハ使用人	以上計	診斷ノ結果發見シタル病名	同上中トラホーム、結核治療票ヲ交付シタル人員數	同上中營業停止ヲ命シタル人員數
二二三	二〇、九二九	二二、一五二	一三五	九	一六
			結核	九五	

飲食物取締ニ關スル試験成績

検査件數	不適件數	飲食物防腐劑	人工甘味質	着色料	飲食器具	清涼飲料水	氷雪	菓子罐詰	獸肉	清酒	メチルアルコール	其ノ他
一四七	一	五〇二	一〇	一、六九五	一、九二七	一七	一、四二四	二四八	九六七	二五	二三四	九
				五三	三七	一	六					

牛乳搾取所乳牛及牛乳検査ニ關スル件

(イ)牛乳搾取營業所

臨檢總度數

一四五

注意件數

二八

(ロ)乳牛検査

臨檢頭數

一、九四四

禁止頭數

ナシ

(ハ)牛乳

検査件數

二六二

内不適件數

二四

(ニ)乳製品

検査件數

二七二

内不適件數

五九

檢病的戸口調査ニ關スル件

戸數

一、二三、九一八

發見傳染病患者數

同普通病患者數

健康診断ニ關スル件

五八五、六四二

五六(腸チフス、四三、赤痢、六、猩紅熱、一六)

一、三、二一〇

戸 數 人 口 發見シタル傳染病患者數 同普通病患者數

七、五二八 三四、四三一 二〇〇 (腸チフス) 一八七

保菌者調査ニ關スル件

(イ) 患家々族其ノ他ニ就テ

検査人員	病後菌保有者		健康者菌保有者	
	腸チフス菌	デフテリア菌	腸チフス菌	デフテリア菌
六、五四〇	三	一	四	一
計	四	一	四	一

(ロ) 警察取締ニ關スル營業者ニ就テ

回数	検査人員	保菌者數及菌別	
		腸チフス菌	赤痢菌
七	四、八〇八		
計			

(ハ) 學校生徒職員ニ就テ

學校數	回数	検査人員	保菌者數及菌別	
			保菌者數	菌別
一	二	三二六		
計				

五、疏水關係船員、舟夫等ノ保菌検査ニ關スル件

大津及京都間ノ第一疏水及第二疏水ハ共ニ京都市水道ノ水源ナルヲ以テ御大禮ヲ舉行セララル、ニ當リ疏水ニ消化器傳染病ノ病原體ノ混入スルカ如キ事アリテハ恐懼ニ堪ヘサル處ナリ、然ルニ第一疏水及第二疏水取入口タル北保町地崎附近ニハ琵琶湖鐵道汽船株式會社及湖南汽船株式會社ノ碇船所アリ又第一疏水ニハ之レヲ上下スル旅客運搬舟二〇隻及貨物運送舟一〇四

隻アリ之カ航行ニ從事スル舟夫ノ數ハ時々移動アルモ約百名内外アリ、依テ琵琶湖鐵道汽船株式會社、湖南汽船株式會社、船員全部及第一疏水ノ航行ニ從事スル舟夫ノ保菌検査ヲ別表ノ如ク七月ヨリ十一月迄六回實施セリ、其他十一月五日ヨリ疏水取入口ニ天幕張ノ見張所ヲ設ケ吏員ヲ派シ疏水取入口ニ寄航スル總テノ小荷足舟夫ノ糞便ヲ採取シ保菌調査ヲ實施シ同時ニ疏水取入口附近住民六九名、疏水舟夫家族二四八名及疏水取入口ニ農産物ヲ運搬シ來ルヘキ尾花川農産物販賣購買組合員五八名ノ保菌調査ヲ實施セリ、而シテ保菌検査ノ結果ハ何レモ陰性ナリキ

(イ) 汽船會社船員及疏水下リ舟夫保菌検査

検査別	検査回数						計
	七月	八月	九月	十月上旬	十月下旬	十一月	
琵琶湖鐵道汽船株式會社	一五三	一三六	一三五	一四〇	一四八	一四七	八五九
湖南汽船株式會社	一〇〇	一〇五	一三七	一五七	一一九	一二〇	七三八
疏水下リ舟夫	六六	九三	一〇九	一三二	一一四	一一三	六二七
計	三一九	三三四	三八一	四二九	三八一	三八〇	二、二二四

(ロ) 疏水取入口關係舟夫疏水下リ舟夫家族其他ノ保菌検査

検査別	検査回数		計	備考
	自十一月五日 至十一月十三日 第一回	自十一月十四日 至十一月二十五日 第二回		
疏水下リ舟夫家族	二四四	二三四	四七八	
疏水取入口入港小荷足舟夫	二四八	四五	二九三	
疏水取入口附近住民	六九	六九	一三八	
尾花川農産物 販賣販賣組合員	五六一	四〇六	九六七	
計	五六一	四〇六	九六七	

備考 疏水關係船員、舟夫等保衛検査中(イ)表計二、三、四及(ロ)表計九、六、七、總計三、一九一、八十、保衛者調査ニ關スル件(イ)表「大津」四〇二「中」ニ包含セラルルモノナリ

六、救護事業ニ關スル件

御召列車縣下御通過ノ際毎ニ所在郡醫師會ハ重要驛ニ救護班ヲ設ケ拜觀者ノ救護ニ任セリ其ノ成績次表ノ如シ  
救護事業成績表 (御召列車御通過ノ際拜觀者ノ救護)

署名	項目	驛名	延日數	負傷者數	病者數	救護班數
草津	守山	草津山	八			二
石部	野洲	石部野洲	七		二	二
八幡	八幡	八幡	四	六		二
八幡	能登川	能登川	二			一
愛知	稻枝	稻枝	二			一
長濱	米原	米原	二			二
合計	近江	近江	三七	一四	二八	一二

七、傳染病患者發生狀況ニ關スル件

昭和三年度ニ於ケル傳染病患者總數ハ六一四名ニシテ過去五ケ年(自大正十二年(至昭和二年))平均五一五名ニ比シ稍多シ之レ本年ハ御大禮御舉行ノ年ナルヲ以テ當初ヨリ醫師會ニ通牒ヲ發シ勉メテ其ノ早期發見ニ勉メ又一般民衆ニ對シ傳染病患者隱蔽ノ惧ルヘキ所以テ機會アル毎ニ説示シ一面檢病の戸口調査ノ勵行ヲ期シ以テ傳染病患者ノ隱蔽ナキヲ期シタル結果ナリトス而シテ其總死亡率ハ一六、一ニシテ過去五ケ年ノ總死亡率二一、五ニ比較シ著ルシク低減セリ之レ早期ニ診斷セラレ當初ヨリ適當ナル手當看護ヲ受ケタル結果ナルヘシ殊ニ腸チフスニ就キテハ本年ハ其早期發見ノ爲縣ニ於テ膽汁培養基ヲ調製シ縣下一市二百

町村役場及各警察署ニ平均三〇本宛ヲ五月中ニ配布シ置キ以テ醫師ノ利用ヲ勸奨シタルヲ以テ腸チフス患者數ハ過去五ケ年平均二七七名ニ對シ本年ハ三六九名ノ發生ニシテ其ノ數遙カニ多キニ拘ハラス之レカ死亡率ハ過去五ケ年平均二二ナルニ對シ本年ハ一四、三ニ著減セリ

縣下ニ於ケル各種傳染病ノ發生狀況ヲ見ルニ何レモ散發性ニシテ特ニ著ルシキ爆發性流行ヲ來タセル事例ナシタ、土山警察署管内ニ於ケル鮎河村(腸チフス二二名發生)山内村(腸チフス一五名發生)土山町(腸チフス一二名發生)及愛知川警察署管内東小椋村(腸チフス一八名發生)等ハ稍注目ニ値スルモ之等ハ何レモ僻遠ノ地ニシテ醫師ニ乏シク從テ初發患者ノ發見稍遲延シタル爲交通關係ニヨリテ傳播シタルモノト認メラルル次ニ注意スヘキハ本年ハ猩紅熱ノ發生比較的多カリシ事ナリ、例年二四名内外ナリシノ本年ハ四八名ノ發生ヲ見タリ

傳染病患者數並死亡率百分率

病名	既往五ケ年平均			昭和三年		
	患者數	死亡率	死亡率百分率	患者數	死亡率	死亡率百分率
赤痢	三〇四	九〇	二九	八三	二七	三二、五
腸チフス	一、三八六	三一四	二二	三六九	五三	一四、三
バラチフス	一〇七	一八	一六	二五	三	一一、〇
チフテリア	六二八	一三〇	二〇	八六	一四	一六、二
猩紅熱	一一二	二	一六	四八	一	一〇、〇
痘瘡	二五	三	一一	一	一	一〇、〇
流行性腦膜炎	四	二	五〇	二	一	五〇、〇
合計	二、五七六	五五九	二一、七	六一四	九九	一六、一
五ケ年平均	五一五	一一一	二一、五			

試験場ニ於ケル検査物ニ關スル件

病別	検査件数	病別陽性数
腸チフス	一〇、四五五	三八〇
バラチフス	一二五	三八
赤痢	五四〇	一一六
チフテリ	二六四	三六
計	一一、三八四	五七〇

腸チフス豫防接種總人員

一四、二五二(内二、二〇四人ハ一回ノミ)

(附)野犬掃蕩ニ關スル件

野犬掃蕩數 二、七四二頭

野犬見込數 三、八四七頭

八、大禮衛生施設費、縣費豫算 四、八五二圓

内 譯	傳 毒 費
悠紀齋田關係費	四〇〇圓
水質検査費	三、〇九二圓
寄生蟲驅除費	六〇〇圓
健康診断費	五〇〇圓
保菌者檢索費	六〇〇圓
腸窒扶斯豫防注射費	一、〇七二圓
種痘費	七〇圓
	二五〇圓
	八四圓

(10) 福 岡 縣

御大禮ニ關スル衛生施設事項

本縣ハ主基地方トシテ勅定セラレ御大禮ニ關スル衛生施設ハ主トシテ主基齋田ヲ中心トシテ計劃シタルヲ以テ便宜上主基齋田ニ關スル施設一般ニ關スル施設並ニ特別地域ニ於ケル施設ニ分チ掲グルコト、セリ

一、主基齋田ニ關スル衛生施設事項

齋田所在地早良郡脇山村ハ戸數四〇九戸人口二、五二四人ニシテ既往ノ衛生状態ハ縣下他町村ニ比シ著シク可良ノ地ナリ乃チ大正十三年ニ於テ腸チフス患者二人昭和元年バラチフス四人及腸チフス二人同二年赤痢一人ヲ出シタル外殆ント傳染病患者ノ發生ヲ見サル状態ナリ然レトモ其ノ附近沿道ノ町村ハ年々傳染病ヲ發生シツ、アルヲ以テ防疫ニ就テハ最モ力ヲ致シタリ而シテ同村ハ本廳ヲ距ル四里所轄警察署ヲ隔ツルコト約三里ニシテ比較的不便ノ地ナルヲ以テ同村宇城ノ原ニ民家ヲ借上ケ「衛生事務所」ヲ特設シ同所ニ警察電話ヲ引キ衛生課トノ聯絡ヲ密ニシ之ニ防疫醫一人同醫務囑託二人防疫事務囑託一人防疫助手二人ヲ常置シ專ラ齋田關係者ノ健康診断及同地方ノ檢病調査並保菌調査豫防接種、種痘等ノ防疫事務ニ從事セシメタル外衛生課所屬技術員全部ヲ擧ケテ衛生施設實施ニ從事シタリ其ノ施設及成績ノ概要左ノ如シ

甲、齋田地脇山村ニ於ケル施設

イ、健康診断

部落全般ニ亘リ健康診断ヲ行ヒタリ其ノ方法ハ專從者ヲシテ繼續的ニ受持區域ヲ定メテ三日乃至五日毎ニ檢病の戸口調査ヲナシ患者及保菌者發生部落ニ對シテハ連日ニ之ヲ行ヒ患者ノ早期發見ニ努メタル結果傳染病ノ疑アル注意患者十四名ヲ發見シ細菌検査ノ結果一名ハ赤痢菌六名ハバラチフス菌ヲ發見シテ夫々處置セリ

ロ、種痘及豫防接種

縣下ノ他地方ニ痘瘡ノ發生アリシヲ以テ齋田地脇山村ハ勿論其ノ他早良郡一圓ニ亘リ一般ニ臨時ニ種痘ヲ實施シ更ニ腸チ  
フス豫防注射ヲモ行ヒタリ其ノ成績左ノ如シ

種痘二萬五千九百五十九人、腸チフス豫防接種第一回一萬四千八百五十四人、第二回一萬二千六百九十二人ニ及ヒタリ  
ハ、傳染病保菌者ノ檢索

同村住民二、五二四人ニ對シ傳染病保菌者檢索ノ爲メ全村ノ住民ニ對シ三回ニ亘リ糞便ノ細菌検査ヲ行ヒタル外保菌者患  
者家族及其ノ附近等他部落ニ特ニ行ヒタルモノ、總數一萬二百七十四回ニシテ「バラチフス」保菌者四、赤痢保菌者一及  
上記ノ患者ヲ發見セリ

ニ、傳染病患者并保菌者ノ處置

傳染病ト確定シタルモノハ輕症者多ク單ニ數回ノ下痢アリタルモノ等多カリシカ同村ハ人ノ出入多ク奉耕者ハ全村ニ亘ル  
ヲ以テ患者ハ全部生ノ松原九州醫科大學附屬傳染病院ニ收容シ保菌者ハ同村隔離病者ニ收容シ菌ノ消失スル迄同所ニ滞在  
セシメタリ

ホ、脇山村民ノ寄生蟲検査

住民全體ノ糞便ヲ採取シ寄生蟲ノ検査ヲ行ヒ其ノ検査人員二千四百七十八人ニシテ其ノ内帶蟲者二千四百四十九人ニ對シテ  
ハ夫々驅除ヲ行ヒタリ

ヘ、飲料水ノ検査

部落全村ノ井水二百九十七個ヲ採取シ衛生試驗所ニ於テ試驗シタルニ概シテ良水ニシテ其ノ内不良ナル井戸十六ニ對シテ  
ハ注意ヲ促シ改善セシメタリト

ト、清潔方法施行及蠅ノ驅除

全村ニ亘リ梅雨期前及後各一回臨時清潔方法ヲ施行シ部落ノ汚水下水ノ排除及塵芥ノ排出方法ヲ講セシメ傳染病發生部落  
ニハ此ノ外特ニ消毒の清潔方法ヲ執行シ且ツ六月ヨリ石油乳劑ヲ各戸ニ配付シテ便所塵芥溜等ニ撒布セシメ蠅ノ發生防止

ニ努メシメタリ其ノ全量八十石ニ達シ爲ニ蠅ハ非常ニ減少シ村民モ其ノ效果ヲ稱讚セリ

チ、衛生委員ノ設置

村内各小部落ニ衛生委員ヲ設ケシメ各種衛生事項ノ實施普及並ニ督勵ニ當ラシメ其ノ徹底ヲ期セシメタリ  
リ、野犬ノ整理及豫防注射

野犬ノ整理ヲナスト共ニ飼犬脇山村十八頭同郡内三百九十八頭ニ對シ狂犬病豫防注射ヲ勵行シタリ

ス、傳染病院隔離病舎ノ整備

患者ノ收容ニ關シ支障ナカラシムル爲豫メ病舎ノ修理並ニ關係道路ノ改修ヲ爲サシメタリ  
ル、會同會食ノ制限

梅雨期ニ入ルヤ所轄署長ヲシテ全村ニ亘リ田植終了後多數會合シテ祝宴ヲ各戸ニ開クノ習慣アルヲ以テ此等並冠婚葬祭ニ  
於ケル會食等ハ傳染病蔓延ノ因トナルヲ慮リ、献穀ノ大任終了迄ハ成ルヘク之ヲ遠慮セシムル様注意シタリシニ之ヲ諒ト  
シテ大部分ハ之ヲ中止シタリ

ヲ、飲食物ノ取締

同村ニハ臨時ニ飲食店及販賣店ヲ出スモノ多カリシヲ以テ全村ニ亘リ時々飲食物ノ一齊取締ヲ爲ス外御田植祭其ノ他多數  
集合ノ場合ハ特ニ技術員ヲ派シテ飲食物ノ検査ヲ勵行セシメ各祭典後ノ晝食其ノ他ノ飲食物ニ就テモ嚴重ナル検査ヲ爲サ  
シメタリ、

ワ、衛生思想ノ普及

活動寫眞會講話會ヲ數回行フノ外衛生局編「清潔第一衣服ト住居」ヲ別ニ印刷シテ各戸ニ配付シ又全村ニ「清潔第一」ナ  
ル美麗ナル貼札ヲ各戸ニ貯付セシメ清潔思想ノ醸成ニ努メ其ノ結果一般ニ清潔思想ノ向上ニ付見ルヘキモノアリタリ

乙、齋田奉仕者並ニ其ノ家族ニ對スル施設

イ、身體検査ヲ行フ(家族ハ健康診斷ニ止ム)

ロ、全部ニ對シ三回以上保菌檢索ヲ行フ

ハ、腸チフス豫防接種及種痘ヲ行フ

ニ、寄生蟲保有者ノ驅蟲ヲ行フ

ホ、一ヶ月三回以上ノ健康診斷ヲ行フ

ヘ、奉仕者及其ノ家族ニ患者發生ノ場合申告セシメ防疫醫ノ診察ヲ受ケシム

ト、傳染病ノ疑アル患者ヲ發見シタル時ハ直チニ隔離セシム

### 丙、齋田設定地早良郡内ニ於ケル施設

イ、部民ノ健康診斷ヲ行フ

ロ、臨時清潔方法ヲ施行ス

ハ、腸チフス豫防接種ヲ行フ

ニ、臨時種痘ヲ行フ

ホ、活動寫真衛生講話會ヲ開催シ印刷物ノ配付等ニ依リ衛生思想ノ普及向上及攝生ニ努メシム

ヘ、毎週一回檢病の戸口調査ヲ行ヒ必要ナル場所ニハ隨時健康診斷ヲ行ヒ傳染病患者ノ早期發見ニ努ム

ト、野犬ノ整理並ニ飼犬ノ豫防接種ヲ行フ

チ、小部落ニ衛生委員ヲ設ケ衛生事項ノ實施並ニ督勵ニ當ラシム

### 丁、臨時祭式ノ場合ニ於ケル衛生施設

イ、祭式等ニテ群集ノ場合ニハ赤十字支部及郡醫師會ト協同シ祭場附近ニ三個所沿道ノ村落ニ七個所ノ救護所ヲ設ケ救護ニ從事シ愛國婦人會ニ於テハ村ノ處女會主婦會等ト協同シテ救護所内ニ湯茶ノ接待所ヲ設ケ炎熱時ニ湯茶ヲ供給シタルシカ祭典時ニハ多數蠟燭シ供給ニ忙殺サレタリ而シテ各救護所ニテ救護シタル病者ニシテ救護ヲ受ケタル人員五百三十八人ニ上レリ

ロ、露店其ノ他飲食物販賣者ノ取締ヲ勵行シ不良ナル物ハ廢棄又ハ販賣ヲ禁止シタリ

### 二、縣下一般ニ行ヒタル施設

イ、會議ノ開催

主基齋田本縣ニ勅定ト共ニ縣下一般施設ノ徹底並衛生思想ノ向上ヲ計ル目的ヲ以テ左記會議ヲ開催シタリ

(1) 警察署長會議 (昭和三年三月一日) 知事訓示要綱別項ノ通り

(2) 警察署衛生主任者會議 (昭和三年三月二十九日)

(3) 各町村衛生主任會議 (昭和三年三月二十四日)

ロ、縣下各警察署ニ囑託醫ヲ配置シ防疫保健ノ衛生施設ニ從事セシム

ハ、定期種痘ヲ四月迄ニ終了セシム尙定期種痘ノ際市町村特種業態者ノ臨時種痘ヲ行ハシム (種痘人員六二七、四五〇人)

ニ、腸チフスノ豫防接種ヲ宣傳普及セシム (接種人員二十二萬五千五百五十人)

ホ、縣下一般ニ檢病の戸口調査ヲ周密ニシ郡市醫師會衛生組合等ト聯絡ヲ保チ傳染病者ノ早期發見ニ努メシム

ヘ、衛生週間「七月一日ヨリ七日間」ヲ設定シ邸宅井戸便所街路等ノ清潔保持、被服、寢具、室内等ノ洗濯掃除塵芥捨場ノ

掃除整理、蠅ノ驅除、臺所寢室店舗等ノ掃除整頓、接客業者ノ一齊臨檢、販賣ノ用ニ供スル飲食物ノ一齊調査檢病の一齊

戸口調査ヲ勵行セシム

ト、衛生思想ノ普及向上ノ爲衛生講話ヲ開催スルコト十七回聽講人員一六、三一八人活動寫真ニ依ル宣傳一二二回觀覽人員

一一九、四六二人

チ、衛生注意事項ノポスター三、二〇〇枚ビラ二三〇、〇〇〇枚ヲ掲出又ハ撒布シタル外「清潔第一」ノ標語印刷物二八、

五〇〇枚及花柳病豫防心得三、〇〇〇冊ヲ配付ス

リ、販賣ノ用ニ供スル乳肉清涼飲料水其ノ他ノ飲食物ノ取締ヲ嚴ニス

ヌ、縣藥劑師會ノ奉仕ニ依リ水害地ノ侵水井戸一、九六四ヶ所ノクロール消毒ヲ實施ス



ル、野犬ノ整理（整理數五、七一〇頭）及狂犬病豫防注射（其數五、一四九頭）ヲ勵行ス  
 ヲ、上納品獻納品下命者並ニ其ノ家族ニ對シテハ衛生技師、防疫醫、警察囑託醫ニ於テ健康診斷ヲ行ヒタルモ傳染病者ヲ發  
 見セザリキ

ワ、賜饌用辨當折詰及蒲鉾等ノ製造業者其ノ家族從業者ノ健康狀態視察及保菌檢案並ニ其飲食物檢査ヲ勵行シ技術員ヲシテ  
 製作營業者方ニ詰切ラシメ之カ取扱ヲ監督シタリ

三、特別地域ニ於ケル防疫施設

甲、ペスト豫防ニ關スル施設

衛生局ヨリノ訓達ニ基キ門司港ニ出入スル海外船舶並ニ沿岸倉庫及沿岸人家ノ防鼠及除鼠ノ設備並ニ捕鼠ノ細菌檢査ヲ實  
 施シタリ昭和三年七月ヨリ同年度内ノ成績左記ノ如シ

イ、沿岸倉庫

門司港沿岸ニ散在スル各倉庫ハ三十五棟此坪數一萬四千五百七十七坪ニシテ之ニ對シテハ豫メ各倉庫業者ト協定シ鼠返シ  
 其ノ他ノ設備ヲナスノ外除鼠施設トシテ捕鼠器ヲ十坪ニ付一個宛及各出入口ニ二個宛ノ割合ヲ以テ各倉庫業者ヲシテ二、  
 三九五個ヲ配置セシメ更ニ中途ニ於テ縣ヨリモ之ヲ貸與シテ監督ヲ嚴ニシ殺鼠劑ハ倉庫十坪ニ付二個ノ割合ヲ以テ毎月二  
 回以上配付シ其ノ合計二十萬餘個ニ達シタリ

ロ、準沿岸地區ニ對スル施設

門司港沿岸地區ニアル人家ハ二百九十六戸ナルヲ以テ之ニ對シ捕鼠器一戸三個宛ヲ貸與シ尙殺鼠劑ハ毎月十個宛二回即チ  
 月二十個ヲ配付シタリ

ハ、船舶ニ對スル除鼠設備

門司港内碇泊帆船ハ現在七百三十五隻ナルヲ以テ之ニ對シ毎月十個宛二回殺鼠劑ヲ配付シタリ

ニ、細菌檢査

以上ノ施設ニ依リ門司市並ニ大牟田市ニ於テ買收シタル捕鼠ニ對シテハ毎日細菌檢査ヲ爲シ其ノ數十一月迄ニ通計三萬八  
 千九百四十六頭ニ及ヘリ

ホ、監督

前各號施設ノ完璧ヲ期スル爲メ捕鼠班ヲ組織シ毎日施行區域ヲ巡回セシメ捕鼠ノ買收除鼠及除鼠施設ノ改修及監督ニ從事  
 セシム

乙、コレラ豫防ニ關スル施設

上海其ノ他ニ於ケル「コレラ」發生ノ狀況ニ鑑ミ特ニ主基齋田指定縣トシテ絶體ニ病毒ノ侵襲ヲ防止セサルヘカラサルヲ  
 以テ昭和三年七月十一日沿岸各警察署ニ對シ上海及廣東方面ヲ發シ若ハ同地方ヲ經由シテ來航シタル船舶並ニ上陸者等ニ  
 對シテハ一層警戒視察ヲ嚴重ニシ同時ニ海上生活者及其ノ他ノ者ニ對シ檢病の調査ヲ密ニシ患者ノ早期發見ニ努ムル様訓  
 達シ又同年八月ヨリ海上生活者並ニ荷上仲仕等ニ對シ門司若松大牟田三港ニ於テ特ニ醫師及防疫監吏ヲ増置シテ「コレラ」  
 豫防注射ヲ實施シ通計三萬一千四百六十六人ニ對スル注射ヲ濟セリ尙ホ一面ニハ「コレラ」流行地指定ノ場合ニ於ケル豫  
 防上ノ準備計劃ヲ爲シ居リタルモ遂ニ事無キヲ得タリ

四、御大禮ニ關スル衛生上ノ經費

イ、國費

科 目	豫 算 額	支 出 額
一、虎列刺豫防	三、五五二圓	旅俸費給 二、六一〇圓 九四一圓
一、ペスト豫防	三、六八二圓	旅俸費給 二、六六五圓 一、〇一七圓
一、大禮費	二、五九〇圓	旅俸費給 一、八九〇圓 七〇〇圓

計		九、八二四圓		七、一六五圓	
口、縣費		旅費給		二、六五九圓	
科	目	豫	算	額	支
防疫費	費				出
旅費	費				額
器具費	費	四三六圓			四三五・九二
藥品費	費	三二〇・八二			三一〇・八二
印刷費	費	一、六一六・七〇			一、六一六・七〇
					一九九・九〇

知事訓示要綱 (昭和三年三月一日齊田事務ニ關スル警察署長會議ニ於テ)

賢クモ 聖上陛下ニハ今秋ヲ期シテ即位ノ大禮ヲ京都ニ舉ケサセラルレ續テ大嘗ノ盛儀ヲ行ハセ給フ  
 謹テ惟フニ即位ノ禮ハ天皇萬世一系ノ皇位ヲ繼承セラレタルコトヲ皇祖皇宗ニ告ケ尙ニ一般臣民ニ知ラシメ給フ盛儀ニシテ大嘗祭ハ 天皇位ニ即キ天祖及天神地祇ヲ請饗セラル、ノ大祀ナリ共ニ一世ニ一度行ハセラル、國家最高ノ大典ニシテ中外ノ具瞻スル所ナリ  
 念フニ我國ハ萬國ニ比類ナキ金甌無缺ノ國體ヲ有シ百司萬民常ニ肅然タル忠愛ノ真情ヲ傾倒シテ皇室ノ慶福ヲ祝セサルナシ而モ今回主基地方トシテ本縣ヲ勅定セラレ大祭ニ用ヒラル、新穀ヲ供納スルノ光榮ニ浴シタルハ本縣至上ノ榮譽ニシテ縣民ハ舉リテ至誠至醇ノ慶意ヲ捧ケ以テ奉仕ノ大任ヲ果ス覺悟ナカルヘカラス

齊田ノ奉仕タルヤ固ヨリ奉耕者其ノ直接ノ責任者ナリト雖モ一般縣民モ亦其ノ責ヲ分チ鞠躬勵精以テ奉仕ノ心ヲ一ニスヘキハ言フ俟タズ殊ニ齋田ニ關スル警衛及警護ニ付テハ其ノ所在地所轄警察署ニ於テ專ラ其ノ任ニ服スヘキモ齋田ニ於テハ數回ニ涉リ重要ナル祭典行ハレ特ニ勅使ヲ差遣セラル、場合アルヲ以テ縣下全般ニ涉リ取締上些ノ遺憾ナキヲ期セラルヘシ殊ニ精神病者及要注意人ノ視察取締ニ付テハ從來動モスレハ其ノ視察取締ニ間隙アリシカ爲メ行幸啓等ノ場合ニ於テ不祥事ヲ惹起シタル事例アリシハ洵ニ恐懼措ク能ハサル處ナリ各位ハ特ニ周密ナル注意ヲ拂ハレムコトヲ望ム  
 更ニ本縣ノ衛生狀態ヲ見ルニ未タ全ク意ヲ安ンヌル能ハサルモノアリ即チ本縣カ海外諸邦トノ交通ノ關門ニシテ殊ニ滿鮮上海其ノ他支那諸港ノ傳染病流行地ヨリ病毒ヲ齎シ其ノ蔓延ヲ見タル事例尠カラズ瘡痘ノ流行ハ最近稍々小康ヲ得タリト雖尙終熄ニ至ラス其他傳染病ハ昨年來漸次減退ノ傾向ニアリト雖今後氣候ノ溫暖トナルニ從ヒ患者發生ノ機會激増スルヲ以テ一層其ノ豫防撲滅ニ留意警戒セサルヘカラス各位宜シク部下ヲ激勵シ市町村、衛生組合、醫師會其他ノ團體ト協力シ專ラ衛生思想ノ普及向上ヲ計リ縣民ノ自覺ヲ促シ官民協同一致銳意各種衛生施設ノ改善ニ努メ惡疫ヲ未前ニ防止シ縣民保健ノ策ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期セラレムコトヲ望ム

脇山村戸數人口調査表 (昭和三年四月末現在)

字	名	戸數	奉耕者		同居家族		其他		合計
			男	女	男	女	男	女	
板屋	原	二五	六	一	二〇	四〇	四二	五二	一四一
椎原	(荒谷ヲ含ム)	八四	一四	一五	五九	一三七	一七〇	一三五	四七一
谷	口	三〇	三	五	一八	四六	六〇	六三	一七七
梅ノ木	田	七	一	二	九	二〇	七	一〇	一四〇
門	口	二六	六	三	二五	五一	四四	四一	一四五
池	田	一六	五	一	一三	二六	二九	三六	九五
栗	尾	一五	二	六	一八	四五	二一	二三	九七
計			八	七	二七	四四	四四	四四	九七

字種別	戸數	月別及配給數量									
		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計		
板屋	二五		一〇〇	三三六	三三六	六〇〇	三〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一、六七二
椎原(荒谷)	八四		一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇
谷口	三〇		一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	五四六
門戸口(梅木田)	三三		六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	二四二
池田	一六		六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	二三〇
栗尾	一五		二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	六六二
志水	三二		六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	三三二
戸井(船引)	一七		二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	八四四
野田	三一		一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	六三二
大野	一九		七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	六二八
城門	四九		二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	一、三七二
谷原	五九		一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一、三三二
仙道	四一		五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	一、三三二
計	四一九		一、六七六	一、九二二	二、一四八	一、四七四	五二六	七、八一六			七、八一六

石油乳劑配給表

字種別	戸數	井戸		消毒數	備考
		開放	密閉		
野田	一七	一	二	一七	一、本表消毒ハ傳染病發生部落ノミ行ヒタリ
大野	一一	一	一	一一	一、船引椎原ニ傳染病患者發生セシモ之等ハ總テ溪水使用者ナルヲ以テ消毒ヲ行ハス
谷口	三三	一	一	三三	
計	六三	三	四	六三	

腸窒扶斯豫防注射表

第一表 (脇山村在籍者寄留者)

現在人員	注射人員	注射未済人員	備考
一、二八九	一、二二二	一、一三四	未済人員ハ注射當時妊娠其他病氣又ハ他行等ニ依リ注射不可モノナリ
男	男	男	
女	女	女	
計	計	計	
一、二八九	一、二二二	一、一三四	

第二表 (脇山村在籍者寄留者ニアラサル一時入村者)

現在人員	注射人員	注射未済人員	備考
五九	二七	八六	
男	男	男	
女	女	女	
計	計	計	
五九	二七	八六	

井戸消毒表

備考 一、戸數ニ比シ多量配給セル部落ハ傳染病患者發生ニ因ル。  
二、石油乳劑受入高八〇石(四斗樽二〇個)ニシテ實際配給高七、八一六ナリ其差一、八四ハ各部落配給ニ當リ量リ側シタルモノカ殘量高ナシ

飲料水調査表

字 名	戸 數	井戸及溪 水總數	同 上 種 別		飲 用	
			ポンプ ツルベ	溪 水	井 戸	否 適
板 屋	二五	一六		一三	一三	一六
椎 原(荒谷)	八四	六四	一八	三〇	三三	六三
谷 口	三〇	二五	一一	二二	二二	二四
門戸口(梅木田)	三三	二四	二一	二二	二二	二二
池 田	一六	一二	七	二	二	二
栗 尾	一五	一二	七	二	二	二
志 水	三二	四		二	二	二
戸 井(船引)	一七	二	五	二	二	二
野 田	三一	二七	四	五	四	二
大 門	一九	一六	七	二	二	二
城 原	四四	三四	三〇	三	三	三
谷 道	五九	四一	二	三	三	三
仙 計	四一九	二九七	一三八	八四	八二	二八一
計				二九七	一九九	一六

奉耕者健康診断表

種 別	月 別	現 在 人 員		診 断 回 數	欠 診 延 人 員		診 断 延 人 員		健 否		
		男	女		男	女	男	女	男	女	
計	四月	七〇	六〇	二	一三	七	一一三	一一三	二	二三八	
	五月	六九	六〇	四	四五	七	一九三	一九三	一	四一四	
	六月	七〇	六〇	四	九一	四一	一八九	一九九	一	三八八	
	七月	七〇	六〇	五	九五	三四	二六六	二六一	一	五〇九	
	八月	六九	六〇	四	八七	二九	二二一	二一六	一	三九七	
	九月	六九	六〇	四	九二	二九	二二一	二一六	一	三九〇	
	十月	六九	六〇	三	三七	三四	一七〇	一四六	一	三一一	
	計			二六	四六〇	二三一	六九一	一、三四五	一、三二九	二〇	二、六四七
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
			二六	四六〇	二三一	六九一	一、三四五	一、三二九	二〇	二、六四七	二七
			二六	四六〇	二三一	六九一	一、三四五	一、三二九	二〇	二、六四七	二七

備考 一、健否人員ハ延人員ヲ以テ計上ス  
二、男奉耕者現在員ニシテ五、八、九、一〇ノ各月ニ於テ一名宛ノ減員ヲ生シタルハ豫備ニ召集サレタルモノ

(11) 北海道廳

該當事項ナシ

(12) 長崎縣

第一、「ベスト」豫防ニ關スル事項

(一)當廳ニ於テハ長崎、梅香崎、水上ノ長崎市內ニ於ケル三警察署ヲ指示シ長崎市役所、長崎稅關港務部ト協力シテ長崎港

海岸倉庫地帯ヲ防疫區域ト爲シ之ヲ左ノ二防疫區ニ分チ豫防ニ從事ス

(イ)第一防疫區 浦五島町及玉江町ニ於ケル電車通兩側ノ倉庫及岸壁舊稅關構内及千馬町ニ於ケル電車通以南ノ地帯

此ノ區域内ノ現在戸數二百七十九戸、倉庫五十三棟

(ロ)第二防疫區 新地町及出島町河岸ノ倉庫地帯

此ノ區域内ノ現在戸數百六十五戸、倉庫十八棟

(二)五月二十九日、長崎警察署ニ右地帯内ニ於ケル倉庫業者及町務係、衛生組長ヲ召集シ除鼠其ノ他之カ豫防事務ニ付キ指導ニ關スル打合セヲ爲シタリ

(三)第一防疫區ヲ豫防ノ第一線ト爲シ之ヲ更ニ三區ニ小分シ一分區毎ニ防疫監吏一名宛ヲ配置ス、第二防疫區ヲ第二線ト爲シ之ニ防疫監吏一名ヲ配置ス

(四)防疫醫一名ヲシテ細菌検査及全「ベスト」豫防區域ニ於ケル除鼠其ノ他豫防事務ノ指導監督ヲ爲サシム

(五)各防疫監吏ハ防疫主任ノ指揮ヲ受ケ受持區域ヲ巡視シテ第一防疫區ニ在リテハ少クトモ五日毎ニ、第二防疫區ニ在リテハ七日毎ニ各倉庫ニ於ケル殺鼠劑ノ取替へ及倉庫ノ破損箇所ノ修理ニ就テノ指導監督ニ從事シ且ツ日々除鼠成績並豫防事務ニ關スル報告ヲ爲サシム

(六)殺鼠劑ハ縣衛生課ニ於テ調製シ第一防疫區ハ五日毎ニ一回、第二防疫區ハ七日毎ニ一回種類ヲ取替へテ配布ス

(七)各倉庫及民家ニ捕鼠器ヲ配布シ捕鼠ヲ督勵ス捕鼠器ハ倉庫ノ占有者若ハ所有者ヲシテ之ヲ購入セシメ民家ニ在リテハ市又ハ縣ニ於テ購入配布シタリ

(八)右區域内ニ於ケル一般民家ノ流先ニシテ破損セル箇所ニ對シテハ「コンクリート」漆喰敲等ノ類ヲ以テ充分填塞シ以テ鼠ノ交通棲息スルコトナカラシメ尙石油空罐ノ底部ニ多數ノ孔ヲ穿チテ之ヲ流先ニ垂下シ以テ下水溝ニハ汚水ノミヲ放流シ殘飯等ノ流下ヲ防止ス殺鼠劑ハ倉庫同様各民家ニモ之ヲ配布シタリ

(九)長崎市役所ニ對シ除鼠ニ要スル人夫四名ヲ要求之ヲ防疫監吏ニ配布シタリ

(十)縣書記一名ヲシテ「ベスト」豫防事務ニ關スル細菌検査ノ補助並材料蒐集ニ專從セシメタリ

(十一)外壁ガ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニテ鼠ノ潛入シ得サル設備アルモノ、外ハ鼠返シヲ設備セシメタリ鼠返シハ成ルベク兩柱間ニ嵌挿スル式トシ外ニ對シテ六十前後ノ角度ヲ保チ高サハ二尺以上トシ外ハ金屬板ニテ滑澤ナルモノト爲ス鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置カシメ夜間ニ際シ荷役スル時ハ其ノ間強力ナル燈光ヲ以テ其ノ入口ヲ照射スルコト、セリ

(十二)長崎港内ニ於ケル般船ニ貨物ヲ積卸シスル團平船ニ對シテモ捕鼠器又ハ殺鼠劑ヲ配布シテ捕鼠ニ努メタリ

(十三)長崎紡織株式會社及三井倉庫ニ對シ捕鼠器及殺鼠劑ヲ配布シ捕鼠ヲ督勵ヲ爲スト同時ニ流先、下水溝ノ破損セル箇所ニ對シテハ「コンクリート」漆喰敲等ノ類ヲ以テ充分填塞シ以テ鼠ノ交通棲息スルコトナカラシメタリ

(十四)「コレラ」豫防ニ關スル除鼠ノ成績ハ別表ノ通りナリ

### 第二、「コレラ」豫防ニ關スル事項

(一)管下各警察署ヲ督勵シ常ニ部民ノ健康狀態ニ注意シ「コレラ」患者發生シ居ルニ不拘之カ發見ニ付遲延スルカ如キコトナカラシメタリ

(二)飲食物殊ニ鮮魚販賣所ニ對シ清潔ノ保持、捕蠅、切身蒲鉾及「ユビキ」類ニ對シ覆蓋ノ勵行並菓子販賣者ニ對シテハ清新ナル紙袋及「ピンセット」ノ使用ヲ獎勵シタリ

(三)衛生組合ノ活動ヲ促シ屢々蠅取デトヲ催シ一般民ニ除蠅ノ勵行ヲ爲サシメ特ニ小學校兒童ニ除蠅ノ必要ヲ説示シ家庭ニ於テ之カ實行ヲ爲サシメタリ

(四)五月下旬ヨリ縣細菌検査所ニ於テ「コレラ」豫防疫液ノ製造ヲ爲シタリ

(五)長崎市、佐世保市ニ於ケル石炭人夫、艦船賣込商、水船其ノ他船舶ト關係ヲ有スル者並其ノ家族、料理店、飲食店、貸座敷、宿屋、魚類販賣者、洗濯業者其ノ他ノ接客業者ヲ主トシ兼ネテ一般市民ニ對シ「コレラ」豫防注射ヲ施行スルノ計劃ヲ樹テ所轄警察署、市役所ヲ督勵シ極力豫防注射ノ勵行ニ努メタル處之カ注射ヲ受ケタルモノ第一回十七萬二千九百

名、第二回十三萬八千五百六十五名ニシテ辛シテ「コレラ」病ノ襲來スルコトナキヲ得タリ  
 上海、香港、南洋諸島ニ於ケル「コレラ」ノ流行ノ状態ニ依リ縣下各地ニ對シ「コレラ」豫防注射ノ計劃ヲ樹テ居リタル  
 モ之ヲ實施スルノ必要ナキヲ以テ單ニ北松浦郡ノ一部ニ對シ實施スルニ止メタリ

第三、痘瘡豫防ニ關スル件

昭和三年ハ大禮御舉行アラセラル、ヲ以テ痘瘡豫防ノ緊要ナルヲ認メ殊ニ初春ノ候ヨリ九州各縣ニハ痘瘡發生何時本縣ニ  
 モ病毒ノ侵入スルヤモ難計願ル懸念セラレタルヲ以テ縣民一般ニ對シ徹底的ニ臨時種痘ヲ勵行スルノ必要ヲ認メ同年二月二  
 十四日管下各市町村長、警察署長ニ對シ之カ勵行方通牒ヲ發シタルニ其ノ後ニ於テモ數回通牒シテ之カ督勵ニ努メタル結果  
 之カ接種人員ハ二十九萬五千二百二十七名ナルカ本縣ニハ同年中六月ニ上海系統ノ患者二名、同月大分縣系統ノ患者一名、十  
 一月上海系統ノ患者一名、十二月大連系統ノ患者一名、都合五名發生シタリト雖續發患者ナク直ニ撲滅ニ歸シタルハ主トシ  
 テ一般種痘ノ普及徹底シ居リタルニ因ルモノト認メラル

第四、腸「チフス」及赤痢豫防ニ關スル事項

- (一) 昨年腸「チフス」及赤痢ノ發生シタル部落ニ對シテ治療患者及其ノ家族ノ糞便検査ヲ二回以上施行シタリ
- (二) 腸「チフス」豫防ノ目的ヲ達スル爲メ注射班ヲ組織シ數班ニ分レテ各地方ニ出張シ注射ニ努メタルニ之カ注射ヲ受ケタル  
 モノ第一回十八萬八千百十六名、第二回十三萬五千三百五十五名ナリ
- (三) 腸「チフス」赤痢患者ハ特別ノ事情アルモノ、外全部傳染病院、隔離病舎ニ收容シタリ
- (四) 昭和元年中ニ流行シタル市町村ニ對シ「チフス」赤痢ニ關スル衛生講話、活動寫真會ヲ開催シ之ニ關スル智識ノ普及ヲ  
 圖リタリ
- (五) 「コレラ」豫防ニ關スル事項中一、二、三、四ノ事項ハ腸「チフス」赤痢ノ豫防ニ就テモ之ヲ併セ行ヒタリ

第五、豫算

右第一乃至第四ノ事項ヲ實施スル爲メ特ニ左記追加豫算ヲ要シタリ

金五千九百八拾七圓也

傳染病豫防費

内

金貳千百圓

豫防救治手當

金壹千五百八拾圓

旅費

金壹千八百拾九圓

備品及消耗品費

金參百圓

通信運搬費

金貳百五拾圓

雜費

ペスト豫防ニ關スル除鼠成績

(左側ノ數字ハ民家)

地 區	準 準	沿 沿			地 地			等 建	建 建	殺 鼠	配 配	捕 鼠	捕 鼠	其 他	捕 鼠
		岸	岸	計	區	區	計								
合 計		C	B	A	計	C	B	A							
四 五 七	二 六 三	二 二 三	二 二 三	一 一 一	一 九 四	一 〇 〇	九 二 二	一 〇	四 四 二	三 七	二 五 五	八 四	一 二 二		
五 九 二	二 六 三	二 二 三	二 二 三	一 一 一	一 九 四	一 〇 〇	九 二 二		五 〇 〇	一 〇 〇	一 〇 〇	一 〇 〇	一 〇 〇		
六 三 〇	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	二 九 五	二 〇 〇	一 〇 〇		三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇		
七 八 八	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	三 五 〇	二 〇 〇	一 〇 〇		四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇		
五 九 八	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	三 五 〇	二 〇 〇	一 〇 〇		四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇		
五 九 八	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	三 五 〇	二 〇 〇	一 〇 〇		四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇		
五 九 八	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	三 五 〇	二 〇 〇	一 〇 〇		四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇		
五 九 八	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	三 五 〇	二 〇 〇	一 〇 〇		四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇		
五 九 八	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	三 五 〇	二 〇 〇	一 〇 〇		四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇		
五 九 八	三 三 〇	二 二 三	二 二 三	一 一 一	三 五 〇	二 〇 〇	一 〇 〇		四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇	四 四 〇		

(13) 新潟縣

特ニ實施シタル衛生施設ナシ

(14) 埼玉縣

一、防疫計劃

イ、豫防注射ノ實地

腸チフス、バラチフス豫防ノ爲メ一般的ニ豫防注射ヲ實施セシメタルハ勿論特ニ昭和三年一月以降發生患者アル市町村ニ對シ之カ實施方督勵シ其ノ結果次ノ如キ成績ヲ得タリ、施行町村數百五十八、第一回被注射人員二四四、九一五人、第二回被注射人員二〇一、二四七人

ロ、病原體保有者ノ檢索

昭和三年一月以降ノ腸チフス、バラチフス發生患者アル市町村中特ニ必要ト認ムル市町村ノ恢復患者及其ノ家族ノ尿尿ヲ採取シ病原體保有者ノ檢索ヲ實施セシカ其ノ成績次ノ如シ

市町村數百三十二、檢索人員三千九百七十三人、内腸チフス菌陽性三十三人、バラチフス菌陽性三十三人ナリ

ハ、傳染病豫防督勵

傳染病豫防撲滅ノ爲メ時々衛生課吏員ヲ昭和三年一月以降發生セル傳染病患者アル市町村へ出張セシメ衛生施設及傳染病豫防方法ニ付テ地方豫防吏員ヲ指導督勵シ之カ豫防ノ徹底ヲ期シタリ

ニ、病原體保有者ノ視察取締

二、保健計劃

イ、飲食物ノ檢査

警察部衛生課技術員ヲシテ逐次重要市町村へ出張セシメ牛乳其ノ他飲食物ノ檢査ヲ實施シ同時ニ各警察署ヲシテ普遍的ニ取締ヲ行ハシメ保健衛生ノ向上ヲ期シ其ノ成績左表ノ如シ

牛乳其他飲食物檢査成績表

昭和三年中

牛乳	乳	飲食物具割烹具類	玩具類	菓子類	獸肉類	水雪類	清涼飲料水類	其他飲食物類
1,111	101	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111	1,111
不適	不適	不適	不適	不適	不適	不適	不適	不適
適	適	適	適	適	適	適	適	適

三、前施設ニ要セシ經費 壹千貳百圓

(15) 群馬縣

御大禮ニ關スル衛生施設事項

一、水質檢査ニ關スル件

飲食物ノ調製器具ノ洗滌ニ使用スル水ニ關シテハ縣令ニ基キ常ニ銳意取締ヲ爲シツ、アリト雖モ昭和三年ハ特ニ八月二十日ヨリ十一月三十日ニ至ル間縣下十警察署管内該當營業者(料理店、飲食店、旅人宿、下宿業、木賃宿、菓子製造業、豆腐製造業、生魚商)ニ對シ其ノ使用ニ係ル水質ノ檢査ヲ實施セルカ其ノ數千四百三十九ニシテ其ノ内不適ノモノ四百四十三之ニ對シテハ施設ノ改善ニ努メタリ

二、飲食物取締ニ關スル件

飲食物ノ取締ニ關シテハ常ニ警察署長ヲ督勵シ之カ實績ヲ收ムルニ努メツ、アルモ特ニ昭和三年ハ縣下各警察署管内醬油醸造業並酒類販賣業者ヨリ其ノ醸造ニ係ル醬油及酒類ヲ收去シ防腐劑ノ検査ヲ施行シタル結果其ノ成績醬油ハ検査數百六十七内不適ノモノ十二、清酒ハ検査數千二百四十四内不適ノモノ十四、直酎ハ検査數四百十一内不適ノモノ二其ノ他味淋、燒酎葡萄酒ニ在リテハ不適ノモノナシ

三、屠場ニ關スル件

屠場ニ就テモ及フ限り之カ取締ニ力ヲ竭セシカ其ノ成績左ノ如シ

屠場		屠場		屠場		屠場	
屠場數	臨檢度數	増築場數	改築ヲ命シタル場數	修理ヲ命シタル件數	所要器具ノ新調ヲ命シタル件數	屠場	屠場
一四	二五	一	一	一	三八	一九	(昭和三年自四月至十一月)

屠畜検査 (昭和三年自四月至十一月)

牛	猪	馬	羊	豚	計
九九三	一〇九	七三五	一五	一五、八六七	一七、七一九

廢棄肉斤量及廢棄臟器 (昭和三年自四月至十一月)

獸畜別	區分	廢棄肉斤量	廢棄臟器個數
牛		一、四六二斤	一九四

馬	豚	計
二、二九六	八二四、三七五	一〇二
	八二八、一三三	二、六八八
		二、九八四

屠殺禁止頭數 (昭和三年自四月至十一月)

牛	猪	馬	羊	豚	計
二	一	六	一	四	一二

四、牛乳搾取場及牛乳販賣店取締ノ件

本件ニ就テモ及フ限り之カ取締ニ力メタリ其ノ成績左ノ如シ

牛乳搾取所臨檢成績表 (昭和三年自四月至十一月)

搾取場數	臨檢度數	乳牛檢診頭數	病牛發見數	修理ヲ命シタル件數	清潔保持ニ付キ注意ヲ與ヘタル件數	其ノ他注意ヲ與ヘタル件數
一六八	八〇九	六、二三三	一四	六三	一二五	六七

牛乳検査成績表 (昭和三年自四月至十一月)

検査件數	比重不足	脂肪不足	腐敗	汚物ノ混入ニ依リ廢棄ヲ命シタル件數	同上微量ニ依リ注意ニ止メタル件數
二二、二五二	五	一一	一	一七二	一八五

五、防疫ニ關スル件

一、蠅取週間ノ實施



傳染病豫防上蠅ノ驅除ニ關シテハ常ニ市町村長及警察署長等ヲ督勵シ之カ施行ニ努メタル結果相當ノ成績ヲ收メツ、アルモ昭和三年ハ特ニ未タ蠅ノ簇生セサルニ先立チ六月二十四日ヨリ同三十日ニ至ル一週間縣下一齊ニ蠅取週間ヲ實施シ其ノ成績ハ各警察署毎ニ取纏メ、一等五圓、二等三圓、三等二圓ノ賞金ヲ交付セリ而シテ縣下第一位ノ成績ヲ收メタルモノニ對シテハ更ニ賞金十圓ヲ交付セルカ其ノ交付賞金ハ十九警察署分ニシテ合計金二百圓支出セリ而シテ縣下第一位ノ成績ヲ收メタルモノハ大間々警察署管内ニ在リテ四キログラム餘ヲ捕獲セリ尙縣下ニ於ケル捕獲總人員一九、八六四人ニシテ捕獲總量四二六、五八一ナリ

ロ、傳染病々原體保有者檢索

大正十一年以降逐年減少シツ、アリシ消化器傳染病ハ昭和二年中遽ニ其ノ數ヲ増加シタルニ鑑ミ各種防疫施設ヲ講シ之カ制遏ニ努メタル結果昭和三年ハ腸チフス及バラチフスニ於テハ前年ニ比シ著シク其ノ數ヲ減シタルモ未タ樂觀ヲ許サ、ルモノアルヲ以テ昭和二年及三年中ニ於ケル消化器傳染病患者並同病原體保有者ノ消失シタルモノ一、三〇八人ニ對シ八月一日ヨリ同二十四日ニ至ル間ニ於テ二回ニ亘リ檢査材料ヲ採取シ傳染病流行ノ因ヲナス病原體保有者ノ檢索ヲ施行シ二名(腸チフス、バラチフス各一名)ノ保菌者ヲ發見シタリ之等ニ對シテハ夫々法令ニ基キ處置シタリ

ハ、檢病一齊調査

傳染病患者早期發見ノ爲メ施行スル檢病的戸口調査ニ關シテハ各警察署長ヲ督勵シ必要ニ應ジ隨時管内一齊ニ施行セシムル等不斷ノ努力ヲ爲シツ、アルモ特ニ昭和三年ハ傳染病ノ撲滅ヲ期スル目的ヲ以テ第一回ヲ八月十日ヨリ同十六日迄一週間第二回ヲ十月十三日ヨリ同十九日迄一週間ノ二回ニ亘リ縣下一齊ニ檢病的戸口調査(第一回二〇一、九一四戸、一〇九四、八三二名)ヲ施行シ發見セル傳染病患者二十名(内腸チフス患者十九名、赤痢患者一名)及同疑患者三十八名ニ對シテハ夫々法令ニ基キ處置シタリ

ニ、井戸消毒ノ施行

クロール石灰ヲ使用スル井戸消毒ニ關シテハ機會アル毎ニ之カ獎勵ニ努メタル結果近來自發的ニ町村ノ全般ニ亘リ施行ス

ルカ如キモノ逐年増加スルヲ見ツ、アルモ昭和三年ハ特ニ之カ普及ノ徹底ヲ計リ且ツ豫防ノ實績ヲ舉グル爲第一次計畫トシテ昭和二年及三年ニ於テ患者十名以上發生シタル縣下三市五十一ヶ町村及第二次計畫トシテ患者七名以上發生シタル十三ヶ町村ノ患家及其ノ附近ノ井戸ニ對シ衛生技手及防疫監吏ヲ派遣シクロール消毒ヲ施行シタリ其ノ成績左表ノ如シ

井戸消毒施行成績

- 一、施行市町村 三市六十四ヶ町村
- 二、消毒井戸數 八三二個
- 三、使川藥品總量 二二貫一五匁
- 四、井戸水總量 九、三九四石三斗
- 五、井戸一ヶノ平均水量 一二石六斗八升
- 六、井戸一ヶノ平均藥量 二九匁九分七厘
- 七、施行從事延人員 六十八人

第一次井戸消毒施行成績表

井戸消毒施行市町村數	消毒井戸個數	同上井戸總水量	使用藥品總量	井戸一ヶノ平均水量	井戸一ヶニ付使用セル平均藥量
市 三	七四九	八、三九二石二七	一九、七〇六匁九九	一三石二九	三〇匁九五
市 五					

第二次井戸消毒施行成績表

井戸消毒施行市町村數	消毒井戸個數	同上井戸總水量	使用藥品總量	井戸一ヶノ平均水量	井戸一ヶニ付使用セル平均藥量
一三	八三	一、〇〇三石〇一	二、四〇八匁三五	一二石〇八	二八匁九九

ホ、清潔法施行ノ監督

例年施行スル春秋二回ノ清潔法ニ付テハ各市町村長及警察署長ヲ督勵シ其ノ行施ノ監督ヲ周密ナラシメ苟モ清潔法ニ施行スヘキ事項ハ勿論一般衛生ニ關スル事項ト雖モ此ノ機會ヲ利用シ改善シ得ヘキモノニ付テハ銳意改善ノ方法ヲ講セシメタリ特ニ昭和三年ノ秋季清潔法ハ勤メテ十一月以前ニ終了セシメ且其ノ施行ニ付テハ從來ノ方針ニ基キタル外傳染病患者ノ發生シタル地方ニ對シテハ消毒の清潔法ヲ施行セシメ防疫監吏、警察官吏等ヲ派遣シ施行ノ監督指導ヲ爲サシメタリ其ノ狀況左表ノ如シ

秋期清潔法施行成績表 昭和三年

總 戸 數	完全ト認メタル戸數	不完全ノ爲メ再執行又ハ改造修繕ヲ命シタル戸數	特別ノ事由アリテ指定期日ニ施行シ能ハサリシ戸數
二二〇、四七四	一九〇、一六一	七、三〇四	一三、〇〇九

春季清潔法施行成績 昭和三年

總 戸 數	完全ト認メタル戸數	不完全ノ爲メ再執行又ハ改造修繕ヲ命シタル戸數	特別ノ事由アリテ指定期日ニ施行シ能ハサリシ戸數
二〇八、六五九	一八三、八五一	八、三四八	一六、四六〇

ハ、傳染病豫防法ニ依ル市町村醫ノ設置  
各市町村ニ於ケル傳染病ノ豫防救治ニ從事スヘキ市町村醫ハ命令(大正十二年八月十七日、群馬縣令第三十九號)ノ定ムル所ニ依リ之ヲ設置セシメ豫防救治ニ付キ遺憾ナカラシムル様常ニ監督指導ニ努メツ、アルモ土地ノ狀況其ノ他ニ依リ往々ニシテ之ヲ缺クモノアルヲ以テ六月中縣下一齊ニ之カ調査ヲ施行シタルニ二〇六町村中未設置ノモノ一一町村アリ之等ニ對シテハ即時之ヲ設置セシメ傳染病豫防救治ノ完璧ヲ期セシメタリ  
ト、結核及「トラホーム」檢診勵行  
本件ニ關シテハ法令ニ依リ毎年勵行シ居ルト雖モ大正十五年<sup>昭和元年</sup>中管下四警察署管内昭和二年中六警察管内ノ接客業者ニ對スル

六、狂犬病豫防ニ關スル件  
イ、犬籍簿ヲ整理スルコト  
ロ、浮浪犬ノ捕獲ヲ勵行スルコト  
ハ、犬ノ買上ヲ勵行スルコト  
ニ、狂犬病豫防接種ノ普及ヲ圖ルコト  
狂犬病豫防注射及犬ノ整理成績ハ左表ノ如シ  
狂犬病豫防注射成績表 (昭和三年自四月至十一月)  
ト信ス  
檢診ヲ施行シ九警察署管内ハ未檢診ナリシカ昭和三年御大禮ニ際シ衛生施設ノ一端トシテ特ニ之カ檢診ヲ勵行セル結果九月末日迄ニ前記九警察署管内ノ檢診ヲ了シタリ而シテ健康診斷施行人員一萬六千四百十一名ニシテ檢診ノ結果結核ト決定セル五名ノ患者ハ營業禁止前死亡又ハ廢業セリト雖モ廢業セル患者ニ對シテモ銳意豫防治療ニ努メシメタリ又トラホームニ關シテハ健康診斷施行人員一萬六千百十一名ニシテ内重症三百四十五名輕症九百十名、疑似症千八十名ヲ發見シ之ニ對シテモ特ニ治療及注意事項ノ遵守ヲ勵行シタリ之カ治療成績ハ取纏メ中ナルモ相當ノ成績ヲ擧ゲ得タルヘシ

注 射 人 員	注 射 度 數	注 射 完 了 後 發 生 ノ 有 無
九	一六二	—

狂犬病豫防注射及犬ノ整理成績表 (昭和三年自四月至十一月)

買 上 頭 數	捕 獲 頭 數 (殺 ヲ 含 ム)	畜 犬 新 規 届 出 頭 數	計	豫 防 注 射 頭 數	畜 犬 現 在 頭 數	野 犬 見 込 頭 數
一、二一〇	四三六	九八三	二、六二九	七、五三九	一四、四二四	三二〇

其他御大禮ニ關スル衛生上ノ注意事項ハ内務省發衛第二十八號通牒ノ趣旨ニ則リ警察署長ニ指示シ之カ實行ニ努メタリ  
豫 算 三千百十三圓

(16) 千 葉 縣

地方饗儀ノ際饗儀場並ニ休憩場ニ救護所ヲ設置之カ救急藥品費トシテ御大禮費雜費中ヨリ金七圓二十錢支出セリ  
内務省通牒御大禮衛生施設事項ハ及フ限リ實施セリ

(17) 茨 城 縣

茨城縣防疫並保健衛生施設ニ對シ萬全ヲ期スルタメ昭和三年六月各警察署長ヲシテ所轄内町村長、町村醫、駐在巡查ヲ會同セ  
シメ施設事項ニ就キ打合會ヲ開催セシムルト共ニ一般縣民ニ對シテモ之カ趣旨ノ徹底ヲカメ更ニ七月二十日ヨリ二十六日迄左  
記事項ニ依リ「チフス」豫防並ニ狂犬病豫防週間ヲ施行セルカソノ結果衛生講話會四百七十一回聽講人員五十二萬六千二百餘  
人、九千四百六萬三千三百餘疋ノ捕蠅ト二千六十九頭ノ野犬掃蕩ヲ行ヒタリ

「チフス」豫防週間實施事項

- 一、宣傳ポスター及宣傳ビラ送付ニ付樞要ナル場所ニ適當貼付シ宣傳ビラハ小學校兒童及衛生組合員ヲ通シ各家庭ニ配布スル  
コト(曩ニ御送付致置キタルモノ)
- 一、熱性及下痢患者ノ檢索及視察ヲ嚴重勵行シ早期發見ニ努ムルコト
- イ、氷雪販賣者ニ就キ熱性患者冷却用トシテノ販賣狀況調査ノコト
- ロ、藥賣店ニ於ケル解熱下痢止等ノ賣行狀況ノ調査ヲ行フコト

ハ、鍼按業者及禁厭祈禱者ニ就キ出入者ノ病症模様調査ヲ行フコト

- 一、各種取締營業者ハ勿論一般住民ヲ適當ナル場所ニ集合セシメ衛生講話開催ノコト
- 一、小學校兒童ニ對シテハ學校醫又ハ受持教師ヨリ平易ナル衛生講話ヲ行フコト
- 一、衛生活動寫眞、衛生浪花節、衛生劇、衛生展覽會等ヲ開催ノコト
- 一、「チフス」保菌者ニ對シテハ傳染病豫病法施行規則第十一條遵守事項ヲ調査シ不備ノ點ハ勵行セシムルコト
- 一、豫防週間ニハ特ニ石油乳劑ノ撒布、蠅ノ驅除勵行ノコト

狂犬病豫防週間施設事項

- 一、別送豫防ポスター及パンフレットヲ適當ナル個所ニ配布シ趣旨徹底ニ努ムルコト
- 一、「チフス」豫防ノ講話會ト同時ニ別紙「パンフレット」ニ依リ狂犬病ニ關スル講話ヲナスコト
- 一、別紙配當ノ豫算ノ範圍内ニ於テ左記ニ據リ畜犬整理野犬掃蕩等ヲ施行スルコト

記

- (イ) 野犬買上 牝 一頭 五十錢
- 牡 一頭 三十錢
- 小 一頭 十錢

(ロ) 野犬撲殺勵行ノコト

チフス豫防及狂犬病豫防週間施行狀況調 (昭和三年度)

講話會 開催 度數	チ		フ		ス		豫		防		野		犬		掃		蕩	
	同上聽講人員	宣傳ポスター 及ビラ作製枚 數	同上經費價格	週間中ノ石油 乳劑散布量	週間中ノ蠅取 數	撲	殺	藥	殺	捕	殺	仔	仔	仔	仔	仔	仔	仔
四七一	二一九、二六七	五二六、二七六	六七四、六七〇	四六三九、二八〇	九四〇六三、三一三	二四七二七七	一四九四五一	四六二二〇	一一一一〇	九六二								

御大禮記念衛生施設事項

御大禮記念事業トシテ衛生施設上獎勵ヲ爲シタル事項左ノ如シ

- イ、傳染病隔離病舎設置ニ關スル件
- ロ、上水、下水道改良普及ニ關スル件
- ハ、飲料水ノ改良ニ關スル件
- ニ、改良便所設置ニ關スル件
- ホ、婦人衛生組合組織ニ關スル件
- ヘ、墓地整理並火葬場設置ニ關スル件

地方饗饌衛生事務事項

- イ、地方饗饌用ノ各種飲食物其ノ他ノ器具製造者並其ノ從業者等ニ對シテハ本人ハ勿論其ノ家族ニ至ル迄身體検査並尿尿略痰ノ細菌検査ヲ施行シ飲食物並其ノ器具ニ對シテハ衛生上ノ検査ヲ施行シ専ラ清潔ヲ保持セシムルト共ニ各種傳染病ノ豫防取締ヲ嚴密ニ施行シタリ
- ロ、地方饗饌ノ爲メ納入ノ各種飲食物並器具容器等ニ對シテハ細密ナル検査並消毒ヲ施行シ尙地方饗饌ノ前日ヨリ二十六日ノ朝ニ涉リ晝夜兼行ヲ以テ之カ納入検査ヲ施行シ饗饌調進者ニ對シテハ専ラ清潔ヲ保持スル様注意書ヲ配布シ以テ衛生上遺憾ナキヲ期シタリ
- ハ、地方饗饌當日ニ於テハ救護係二班ヲ組織シ第一班ハ地方饗饌場ニ他ノ一班ハ水戸停車場ニ於テ救護事務ニ從事シタリ

經費 二千八百六十圓

(18) 栃木縣

御大禮衛生施設ニ關シテハ昭和三年七月十一日十二日開催ノ縣下市町村長會議並九月二十四日二十五日開催ノ警察署長會議等ニ於テ特ニ同年三月二十八日付内務省發衛第二八號内務次官依命通牒ニ基キ夫々指示注意ヲナシ之レカ實施ニ力メタル外尙左ノ通施設ヲナシタリ

一、檢病的戸口調査ノ執行

傳染病就中腸チフスバラチフス患者早期發見ノ目的ヲ以テ昭和三年五月ヨリ十一月ニ至ル七ヶ月間左記ノ通り檢病的戸口調査ヲナシタリ

イ、執行期間及回数

自五月一日七ヶ月間毎月二回以上一週スルコト

ロ、方法

警察官及衛生組合員ヲ督勵シ各戸ニ就キ檢病的戸口調査ヲナシ可疑患者發見ノ際ハ醫師ノ診察ヲ德憑シ或ハ縣技術員ヲ派シ檢診ヲ爲サシメ臨床上診斷困難ノ場合ハ細菌學的検査ニ依リ夫々措置ヲナシタリ

ハ、執行回数及一回平均施行戸數人口

一回平均 一〇八、四一二戸 五五四、四〇二人

ニ、發見患者總數

一五四人  
内腸チフス一〇五人、バラチフス三五人、赤痢(疫痢ヲ含ム)二人、チフテリア及猩紅熱各一人

二、防疫會議ノ開催

十月十六日縣下各市町村醫ヲ招集シ防疫會議ヲ開催前同様内務次官依命通牒ニ準據シ各關係事項ニ付夫々指示注意ヲナシ極力依命通牒ノ實行ニ努メタリ

(19) 靜岡縣

静岡縣昭和三年頭初ヨリ計劃シ警察署及市町村ヲ督勵シ傳染病豫防其ノ他一般衛生施設ノ改善取締ニ努メツ、アリタル所ナルモ特ニ九月上旬ヨリ十一月下旬ニ亘リ實施セル施設成績次ノ如シ

一、檢病調査

九月十日ヨリ十一月二十三日ノ間三回ニ亘リ各警察署ヲシテ施行セシメ患者ノ早期發見ニ努メタルニ其ノ施行總人員(延人員)百八十六萬七千二百三十八人發見患者普通病九千七百七人傳染病疑患者四十七人内診斷若クハ檢鏡ノ結果腸チフス二十一人赤痢、疫痢、赤痢疑似十四人計二十五人ノ傳染病患者ヲ發見セリ

二、チフス豫防注射

豫防注射ハ三、四月ノ候ヨリ特ニ之カ普及ニ努メツ、アリタルモ九月上旬ヨリ十一月末ニ亘リ更ニ接客業者、警察官、鐵道沿線市町村内注射施行漏ノモノニ對シ實施シタルニ其ノ成績二萬一千百九十三人施行セリ内警察官九百十二人アリ

三、保菌者檢索

主トシテ鐵道沿線各市町村接客業者及飲食物製造販賣業者ニ對シ實施シタルニ其ノ施行人員一萬七千九百六十七人ニシテ内病原體ヲ發見シタルモノ九名(腸チフス七、バラチフス二)ニシテ内男五名(洋酒販賣、農、料理各業一、菓子製造業二)女四名(漁業、果物行商業各一、酒類小賣業二)ナリ

四、病原體保有者ノ取締

關係各警察署及市町村ニ對シ特ニ通牒シ嚴重取締ラシムルト共ニ十一月中本廳ヨリ係員ヲ派遣シ警察署市町村ノ取締、狀況竝ニ保有者二十七名ヲ視察セシメ消毒其ノ他規定ノ履行ヲ實施セシメタリ

五、不良飲食物、清涼飲料水ノ取締

十月下旬各警察署ヲシテ鐵道沿線四市六十二ヶ町村ニ於ケル一齊檢査ヲ實施セシメタルニ其ノ成績左表ノ如ク尙鐵道沿線中特ニ必要ト認ムル市町村ニ對シテハ縣ヨリ技術員ヲ派遣シ特ニ之レカ檢査ヲ施行セシメタリ  
飲食物其ノ他ノ物品試驗成績

検査戸數	清潔保持		飲食物用器具		飲食物	
	適	不適	適	不適	適	不適
六八二	三二五	一八八	五七六	四八三	一、五五二	六七一

六、精神病監置者ノ取締

各警察署ニ指示シ特ニ取締ヲ嚴ナラシムルト共ニ鐵道沿線三里以内ニ對シテハ七月下旬ヨリ十一月下旬ニ亘リ私宅監置ノ實地ニ就キ特ニ係員ヲ派遣視察セシメタルニ其ノ狀況左記ノ如クニシテ監置室ノ構造不備及監護義務者ノ不適又ハ義務履行不充分ナルモノニ對シテハ夫々改造變更ヲ命シタリ

- (1) 管下私宅監置精神病者總數 一三八
- (2) 同上鐵道沿線三里以内ニ在ル患者數 九五
- (3) 同上取締執行數 九五
- (4) 視察ノ結果改造ヲ命シタル數 三〇
- (5) 監護義務履行不能ニ付變更ヲ命シタル數 二

七、救護所ノ設置

御通過當日縣下鐵道沿線主要驛十一ヶ所ニ救護所ヲ設置シ救護ニ當ラシメタルニ其ノ狀況左記ノ如シ

(1) 救護従事者

- 醫師會、醫師四一、看護婦二一、計六二
- 赤十字社静岡支部、醫師六、看護婦九、書記八、計二三
- 縣職員、衛生技師技手防疫醫一二、藥劑師タル技師技手五、屬三、防疫監吏八、衛生主事補四、巡查一、衛生助手一、計三四
- 四其ノ他、在郷軍人五、消防組員一九、市町村書記八、計三二

合計

一五一

備考 右人員ハ延人員トス

(2) 救護人員 右拇指挫傷一、腦貧血八、計九

八、豫算 壹千貳百圓

(20) 山梨縣

一、施設

イ、特ニ縣令ヲ發布シ十月中各市町村ヲシテ期日ヲ定メシメ縣下無漏清潔方法ヲ施行セシム

ロ、痘瘡豫防上縣下市町村長及警察署長ニ對シ未種痘者ノ調査ヲ特ニ嚴行シ脱漏者無カラシメ尙曩ニ痘瘡患者ノ發生アリタル地及隣接地タル一町七村ニ對シテハ當時直チニ縣令ヲ發布シ強制種痘ヲ行ヒ豫防撲滅ヲ行ヘリ

ハ、全縣下ニ亘リ特ニ戸口調査ヲ行ヒ及傳染病患者、同保菌者ノ取締ヲ嚴行シテ傳染病豫防撲滅ニ努ム

ニ、傳染病保菌者ノ大禮關係地方ノ移轉旅行ニ對シテハ之ヲ阻止ス

ホ、浮浪徘徊癩患者ニ對シテハ救護其ノ他適當ノ措置ヲ爲ス様計劃ス私宅療養癩患者ノ大禮關係地方ヘノ旅行ヲ阻止ス

管下癩患者收容所ニ對シ患者ノ逃走防止ニ關シ特ニ計劃實行ス

ヘ、狂犬病豫防、野犬掃蕩ニ關シテハ十月一日ヨリ同七日ニ至ル間狂犬病豫防週間トシテ縣下一齊ニ之カ取締ヲ爲シ野犬、浮浪犬ノ買上ケ及撲殺(狂犬病ナシ)ヲ爲ス

二、豫算

一般豫算ニ於テ支辨セルモノヲ除キ特ニ豫算トシテ計上セル額ハ一千三百四十七圓ナリ

(21) 岐阜縣

一、通牒 御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニツキ昭和三年三月二十八日附内務省發衛第二八號ニ準據シ縣下各警察署長及市町村長ニ對シ之カ實施方通牒

二、傳染病講習會 昭和三年六月ヨリ十月マデノ間ニ於テ縣下各警察署(飛驒三郡ヲ除ク)ニテ二日乃至三日間其ノ管轄内警察官吏、市町村吏員、衛生組合幹部ニ對シ、傳染病大意傳染病豫防法並關係法規消毒方法ニツキ短期講習會開催

三、精神病患者ノ取締 監置非監置ノ精神病患者取締ニ就テハ當時警察署長ヲ督勵中ナルモ監置精神病患者ノ取締ニ就テハ尙一層注意ヲ要スヘキモノアルヲ認メ九月末ヨリ十一月初旬ニ於テ警察部衛生課員ヲシテ各精神病患者監置室ヲ一回又ハ二回實地視察セシメタリ

四、豫算 特ニ計上セス

(22) 長野縣

該當事項ナシ

(23) 宮城縣

御大禮衛生施設事項ニ關シテハ昭和三年三月二十八日附内務省發衛第二八號ニ準據シ管内全般ニ亘リ一齊ニ同年四月ヨリ十一月マテ實施シタル外該當事項ナシ

(24) 福島縣

該當事項ナシ

(25) 岩手縣

一、當縣下ニ於テ昭和三年十月陸軍特別大演習舉行セラレタル關係上衛生施設ニ關シテハ別紙添付(省略)ノ陸軍特別大演習衛生事務處理手續、皇族、供奉員、貴賓及統監部員ノ宿舍主衛生上ノ心得、軍隊宿舍主衛生上ノ心得、宿屋飲食店、料理屋及飲食物營業者ノ衛生上ノ心得等ヲ制定シ尙魚類販賣業取締規則、畜犬取締規則、同取締規則取扱手續、腸チフス豫防撲滅ニ關シ縣令訓令告諭ヲ發シ尙麻疹流行性感冒豫防ノ心得等ヲ作成シ縣下ニ頒布シ或ハ各種傳染病豫防撲滅ノ爲活動寫真會ヲ開催シ豫防思想ヲ宣傳勵行シタリ

一、御大禮衛生施設ニ關シテハ特ニ劃策シタルモノナキモ前記施設ヲ持續督勵セリ

一、縣下西磐井郡山目村鈴木仲治ハ御大禮御料品納入者京都市下京區七條通り本町西入木村三郎(御料食品材料トシテ雉子ヲ供給シタルヲ以テ陸軍特別大演習衛生事務處理手續中左記御料品ニ關スル事項ニ準據シ處理違算ナキヲ期セリ

記

一、御料品ノ製造又ハ取扱ニ付テハ、左ニ掲クル事項ヲ遵守スベシ

イ、作業ニ從事スル者竝ニ其ノ家族及同居者ニ對シ豫メ健康診斷及檢便ヲ行ヒ、且傳染病患者(疑似症ヲ含ム)アル場所ニ交通セシメサルコト

ロ、作業ニ從事スルトキハ豫メ指爪ヲ短剪シ、石鹼ヲ以テ肘部以下ヲヨク淨洗シ、稀酒精ヲ以テ消毒シタル後、白衣及白帽ヲ着用シ且口覆ヲ用キ、木履ヲ穿テ更ニ稀酒精ヲ以テ手ノ指ヲ消毒シ着手スルコト

ハ、御料品ノ製造又ハ取扱場所及御料品ニ關係アル場所ニハ係員以外ノ者、又ハ之ニ關係ナキ獸類等ヲ入ラシムヘカラス

一、御料品ヲ上納スルトキハ衛生技術員之ニ從フヘシ

(26) 青森縣

本縣ニテハ特ニ腸チフスノ豫防ニ主力ヲ濺キ縣下全圖ヲ腸チフス豫防接種區域トシ接種人員ハ六萬九千五百二十九人ニ及ヒ之カ豫算トシテワタクチン製造費、技術官旅費トシテ五千圓ヲ要セリ

(27) 山形縣

一、傳染病豫防

本件ニ關シテハ各警察署ニ於テ計畫ヲ定メ實行セシメタルカ傳染病中多ク本縣ニ發生スルハ腸チフス、バラチフス、赤痢等ニシテ大要左ノ如ク主トシテ是等ノ豫防ニ付勵行セリ

一、豫防智識ノ普及

市町村又ハ衛生組合ト協議シ印刷物ヲ新聞紙ニ折込又ハ警察官吏ヲシテ各戸ニ配布セシメ一面活動寫真應用衛生講話ヲ開催シ之カ普及ヲ計レリ

二、豫防接種ノ勵行

特ニ前年及本年患者發生部落ニ於ケル豫防接種ヲ勵行シタルト共ニ宿屋料理屋飲食店其ノ他飲食物販賣業者並是等ノ從業者ニ對シ豫防接種ノ勵行ニ努ム

三、患者ノ早期發見

警察署、市町村、衛生組合ハ互ニ連絡協調シ檢病的調査ヲ實行シ必要ニ應シ醫師ノ立會診斷ヲ行ハシム

四、保菌者ノ檢索

前年及本年患者發生部落又ハ工場等ニ對シ期日ヲ指定シ健康診斷ヲ施行シ特ニ飲食物販賣業者等ノ如キ傳染ノ媒介ヲ爲ス虞アルモノニ對スル糞便檢査ヲ施行ス

五、蠅驅除ノ勵行

市町村並衛生組合ニ對シ蠅驅除改良便所設置ノ獎勵厩舎、堆肥ノ改善及市街地ニ於ケル汚物燒却場ノ設置ヲ督勵ス

六、衛生組合ノ活動督勵

衛生組合役員、市町村衛生主任等ノ連絡ヲ保チ必要上可成協議會又ハ講習會ヲ開催セシメタルト共ニ衛生組合役員ノ活動ヲ促進スル爲メ檢病調査又ハ傳染病發生時ニ於ケル消毒等ニ立會ハシメ一面疑ハシキ患者發見ノ場合ハ通報ノ方法ヲトレ

二、保健衛生ノ改善

一、飲料水ノ改善

縣下ニ於ケル飲料水ハ一般ニ良好ナラス加フルニ之カ普及完カラサル爲メ流水ヲ使用シ又ハ飲料ニ供スルモノ尠カラサル狀況ニシテ保健防疫衛生上塞心ニ堪ヘサルモノアルヲ以テ從來之カ改善ヲ獎勵シ來タル處ナルカ今般之カ改善ヲ本縣御大禮記念事業中ニ選定シ一面之カ改善費ノ一部ヲ補助スルコト、シ普及改善ヲ督勵セリ尙御大禮ニ際シ町村ノ申請ニ對シ一般個人ノ井水ヲ蒐集シ無料檢査ヲ施行セリ

二、清潔保持

秋期清潔法ハ特ニ嚴重之ヲ行ハシメ街路又ハ之ニ沿ヘル河川溝渠及下水溝等ノ清潔保持ヲ勵行シ塵芥處分ノ適切共同便所ノ清潔保持等ニ努メタリ

三、飲食物等ノ取締

(一) 獸肉、牛乳等ノ檢査ヲ嚴ニシ販賣場所ノ清潔保持ヲ勵行セリ

(二) 飲食物製造所販賣場所等ニ對シテハ昨年六月飲食物取締規則ヲ制定シ取締ヲ勵行ス

(三) 宿屋、料理屋、飲食店、貸座敷等ニ於ケル調理場ノ改善、清潔保持、飲食物原料ノ精選、洗面所、浴場、便所ノ清潔保持其ノ他取締規則ノ勵行ニ努メタリ

(四) 以上ノ外衛生ニ關スル諸營業ニ對シテハ夫々取締規則ヲ勵行セリ

三、地方賜饌ニ關スル衛生施設

地方賜饌ニ際シテハ左ノ事項ヲ實施シ衛生上遺漏ナキヲ期シタリ

1. 賄品ノ精選

賄品並之カ原料品ノ檢査ヲ行ヒ遺憾ナキヲ期シタリ

2. 健康診斷

賄品ニ關係スル者全部ノ健康診斷ヲ行ヒ異狀者ハ之ニ從事セシメサルコト、セリ

3. 調理場、調理器具ノ檢査

調理場ハ全部清潔方法ヲ行ハシメ不良器物ハ使用セシメサルコト、セリ

4. 饗饌場ノ消毒

賜饌ノ直前饗饌場ノ消毒ヲ行ヒタリ

5. 救護所ノ設置

地方賜饌當日、同場ニ救護所ヲ設置シ老者急病者ノ救護ヲ行ヒタリ

四、豫算、特ニ計上セス



第一 飲料水ニ關スル件

本縣ノ飲料水ハ秋田市水道ノ外給水設備ノアル町村(簡易水道)二十九ヶ所アルモ其ノ他ハ主トシテ井水流水ヲ飲用ニ供シア  
ルヲ以テ之レカ改善ニ就キ年々井水ノ飲料適否ヲ検査シ來レルカ本年ハ縣内樞要ナル地域八ヶ所ノ井水四百六十九個ニ付キ檢  
査ヲ行ヒ一面縣下全部ニ亘リ八月二十五日ヨリ同月三十一日迄ノ衛生週間ノ際「クロール」消毒ヲ爲サシメタルニ其ノ成績左  
ノ如シ

クロール消毒井戸數

一萬二千二百二十三個

消毒未済ノモノ

一千六百二十個

未消毒井戸ハ週間中縣内各地旱魃ノ爲井水枯喝ニ依リ消毒不可能ノモノナリ尙堀抜井戸ニ對シテハ其ノ使用時ニ「クロール」  
消毒ヲ施行セシメタリ

第二 清潔保持ニ關スル件

春秋二回ノ定期清潔検査ヲ嚴重ニ行ハシメ一面清潔保持ニ努メシムルト同時ニ縣内各驛所在地ハ日常ノ清潔保持ニ就キ注意セ  
シメタリ殊ニ秋季清潔方法ニ就キ各市町村ハ衛生組合長ヲ招集シ特ニ御大禮ニ際シ清潔保持ニ就キ協議ヲ爲シ遺憾ナカラシメ  
タリ

第三 屎塵芥ノ處分ニ關スル件

從來ヨリ樞要ナル地十二ヶ所ニ汚物掃除法ヲ適用シ有ルヲ以テ之等ノ個所ニアリテハ平素三四日乃至一週間ノ間隔ニテ塵芥搬  
出ヲ行ヒツ、アリタルカ本年ハ特ニ各所ニ於テ平素ヨリ搬出力ヲ増加シ掃除監督ヲ嚴重ニ勵行セリ  
秋田市ハ平素七臺ノ搬出荷馬車ヲ以テセルモ特ニ十月ヨリ三臺ヲ増加シ一日拾臺ノ荷馬車ヲ以テ搬出セシメ塵埃ノ蓄積散出ヲ  
防止セリ

第四 尿尿處分ニ關スル件

共同便所ハ縣内各樞要町村ニ設置シアリテ汲取並掃除ハ請負ニテ之ヲ爲サシメツ、アリ本年中特ニ新設セルモノ二六個ナリ

其ノ他臨時ニ設備セルモノナシ秋田市ハ特ニ地方供饌其ノ他各種催ノ爲メ縣人ノ出入多キヲ以テ特ニ共同便所ハ毎日石油乳劑  
ヲ以テ消毒シ内外ノ清潔保持ニ努メ殊ニ汲取ハ組合ヲ組織シ汲取ハ請負ハシメ毎日之レヲ勵行セシメタリ各戸便所ニ對シテハ  
汲取ヲ勵行セシムルト共ニ位置不適當且不潔ナルタメ變更セルモノ一九二個ニ及ヘリ

第五 飲食物等ノ取締ニ關スル件

一、屠場ハ公設三箇所私設七ヶ所計十ヶ所ニシテ各所ニ常ニ獸醫タル衛生技手ヲ派遣シ設備ノ改善其ノ他清潔保持ニ努メタリ  
二、牛乳搾取及設備取扱搾取器具等ノ清潔保持其ノ他諸法規等ニ關スル斯業ノ知識普及ノ目的ヲ以テ營業者ニ對シ四月廿五  
日同廿六日ノ二日間日本赤十字社秋田支部樓上ニ於テ乳事講習會ヲ開催セリ營業者八十一名中會セルモノ四十五名外取締ノ  
任ニアル衛生技手等ニシテ會終了後種々ノ點ニ就キ協調セリ  
三、飲食物等ニ對シ特ニ縣外輸出品ニ對シテハ衛生技術官ヲ派遣シ又ハ收去セシメ化學的検査ヲ嚴行セルカ其ノ検査件數七千  
五百十四件内不良件數九百二十八件ニシテ其ノ内七件(醬油)ニツキ處分セリ

第六 旅店料理店飲食店貸座敷等ニ關スル件

料理店旅店飲食店其ノ他警察取締ニ屬スル諸營業者ニ對シテハ縣技術員ヲ派遣シ健康診断ヲ行ハシメ同時ニ其ノ際各種營業者  
ニ付キ衛生上ニ關スル講演ヲ爲サシメタリ尙八月中ノ衛生週間ニ於テ之等諸營業者ニ對シテ特ニボスターリフレットヲ頒布注  
意ヲ喚起セシメタリ

第七 其ノ他衛生上取締ヲ要スル各種營業ニ關スル件

理髮店ニ對シテハ公衆衛生上周到ナル注意ヲ嚴重ニ行ハシムルト同時ニ十一月上旬之レカ一齊取締ヲ執行シ一層公衆衛生上ニ  
就キ諸注意ヲ喚起セシメタリ之レカ一齊取締狀況左ノ如シ

注意 件 數

一、一九四

說 諭 件 數

三七六

改善ヲ命シタル件數

二八

告發件數

八四

計

一、六八二

各種工場等ニテ最モ多ク且ツ多數人ヲ使傭セル工場所在地タル能代港町湯澤町ノ二ヶ所ニ於テ健康保險署ト協調ノ上五月中衛生展覽會ヲ開催主トシテ工場使傭人ニ觀覽ノ便ヲ計リ工場關係者ニ對シテハ講演會ヲ爲シタリ其ノ他保險署ト協同ヲ以テ縣下全般ノ工場ニ對シ衛生活動寫真會ヲ開催セリ

第八 花柳病豫防ニ關スル件

一、縣下遊廓所在地十ヶ所娼妓平均二二五人ノレニ對シテハ月六回ノ定期健康診斷ヲ勵行シ有病者ニ對シテハ入院其ノ他治療方法ヲ實施セシメ花柳病ノ豫防ニ努メタリ  
二、營業者ニ豫防藥品ヲ備付ケ(娼妓個人ニテ所持シアリ)洗濯設備トヲ爲サシメ(主トシテ「クレゾール」ヲ用フ)接客毎ニ嚴行セシムル様注意ヲ爲シタリ  
三、花柳病傳播ノ虞アル接客業婦(藝妓酌婦其ノ他雇女)ニ對シテ豫防知識ノ普及ノ爲メ特ニ活動寫真班ヲ組織シ縣内三十九ヶ所ニ於テ開催セリ

尙健康保持ニツキテハ之等營業者ヨリ成ル保健組合ニ於テ毎月一回乃至三回以上自衛的健康診斷ヲ勵行シ有毒者ニ極力治療勸誘セリ

既設ノ治療所二ヶ所外本年ハ船川渡町料理屋組合ヲシテ治療設置ヲ計劃セシメ目下工事進捗中ナリ自衛的健康診斷ヲ施行シアル人員左ノ如シ

實人員	一、一七六名
延人員	二一、七九一名
有病者	三〇一名

其ノ他保健組合ト協調樞要個所二十四ヶ所ニ縣技術官(醫師)ヲ派遣シ花柳病ノ檢診ヲ行フト共ニ豫防講演ヲ爲シタリ

檢診成績

受檢人員	五五六名
有病者	二一六名
梅毒	一三七名
淋病	一三七名
軟性下疳	九七名
其他	九七名
檢診人員百ニ對スル有病者	三八、八五名
檢診人員百ニ對スル花柳病者	三四、六四名

第九 結核トラホーム豫防ニ關スル件

警察取締營業者ニ對シテ本年二月ヨリ十月ニ亘リ結核トラホームノ檢診ヲ行ヒ患者ノ發見ニ努メタリ又昨年六月開設セル縣内三ヶ所ノ結核消毒所ノ利用並ニ結核豫防ニ付キボスタ一二十枚「リーフレット」十一萬枚ヲ印刷頒布シ更ニ七月十二日結核豫防並ニ患者發見等ニ關シ各警察署長ニ對シ督勵ヲ爲シタリ

第十 癩豫防ニ關スル件

患者取締ニ關シテハ北部保養院關係縣ト聯絡ヲ計リ遺憾ナキヲ期シタリ  
尙本縣ニ於ケル保養院送致定員二十三名ノ處特ニ甚シキ患者ニシテ希望者アリタルニ依リ定員外トシテ一名保養院ニ送致セリ  
現在患者二百名ニシテ特ニ救護ヲ要スヘキモノヲ認メサル狀況ナリ尙警察署長會議ノ際之等私宅療養患者ノ取締ニ關シテ訓示セリ

第十一 精神病者ニ關スル件

當管下ニ於ケル精神病者ハ監置四十四名不監置五百七拾八名ニシテ之レカ精神病者ノ中ニテ御大禮ノ爲メ旅行セント企ツルモ

ノ或ハ所在不明者モ相當アリ殊ニ未タ警察視線外ノ者尠カラサル狀況ニアル等警備上深甚ノ注意ヲ要スル處ニシテ之カ視察警戒ニ就イテハ期日ヲ三期ニ分チ本指示事項ニ遵ヒ夫々施設計劃ヲ樹テ各署ヲ督勵シテ不穩不敬ノ舉措ニ出ツルカ如キコトナキ様最善ノ努力ヲ爲シ一面課員ヲ各署ニ出張セシメ指導督勵ヲ加ヘ計劃事項ノ遂行ニ努メタルニ各署員ニ於テモ一層緊張味ヲ以テ之ニ當リタル結果一二遺憾ノ點ナキニアラサルモ大體ニ於テ良好ノ成績ヲ舉ケ事故ナク終了ヲ見ルニ至リタルモノニテ今實行セル重ナル成績ヲ舉クレハ

一、所在不明精神病者發見數

四名

一、精神病者ノ新規發見數

九十七名

一、精神病者ノ監置室修繕セシメタル數

三件

一、精神病者ニシテ御大禮關係地方ニ出行セントシタルモノノ阻止シタル數

二名

一、御大禮關係地方ニ出行ノ虞アリ第三期間ニ入り檢束シタル數

二名

### 第十二 防疫ニ關スル件

一、傳染病ノ豫防其ノ他防疫上諸般ノ智識普及ヲ計リ特ニ御大禮ニ際シ縣内ノ衛生施設ノ徹底ヲ期セシムルノ目的ヲ以テ傳染病ノ擡頭セサルニ先チ六月二十六日ヨリ同八日迄三日間防疫講習會ヲ開催各市町村ノ衛生擔當者並ニ衛生組合長ヲ會同セシメタリ

講習會終了後防疫其ノ他衛生施設ニ關シ協議會ヲ開催セリ

二、衛生週間ハ八月廿五日ヨリ同月三十一日迄一週間衛生週間ヲ開催シ傳染病豫防其ノ他公衆衛生諸般ノ注意者並ニポスターヲ印刷頒布セリ(ポスター二千枚注意書一萬枚印刷配布)

三、チフス早期發見ニツキ年々膽汁培養基ヲ配布シアルモ本年ハ特ニ其ノ配布回数ヲ増スト共ニ之レガ利用方ヲ督勵シ衛生課並ニ横手衛生試驗所大館細菌檢査所ニ對シテ細菌學的檢査ノ督勵ヲ加ヘタリ

四、發生シタル傳染病ニ對スル措置ハ(主トシテ腸チフス)衛生技術員其ノ他係員ヲ派遣極力傳染系統ヲ調査セシムルト共ニ

檢病的戸口調査ヲ行ヒ蔓延防止ニ努メタル結果本年ノ一般傳染病ハ既往兩三年ニ比シテ約二百名ノ減少ヲ見タリ

五、本縣ニ於ケル貿易港トシテ船川港ノミナリ依ツテ之レカ水上取締ニ關シテハ所在地警察署ニ命シ嚴重ニ行ハシメタリ

十月十八日上海ヨリ長崎港ヲ經テ船川港ニ寄港セル三福丸乗込船員二十六名ニ對シ檢疫ヲ執行(時上海ニコレラ流行中ニ付キ)有病者無キヲ以テ(檢便結果保菌者ナシ)健康證明書ヲ與ヘタリ

六、痘瘡豫防ニ關シテハ三月中東京福島地方ニ痘瘡患者發生セル際本縣ニ於テハ之レカ浸入防止ノ策トシテ同地方ニ往復セル者及物品ヲ取扱フモノニ對シテ種痘ヲ勵行セシムヘク三月十七日各警察署長及市町村長ニ對シ通牒ヲ發シタリ

尙御大禮取締ノ爲出張ノ者ニ對シテハ豫防注射並ニ種痘ヲ實施セリ

七、傳染病隔離病舎整備ニ就キ二月七日各警察署長ニ通達調査セシメタリ

八、其ノ他ニ關シ腸チフス患者三ヶ年以上繼續發生セル町村一〇四ヶ町村ナルヲ以テ之レ等町村中最モ患者多數ナル町村ニ對シテ傳染病豫防ニ關スル活動寫眞會ヲ開催スルト共ニ衛生講演會ヲ開催セリ其ノ數四十二ヶ町村ニ及ヒタリ、九月十五日十六日ノ兩日ノ北海道東北六縣衛官生技術官會議ニ際シ豫防上ニツキ意見ヲ交換セリ

### 第十三 救護ニ關スル件

十一月十六日地方賜饌ノ際左記救護班ヲ組織シ場内一般ノ救護ニ充テタリ

#### 救護班

- 一、醫師 二名
- 一、藥劑師 三名
- 一、警部 三名
- 一、屬 一名
- 一、看護婦 一名
- 一、救護者 一名 (胃潰瘍ニテ卒倒セルモノ)

第十四 各種團體ニ關スル件

縣主催ニテ九月十四日ヨリ同月十六日マテ三日間秋田市ニ於テ衛生展覽會開催ニ際シ左記團體ト協調ヲ遂ケ衛生普及ニ努メタリ

秋田縣私立衛生會 秋田縣齒科醫師會 秋田市縣藥劑師會 日本赤十字社秋田支部

◎地方賜饌衛生事務施行事項

(一)賜饌場ニ關スル件

地方賜饌場ノ(秋田市中通小學校)場内ニハ唾壺ヲ配置シ兩便所ノ消毒ヲ行ヒ場内各所ニ便所ノ所在ヲ指示スルト共ニ第十

三項記載ノ救護班ヲ組織シ場内一般ノ救護ニ努メタリ

(二)飲食物ニ關スル件

饗饌ニ關スル飲食物關係従業者ニ對シテハ健康診断並檢便ヲ行ヒ健康者ノミ從事セシメ調理ニ關シテハ飲食物ノ原料並飲食

用器具ニ對シ技術者ヲシテ嚴重檢査ヲ施行セシメタリ

健康診断並檢便ヲ行ヒタル關係者左ノ如シ

一、御料理關係者

一〇名

一一名

一、御菓子關係者

豫算 九百七十二圓四十錢

(29) 福井縣

飲食物取締傳染病豫防救治並ニ家畜傳染病豫防等ニ一段ノ努力ヲ拂ヒタルモ特ニ實施シタル衛生施設ナシ

(30) 石川縣

御大禮衛生施設ニ付テハ特ニ豫算ヲ設ケサリシモ昭和三年三月二十八日附内務省衛發第二八號内務次官依命通牒ニ依ル衛生施設事項ニ基キ管下各警察署長市町村長醫師會長等ニ通達シ三者協調シテ施設ノ實行ヲ計ラシメ縣ニ於テハ保菌者調査ノ勵行ヲナシ「腸チフス」豫防注射ノ普及ニ力ヲ盡シ一方衛生思想ノ普及徹底ヲ計ル爲メ「ポスター」ノ刊行講演會活動寫真利用講演ヲナシ部民ノ智識啓發ニ努メ官民協力遺漏ナキヲ期シタリ

(31) 富山縣

御大禮衛生施設ニ關シテハ昭和三年三月以來各警察署長ニ訓示或ハ通牒ヲ發シ市町村長並各種團體ト協力シ各種傳染病ノ防遏ニ全力ヲ傾注シ其ノ他衛生諸般ノ施設ニ付テモ一層最善ノ注意ヲ拂ヒ以テ萬遺憾ナキヲ期シタリ其ノ主ナル施設左ノ如シ

防疫ニ關スル件

一、本縣ノ防疫上最モ憂慮スル處ノモノハ腸チフスノ流行及コレラ痘瘡ノ侵襲ニシテ腸チフスノ豫防撲滅ニ對シテハ夙ニ意ヲ注キ患者發生ノ部落ニハ豫防注射ヲ施行シ患者ノ隔離ヲ勵行スルノ外衛生技術員ヲ派遣シテ傳染系統ノ探索消毒方法ノ指示監督ニ力メ之カ豫防撲滅ニ努メタリ

二、コレラ痘瘡ノ豫防ニ關シテハ船舶出入夥シキ伏木港及其ノ他ノ沿岸各警察署長ニ對シテ常ニ傳染病發生狀況ニ留意セシムルト共ニ出入船舶ノ乗組員及上陸者ノ健康狀態ニ注意シ特ニ有病地ヨリノ飯來ノ有無ヲ調査セシメ必要ニ應シ衛生技術員ヲ急派セシムルノ外適宜ノ處置ヲ爲サシメタリ

三、水電事業其ノ他ノ出入者ニ注意シ若シ朝鮮支那方面ヨリ直行シタルモノ或ハ痘瘡有病地ヲ發シ又ハ通過シタルモノアル時

ハ事業主者クハ其ノ責任者ト協商ノ上種痘ヲ勵行セシメタリ

四、御大禮ニ際シ京都府及三重縣ニ應援ノ爲派遣セラレタル警察官吏ニ對シテハ漏ナク腸チフスノ豫防注射ヲ施行シタルノ外  
 彼地ニ旅行スル者ニ對シテモ之カ接洽ヲ獎勵シ良好ノ成績ヲ收メタリ

其ノ他檢病の戸口調査、細菌學的検査、病原體保有者ノ検査ヲ始メ各般ノ施設ヲナセリ

檢病的戸口調査表 昭和三年十一月末調

戸數	人口	發見患者數		
		傳染病患者	普通患者	計
五七六、六九三	三、〇四九、八二二	九二	一六、一六四	一六、二五六

昭和三年 自十一月迄於試驗場 細菌室検査件數及成績調表

糞	便		血		液		發泡液		喀痰		合計
	腸チフス	バラチフス	赤痢	腸チフス	バラチフス	腸チフス	バラチフス	結核	核件		
陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	九四三
陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	陽性	七
											一
											一六
											二
											一、四三四
											1011

傳染病患者表 昭和三年十一月三十日調

五〇	三三七	三〇	四三	七	一	二	五一
赤痢	腸チフス	バラチフズ	デフテリヤ	猖紅熱	痘瘡	流行性腦脊髄膜炎	ワイル氏病

豫防注射施行ニ關スル件

腸チフス並ワイル氏病豫防ノ徹底ヲ期センカ爲豫防注射液ヲ製造シ近年發生シタル部落ノ住民ハ勿論其ノ他取締營業者並一般公衆ニ對シ殆ント普遍的注射ノ勵行ヲ期シ本病ノ豫防警戒ニ努メタリ而シテ腸チフスノ注射ヲ受ケタル者六萬四千二百八十三名ニシテ内四萬八千十五名ハ其ノ第二回注射ヲ完了セリ、ワイル氏病ノ注射ヲ受ケタル者ハ八千二百三十八名ニシテ内六千九百二十四名ハ其ノ第二回注射ヲ完了セリ

狂犬病豫防ニ關スル件

警察署長市町村長並各種有力團體等ト協調シ畜犬ノ整理野犬ノ掃蕩等ヲ行ハシメ以テ豫防ノ效果ヲ收メタリ野犬ノ掃蕩數ハ千三百六十三頭ナリ

癩患者ニ關スル件

浮浪徘徊ノ癩患者ニ對スル取締ヲ始メ及フ限リ本病患者ノ取締ニ努メタリ

飲食物取締ニ關スル件

牛乳搾取所及牛乳請賣營業者ニ對シ各署ヲシテ毎月一回以上一齊臨檢ヲ行ハシムルノ外技術員ヲシテ不時ニ臨檢ヲ行ハシメ其ノ取締ニ留意セルヲ始メ飲食店、飲食物製造及販賣所ノ巡視、飲食物及飲食用器具ノ衛生的検査、公設市場ノ清潔等保持等飲食物ノ取締ニ關シ遺漏ナキヲ期セリ

牛乳搾取場清潔改善ニ關スル件

本件ニ關シテハ昭和三年三月以來警察官吏衛生技術員等ヲ各搾取場ニ臨檢セシメ周到嚴密ナル調査ヲ行ヒタル結果全部改築六二部改築七七、修繕九〇ヲ命シ以テ遺憾ナキヲ期シタリ

旅店料理店飲食店貸座敷等ニ關スル件、飲料水ニ關スル件、清潔保持ニ關スル件、蠅ノ驅除ニ關スル件ニ關シ何レモ及フ限リカラ竭セル外衛生思想ノ普及ニ關シテハ左ノ施設ヲナセリ

一、衛生思想ノ普及ヲ圖ル爲衛生講話會、短期防疫講習會ヲ開催シ一般民衆ノ衛生智識ノ啓發ニ努メタリ

二、各種工場及工業場ニ對シテハ衛生設備ヲ完備セシメタルノ外警察官吏及醫師ヲシテ衛生講話ヲ爲サシメタリ  
 三、學校長ト協議シ學校醫其ノ他ノ者ヲシテ衛生講話ヲ爲サシメ衛生思想ノ普及ニ努メタリ  
 四、縣下各地ニ衛生活動寫真班ヲ派遣シ衛生思想ノ普及ニ努メタルカ其ノ開催度數八十七、觀覽者數五萬八千九百五十名ナリ

各種團體ノ活動狀況ニ關スル件

縣下各種團體中衛生組合三百三十七、青年團九十五、在郷軍人會五、自警團八十五、婦女會二十一ハ特ニ昭和三年春以來左ノ如キ事業ヲナシ效果ヲ收メタリ

イ、時々衛生講話會ヲ開催シ或ハ衛生宣傳ポスターヲ樞要ナル箇所ニ貼付シ衛生ニ關スル印刷物ヲ各戸ニ配布スル等衛生思想ノ普及徹底ニ努メタリ

ロ、飲料水改善ニ關シテハ河水使用者ニ井戸ノ新設及濾過器ノ使用ヲ獎勵シタルノ外井戸ハポンプ裝置ト爲シ時々「クロール」石灰ヲ以テ消毒スル等安全ナル飲料水ヲ得ルニ努メタリ

ハ、夏季傳染病ノ流行期ニハ特ニ臨時大掃除ヲ施行シタルノ外尙溝渠、下水、塵芥溜ノ一齊浚深ヲ施行シ清潔保持ニ努メタリ  
 ニ、各種團體毎ニ蠅取紙、蠅取器、石油乳劑ノ共同購入ヲ爲シ各戸ニ配布シ石油乳劑ハ蠅ノ棲息シ易キ不潔ノ場所ニ散布シ蠅ノ驅除ニ努メタリ

以上ノ諸經費ハ概ネ左ノ如シ

石油乳劑購入費	七、七三七、〇〇
石灰 同	三六九、〇〇
蠅取紙同	一、六四五、〇〇
蠅取器同	二八一、〇〇
印刷物同	一、六二七、七〇
下水溝改造費	一五二、〇〇

井戸新設費	個人	二、五九八、〇〇
共同	四、八三三、八〇	

ホ、市町村當局ニ於テモ傳染病豫防ニ就テハ傳染病院或ハ隔離病舎ノ完備ノ要アルヲ自覺スルト共ニ御大典記念事業ノ一トシテ之カ建設改築ニ銳意努力シタルニ依リ縣下ヲ通シテ傳染病院一、隔離病舎五ノ新設ヲ見タル近年稀有ノ現象ニシテ防疫上慶賀ニ堪エス

大嘗祭庭積机代物、献上品、地方賜饌ニ關スル件

一、大嘗祭庭積机代物及供納者

小豆、精粟、精米、干海老 各一名

干 鮎 神通川漁業信用販賣組合

献上品及納入者

醬 油 北一醬油株式會社

御所落雁、月世界、銀杏、唐箕、晒麻布、銅器花瓶、

漆器御手篋、絹織物富士細、千代の梅、真綿 各一名

地方賜饌用御料理調製者 四名

一、本件關係者ノ健康ニ關スル件

大嘗祭庭積机代物供納者並家族及献上品關係者地方賜饌ノ料理従業者ニ對シテハ警察官ヲシテ時々健康状態ヲ視察セシメ苟モ傳染性疾患其ノ他ノ疾病アル者ヲ發見シタルトキハ直ニ報告セシメタル外時々衛生技術員ヲ特派シ關係者ニ對シテハ洩レナク健康診斷ヲ行ヒタルノ外腸チフス豫防注射ノ施行或ハ保菌者ノ檢索ヲ行ヒ諸般ノ保健衛生ニ關シ指示督勵シ萬遺憾ナキヲ期シタリ

種別	健康診断成績調		疾病者		細菌検査ノ成績調	
	健康診断者	健康者	疾病者	檢便數	陽性	陰性
大嘗祭庭積代物供納者並同家族	六七	六七	ナシ	五三	ナシ	五三
献上品關係者並同家族	五二	五二	ナシ	三三	ナシ	三三
地方賜饌ノ料理従業者並同家族	一四一	一四一	ナシ	一〇六	ナシ	一〇六
計	二六〇	二六〇	ナシ	一九二	ナシ	一九二

一、本件材料等消毒方法其ノ取扱方ニ關スル件

大嘗祭庭積代物並献上品ノ謹製ニ際シテハ特ニ調製室ヲ新設シ消毒の清潔方法ヲ施行シ係員ノ外出入ヲ禁シ調製ニ使用スル一切ノ器物ハ酒精擦拭ヲ爲シ従業者ハ清潔ナル白衣マスクヲ使用セシメ且ツ従業前ハ前膊及手指ヲ石鹼温湯ヲ以テ清洗セシメタル後酒精ヲ以テ擦拭セシム各謹製ニ係ル物品ハ特ニ消毒済ノ調製セル容器ニ納メタルモノニシテ以上ハ衛生技術員ノ監視監督ノ下ニ行ヒタルモノナリ献上品中飲食物ニ對シテハ其ノ材料並製品ノ化學的試験ヲ行ヒタルモノニシテ何レモ衛生上危害ナキハ勿論品質最モ佳良ナリトス地方賜饌用ノ御酒御料理ニ關シテハ其ノ材料ノ產地、仕入先等ヲ詳細ニ調査シ特ニ材料ハ新鮮ヲ期シ化學的試験ヲ要スヘキモノニ對シテハ衛生技術員ヲシテ行ハシメタリ尙取扱ニ付テハ適宜ノ措置ヲ講シタリ

地方賜饌御料理調製所ハ豫メ熱加里石鹼溶液ヲ以テ消毒ヲ行ハシメ調理人以外ノ者ノ出入ヲ禁シ使用器具器物ハ酒精ニテ消毒ヲナシ従業者ハ清潔並ナル白衣白帽マスクヲ使用セシメタルノ外特ニ手指ヲ石鹼温湯ヲ以テ清洗セシメタリ尙此ノ際使用ノ松枝葉蘭、菊ノ葉ハ晒粉溶液ニ浸シ後煮沸冷水ニテ清洗シタルモノヲ用ヒタリ

豫 算 六百四十圓

(32) 鳥 取 縣

御大禮ニ關スル衛生施設トシテ本縣ニ於テハ主トシテ防疫方面ニカヲ注キ左記各項ノ方法ヲ實施シ其ノ遺憾ナキヲ期セリ

一、檢病的戸口調査ノ履行

傳染病患者ノ早期發見ニハ檢病的戸口調査最モ有效ナルヲ以テ從來ヨリ之ヲ實行シ居レルモ御大禮防疫施設ノ一トシテ九月一日ヨリ持續的ニ之ヲ履行セシメタルニ檢病調査人員ハ六十六萬七千八百六十三人ニシテ有病者千八百九十名内傳染病若ハ其ノ疑似六十名ヲ發見セリ尙醫師會ト連絡ヲ執リ一般開業醫ニ對シテ早期診斷ノ便ニ供セシムル爲メ各警察署ニ「チフス」診斷液並膽汁培養基ヲ豫メ配布シ無料ニテ之ヲ利用セシメ以テ患者ノ早期發見ニ努メタリ

二、癩患者ノ視察取締

醫師ノ届出ニ依リ名簿ニ登録セル患者ニ對シテハ消毒其ノ他ノ設備ヲ嚴ニ行ハシメ且多衆ノ集合又出入スル場所並御大禮關係地方ニ旅行セシメサル方法ヲ講シ一面隠レタル患者並浮浪徘徊中ノ患者發見ノ爲メ九月十五日ヲ期シ一齊調査ヲ行ヒ本調査ニ依リ患者八十三名中新患者三十八名ヲ發見シ之等新患者ニ對シテハ從來ヨリノ患者同様視察ヲ行ヒ其ノ豫防消毒並旅行等ニ對スル取締ヲ履行セリ

三、保菌者ノ檢索取締

保菌者ヲ早期ニ發見シ御大禮關係地方ヘノ旅行ヲ阻止スルハ防疫上最緊要ト認メ患者發生スルヤ患者ノ家族並其ノ出入者ハ勿論進テ部落住民ノ健康診斷ヲ行フト同時ニ尿管ヲ採取シ細菌検査ヲ行ヒ保菌者ノ檢索ニ努メタリ而シテ健康診斷ニ關シテハ町村醫ノ外縣ヨリ防疫醫ヲ派遣シ之ニ當ラシメ検査材料ノ採取ニ付テハ警察官ヲシテ之ニ從事セシメタリ尙保菌者ノ檢索ハ以上ノ外客ノ來集ヲ目的トスル者其ノ他特種營業者ニシテ必要ト認メタル者ニ對シテモ同様尿管ノ検査ヲ行ヒ其ノ人員千六百三十七名ニシテ陽性ノ者一名ヲ發見セリ

四、豫防注射ノ勵行

本縣ニ於ケル傳染病中最モ多キハ「チフス」ナルヲ以テ其ノ豫防ニ關シテハ各種ノ方法ヲ講シツ、アルモ特ニ效果ノ確實ナル豫防注射ニ對シテハ其ノ普及勵行ニ努メ開業醫ナキ町村又ハ特別ノ事情アルモノニ對シテ防疫醫ヲ派遣シ其ノ他ノ町村ニ對シテハ通牒ヲ發シ又ハ警察官ヲシテ直接督勵セシムル等ノ方法ニ依リ十月迄ニ之ヲ行ヒタル者三萬三千八百七十六名ナリ因ニ管内人口ハ四十七萬九千六百八人ナリ

五、定期種痘及臨時種痘ノ勵行

痘瘡ハ種痘ノ普及徹底ニ依リ完全ニ防止スルコトヲ得ルモノナルヲ以テ警察官ヲシテ檢病的戸口調査ニ依リ未寄留等ニ由ル種痘未済者ノ發見ニ努メ又定期種痘ヲ嚴重ニ行ハシムルト同時ニ不善感ノ者ニ對シテハ臨時種痘ヲ督勵スル等其ノ普及徹底ニ努メタリ而シテ之ヲ行ヒタル者四千四百三十四人ニ達シ其ノ成績ヲ見ルニ善感者二千九十三人不善感者二千三百四十一人アリタリ

六、經費 特ニ豫算ヲ計上セス

(33) 島根縣

本縣ニ於ケル精神病者數ハ昭和三年七月現在七百十三名(内男四百三十九名)ナルヲ以テ御大禮ニ際シ特ニ之カ監護取締ニ留意シ萬全ノ策ヲ講スルヤウ同年六月二十二日附ヲ以テ各警察署長宛通牒シ之ニ努力セル外特ニ實施シタル施設ナシ

(34) 岡山縣

施設事項

一、精神病者ノ取締

精神病者ノ警備取締ニ付テハ昨年八月四日ヨリ三日間ニ亘リ特ニ各警察署長ヲ招集シ御大禮警備要綱ニ於テ記述シタル方針ニ則リ詳細打合セテ遂ケ速ニ其ノ名簿ノ一齊整理ヲ行ヒ嚴密ナル視察警戒ニ努メ些ノ遺憾ナキヲ期シタリ而シテ其ノ警備期間中ニ於ケル取締ノ概況左表ノ通

監置精神病者取締成績表

期間別	種別	監置精神病者數	監置場臨檢度數	場所變更又ハ改築 修繕ヲ命シタル數		其ノ他必要事項 ヲ指示シタル數	備考
				第一	第二		
第一期		二二六	六七八	六九	三一六		
第二期		二二二	一、〇九六	二	三七		
第三期		二二五	一、一六四	二	一二		
計		二、九三八	七三	三六五			

非監置精神病者取締成績表

期間別	種別	非監置精神病者數	新ニ發見	轉歸又ハ移轉	監護義務者又ハ保護者ヨリ請書ヲ徵シタル數	備考
第一期		一、〇一五	二五八	七八	六七	
第二期		一、一九五	九七	三四	二七六	
第三期		一、二四八	七	九	一、〇五七	
計		三六二	一二一	一、三九〇		



所在不明精神病患者調査成績表

計	期間別			所在不明精神病患者數	新ニ所在不明トナリタル者ノ數	所在不明精神病患者ヲ發見シタル數	備考
	第一期	第二期	第三期				
	七七	五二	三八				
計	二	二	一	五	二七	一六	二
					四五		

(二)全期間中ニ於ケル精神病患者取締成績表

外出若ハ旅行セシトシタル者ヲ阻止シタル數	期間中急迫監置シタル數及其廢止數		尾行シタル數		旅行中其ノ他各地ヲ徘徊中保護シタル數		同上保護シタル者ノ内他府縣ヘ引渡シタル數
	監置	廢止	管内ノ者	管外ノ者	徘徊中保護シタル數	同上保護シタル者ノ内他府縣ヘ引渡シタル數	
一三	三六	二	三	六	二七	九	

二、傳染病豫防

イ、公種痘脫漏者其ノ他必要アリト認ムル者ニ種痘ヲ勵行セシメ一面支那朝鮮方面ヨリ渡來セルモノ及其ノ往復者ニシテ未種痘者不善感者等ニ對シテハ嚴密ナル調査ヲ行ヒ即時種痘ヲ施行セシメタリ

ロ、同期間中縣下各警察署ヲシテ檢病の戸口調査ヲ一齊ニ勵行セシメ住民ノ健康状態ノ查察ヲ行ヒ不健康者ノ發見ニ努メ其ノ疑ハシキモノハ當廳技術員ヲ派遣シ一面當該町村醫ヲシテ診斷ヲ行ハシメ早期ニ其ノ處置ヲ講シ遺憾ナキヲ期シタリ

ハ、海外ニ於ケル「コレラ」發生ノ狀況ニ鑑ミ水上生活者及之ニ密接ノ關係アル者ニ對シ其ノ人員並動態等ヲ調査シ他日豫防接種施行上ノ準備ヲ爲サシメ極力豫防警戒ニ努メタル結果些ノ遺憾ナキヲ期シタリ

ニ、大嘗祭庭積机代物供納者ノ居住町村並其ノ附近ニ對シテハ常ニ衛生常態ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ特ニ其ノ部落ハ關係家族ノ健康状態ノ視察ヲ行ヒ一面自發的ニ豫防思想ノ喚起ニ努メタル結果一名ノ不健康者ヲ見ス頗ル優良ナル成績ヲ得タリ

ホ、京都府及奈良縣警備應援トシテ派遣シタル警察官二百十六名ニ對シテハ其ノ出發前ニ於テ當廳技術員ヲシテ嚴密ナル健康診斷ヲ行ハシメ腸チフス豫防注射並ニ種痘ヲ施行シタリ

三、豫算

一、精神病患者取締經費

一、二五〇圓

二、傳染病豫防施設ニ要シタル經費ハ經常費豫算中ヨリ支出シタルモノニシテ別ニ計上セサリシモノナリ

(35) 廣 島 縣

左記御用品ノ耕作調製者並其ノ家族、從業者ニ對シ警察署ヲ督勵シテ豫メ檢病調査ヲ行ハシメ一面當廳技術官ヲ派遣シテ健康診斷ヲ爲サシムルト共ニ現品ヲ無償交付シテ「腸チフス」豫防注射(生魚納入關係者ニ對シテハ「コレラ」豫防注射ヲ行フ)ヲ施行シタルノ外御大禮ニ際シ特ニ實施シタル衛生施設ナキモ昭和三年二月特ニ縣下警察署衛生主任會同ヲ開催シ以來傳染病豫防警戒監置精神病患者取締ノ嚴行其ノ他衛生諸般ノ取締ニ深甚ノ意ヲ拂ハシメ過誤ナキヲ期セシム右ニ要シタル經費ハ既定豫算ヲ以テシタルヲ以テ御大禮衛生施設ニ關シ特ニ豫算ヲ計上セス

御用品名

耕作調製者數

- 米 二名
- 粟 二名
- 白 菜 一名
- 密 柑 一名

柿 一名  
干 二名  
生 三名  
疊 二名  
魚 表

(36) 山口縣

御大禮衛生施設トシテハ昭和三年三月二十八日發衛第二十八號內務次官依命通牒ニ依據シ「ベスト」及「コレラ」ノ豫防施設ヲ講セシ外下記ノ通り痘瘡豫防並監置精神病者ノ視察取締ニ就テモ特ニ施設ヲ講スル所アリ此ノ外一般防疫及保健衛生施設ニ就テモ同通牒並ニ豫テ申報濟ナル昭和三年度赤痢「チフス」豫防計畫ニ基キ銳意防疫及保健狀態ノ向上刷新ニ努ムル所アリタルモ之等ハ平常ニ於テモ施爲スヘキモノニシテ只御大禮アルカ故ニ特ニ力ヲ致シ濃厚周密ヲ期シタリト謂フニ過キサレハ之カ記述ヲ略ス

一、「ベスト」豫防施設

下關港沿岸及之ニ接續スル一帯ノ地域ニ對シ防鼠及除鼠施設ヲ爲スコト、シ五月二十八日別紙(一)ノ通り豫防計畫ヲ樹テ之カ爲特ニ內務省ヨリ防疫醫一人防疫監吏五人ノ臨時増員ヲ得六月十五日ヨリ之カ實施ヲ爲シ先ツ區域内ノ倉庫業者ヲシテ倉庫、納屋六十四棟(三千三百六十九坪)ニ對シ防鼠設備ヲ施サシムルト共ニ捕鼠器ヲ購入裝置セシメ縣ニ在リテハ衛生試驗所ニ於テ殺鼠劑ヲ調製シ之ヲ區域内ノ倉庫、納屋、一般住家(百三十二戸)並下關港内ニテ荷物ノ取扱及運搬ニ從事スル船隻百拾壹艘(八千三百五十五噸)ニ毎月三回宛反覆無代配付シ猶倉庫納屋以外ニハ捕鼠器ヲ購入貸與シ以テ捕鼠ノ獎勵ヲ爲シ捕獲シタル鼠ハ下關市ヲシテ買上ケシメ同地縣立細菌検査所ニ回送シテ細菌學的検査ヲ施行シタルカ本計畫ニ基キ實施後十一月末日迄ノ間ニ於ケル事績次ノ如シ

(イ)捕鼠器裝置數	自辨數	四六五
	貸與數	四四八
	計	九一三
(ロ)捕鼠劑配布數	配布回數	一八
	配布個數	八四、九五
(ハ)捕鼠頭數		四、六二四
(ニ)鼠族細菌學的検査成績	行検査頭數	四、〇七五
	陰性頭數	四、〇七五
	能検査頭數	五四九

二、「コレラ」豫防施設

本件實施ニ伴フ經費ハ別ニ要求セス經常部傳染病豫防費中ヨリ支辨シタルカ十一月末マテハ精算七百五十三圓二十錢ナリ

下關港ハ外航船舶出入ノ關係アルノミナラス關西第一ノ漁港ニシテ京阪神方面ニ漁獲物ヲ供給スル關係アリテ同地ノ警戒ハ最モ綿密ヲ加フル要アルヲ以テ五月二十八日別記(二)ノ豫防計畫ヲ樹テ之カ爲特ニ內務省ヨリ防疫醫二人防疫監吏四人ノ臨時増員ヲ得檢病調査班二班豫防注射班二班ヲ組織シ八月十六日ヨリ實施ニ入りタルカ之レヨリ先キ下關水産防疫團ニ於テハ前例ニ依リ注射班ヲ設ケ既ニ七月十二日ヨリ水産關係者ニ對シ「コレラ」豫防注射ヲ開始シ居タルヲ以テ之ト提携呼應シ下關港及之ニ接續スル彦島町沿岸一帯ノ區域内ニ碇泊スル船舶乗組員、運輸業者、沖商人、仲仕等ニ對スル檢病的調査ヲ勵行スルト共ニ同區域内ニ出入スルトロール船、發動機船、漁船等ノ乗組員水上仲仕沖商人、石炭仲仕、陸揚仲仕、沖次業者等ニ對シ豫防注射ノ徹底的施行ヲ期シ一面下關水上警察署ヲシテ港内汚染防止ノ取締ヲ勵行セシメ十月二十七日迄之ヲ續行シタリ

猶右ノ外縣下沿岸漁業部落ニ對シテモ萬一ノ警戒トシテ豫防注射ノ施行ヲ促シタルニ水産會等ノ斡旋ニテ實行セル向相當アリテ次ノ如キ成績ヲ擧ケタリ

地域別	第一回注射人員	第二回注射完了人員	計	備考
下關港及彦島町沿岸 右以外ノ沿岸地方	一九、六三三 三、九九四	九、六六七 三、〇三七	二九、三〇〇 七、〇三一	注射人員ハ下關水産防疫團注射 班ノ施行シタルモノヲ含ム
計	二三、六二七	一二、七〇四	三六、三三一	

本件實施ニ伴フ費用ニ就テハ既定豫算ノ範圍内ニ於テハ經理不可能ニ付九月五日縣參事會ノ議決ヲ經二千二十七圓ノ豫算追加ヲ爲シ之ヲ以テ處辨セリ

三、痘瘡豫防施設

本病ハ近年漸ク影ヲ潜メ昭和二年度ニ於テハ纔ニ四名ノ患者發生ヲ見タルノミナリシモ密接ノ交通關係アル福岡大分等ノ諸縣ニ於テ相當流行シツ、アル狀況ニ鑑ミ御大典ヲ差控ヘ嚴重警戒ノ要アルヲ惟ヒ二月縣下各市町村長ニ對シ定期種痘ヲ繰上ケ施行シ尙定期種痘後相當ノ年數ヲ經過シタル者及未種痘者ニ對シ漏レナク臨時種痘ヲ施行スヘク通牒指示シ警戒ニ努メ居タル所圖ラスモ四月七日下關市ニ本病患者突發シタルヲ以テ重ネテ定期及臨時種痘急施方ノ通牒ヲ發シ督勵スル所アリシカ右患者ノ原因系統ヲ週ツテ調査スルニ當リ豊浦郡吉見村ニ數名ノ同病患者アルヲ發見スルニ至リ而モ時機ヲ失シテ病毒ハ村内ニ蔓延シ居レル狀況ニシテ遂ニ患者三十九名ヲ出シ又之ト殆ト時ヲ同フシテ美禰郡共和村ニテハ大分縣ヨリ本病死者ノ遺骨ヲ携帶歸村セル者ニ端ヲ發シ十二名ノ患者發生シ同郡大田町ニ於テハ行商支那人ノ齋セル病毒ニ依リ三名ヲ又豊浦郡神田宇賀ノ兩村ニ於テハ朝鮮人ニ依リテ病毒ノ侵襲ヲ受ケ是亦十三名ノ患者續發ヲ見ル等爆發的流行ヲ來セルヲ以テ極力之カ防遏策ヲ講スルト共ニ患者發生地ハ固ヨリ其ノ他一般ニ涉リ臨時種痘ノ施行ヲ勸告督勵シタルニ其ノ效アリテ五月十八日原狹郡厚狹町ニ發生セル患者ヲ最終トシ完全ニ終熄ヲ告グルニ至リタルカ之カ爲實ニ五十三萬四千餘人縣民ノ約半數ニ垂ントスル人數ニ對シ臨時種痘ヲ施行シタリ

本件ニ伴フ經費トシテハ大部分市町村負擔ニシテ縣費支辨ニ屬スルモノハ衛生職員檢疫委員警察官吏等ノ出張旅費痘苗購入斡旋ニ要スル通信運搬費及痘苗代等ナルカ其ノ概算額約九百圓ニシテ這ハ一般經常費ヨリ支辨セリ

四、監置精神病者視察取締

本件ニ就テハ各警察署長ニ指示シ監護義務者ヲシテ特ニ監護ノ周到ヲ期セサルヘカラサル所以ヲ說示領得セシメ監置室ノ不完全ナルモノ等ハ夫々修理ヲ加ヘ破檻逃走ノ虞無カラシムルト共ニ日常ノ監護ヲ一層嚴重ナラシメ一面警察官吏ノ視察取締モ周密ヲ加ヘ尙本廳ヨリモ隨時吏員ヲ派シ實地視察ヲ爲サシメ監護義務者及受持警察官吏ノ指導鞭撻ニ當ラシメタルカ幸ニ當事者ノ理解ト熱誠ナル努力ニ依リ些ノ遺漏モナク取締ノ完キヲ期スルヲ得タリ

監置精神病者數十月末日現在

一六三名

本件ノ施行ニ伴フ經費ハ主トシテ吏員ノ出張旅費ナルカ這ハ御大禮特別警戒ノ費用中ヨリ支辨セリ

(37) 和歌山縣

昭和三年三月二十八日附本省衛第二八號御通牒ノ趣旨ニ基キ直ニ警察部長名ヲ以テ縣下各警察署長市町村長宛通牒ヲ發シ御大禮衛生施設ヲ計劃セシメ一面ニ於テハ同八月該施設ニ要スル縣費追加豫算二千六百九十九圓ヲ要求スルト共ニ衛生思想普及宣傳ノ爲印刷物ノ配布衛生講話活動寫真會ノ開催「腸チフス」豫防注射ノ獎勵「腸チフス」保菌者ノ檢索「コレラ」豫防注射實施等極力豫防撲滅ニ努メタルカ其ノ概要次ノ如シ

一、ペスト豫防上鼠族驅除

縣下纖維工場ニ對シ鼠族ノ驅除勵行方警察署長ヲシテ通知セシムルト共ニ縣ハ捕鼠器ヲ貸與シ各工場主ト計リ殺鼠劑ヲ製造セシメ尙其ノ成績ヲ擧ケシムヘク一頭五錢ヲ以テ買上方法ヲ講セシメタリ

二、臨時種痘勵行

縣ハ四月十七日告示ヲ以テ縣下一齊ニ臨時種痘勸行方指示シ未種痘者及不善感ノ脱漏ナキ様之カ徹底ヲ期セシメ應員縣下警察官ニ對シ縣技術員ヲシテ實施セシメタリ

三、消化器傳染病豫防「ポスター」「リーフレット」配布

ポスター三千枚リーフレット三萬枚ヲ製作シテ各警察署及市町村學校飲食關係營業者其ノ他適當ノ方面ニ配布シ「ポスター」ハ要所々々ニ貼付セシメ「リーフレット」ハ各小學校生徒ヲシテ家庭ニ持チ歸ラシメ且衛生講話活動寫真會開催ニ際シ聴衆ニ配布セリ

四、衛生講話活動寫真會開催

市ヲ中心トシ接續各町村及必要ト認ムル地ヲ選定シテ開催スル計劃ヲ樹テ縣市醫師會市當局ト協調ヲ遂ケ講師トシテ縣技術員ト縣醫師會員ト協力シ衛生講話、活動寫真會ヲ開催セリ活動寫真ハ腸チフス豫防映畫「手の戯」四卷、結核豫防映畫「人類の敵」四卷ヲ映寫シ醫師之カ説明ニ當レリ各開催地トモ豫想外ノ多數聴衆アリテ好評ヲ得相當效果ヲ收メタリ之カ開催ヶ所十四、來所者一萬五千三百七十名ナリ

五、腸チフス保菌者檢索

昭和三年度ニ於ケル患者家族、流行地域内住民及必要ト認メタル中等學校職員生徒縣下各署ノ警察官其ノ他ニ對シ尿尿檢査ヲ施行シタルニ被檢査者二千九百二十二名ニシテ内一名ノ健康保菌者ヲ發見セリ

六、腸チフス豫防注射施行

昭和三年度ニ於テ腸チフス發生町村十八ヶ所、應員、縣下中等學校職員生徒ニ對シ、縣下警察官其ノ他ニ對シ豫防注射ヲ實施スルト共ニ之カ徹底ヲ期セシムカ爲縣醫師會ト協力シ縣下四百五十有餘名ノ開業醫ハ豫防液六萬三千瓦ヲ調製之ヲ無償配布シ自九月一日至十月末日迄ノ期間内無料ニテ一般ノ需ニ應セシムルコト、シ注射完了セルモノ合計四萬一千六百五十五名ニ達セリ

七、コレラ豫防「リーフレット」配布

九月二十八日兵庫縣ヨリ患者發見通知ヲ受ケ續テ十月二日大阪市内ニ患者發生ノ通報ト同時ニ「リーフレット」三萬枚ヲ各警察署ヲ通シテ縣下海上生活者、水産業者其ノ他飲食物營業者同關係者ヘ配布シ豫防上ノ注意ノ促進ニ努メタリ

八、コレラ豫防注射施行

本縣ハ豫防注射液三萬三千瓦ヲ調製スルト同時ニ「コレラ」豫防注射班三班ヲ編成シ（各班共醫師一名防疫監吏一名、警察官二名、町村吏員一名ヲ以テ編成ス）十月九日ヨリ同月末迄ニ終了セシムヘク縣下沿海三十二ヶ町村ニ亘ル水上生活者及水産業者ニ對シ之ヲ實施尙注射施行期日内ニ未了ノモノニ對シテハ別ニ注射液ヲ警察署ニ送致ノ上町村醫ヲシテ同期間内ニ實施セシメ注射完了セルモノ計壹萬七百參十名ナリ

九、狂犬病豫防注射施行及豫防注意書配布

和歌山市ヲ中心トシ其ノ附近各町村ニ對シ十月一日ヨリ同月二十一日迄二十一日間狂犬豫防注射ヲ實施スル計劃ヲナシ豫防注射頭數一千百二十五頭ニ及ヘリ尙豫防注意書十萬枚ヲ各署ヲ通シテ各町村ヘ配布シ小學校兒童ヲシテ家庭ニ持チ歸ラシメ之カ豫防周知ニ努メタリ

一〇、花柳病豫防講話會開催

縣下新宮町大島村白崎村遊廓貸座敷營業者娼妓仲居等各組合事務所ニ參集セシメ所在地各警察署長、衛生特務巡查、警察醫囑託列席ノ上衛生課長ヨリ花柳病豫防上ノ智識普及洗滌設備ノ整頓豫防具豫防劑使用勸行並ニ檢診治療上萬遺漏ナカラシムヘク講話會ヲ開催ス

(38) 德 島 縣

一、「コレラ」豫防ノ爲水上生活者並之ニ密接ノ關係アル者ノ一齊調査及豫防注射施行其ノ總人員一萬五千六百六名、豫防液配布數九千五百被注射人員二千五百五十五名

- 二、痘瘡豫防ノ爲縣下全般ニ亘リ臨時種痘ヲ施行接種區域人口三十六萬三千四百九十五名被接種人員一萬二千九百十五名
- 三、傳染病豫防ノ爲徳島市内ニ於ケル特殊營業者及板野郡松茂村住民ニ對スル傳染病原體ノ檢索施行被檢査人員四千三百七十一名内保菌者五名發見
- 四、傳染病豫防ノ爲縣下一齊ニ傳染病患者早期發見並蠅族ノ驅除施行被調査人員九十萬三千六百四十六名ニシテ赤痢七名、腸チフス三十六名、バラチフス十八名、デフテリア一名發見驅除セル蠅ノ數ハ一億以上ニ達スル見込
- 五、御大禮地方賜饌品納入者五十六名ニ對スル健康診斷施行
- 六、癩豫防ノ爲縣下ニ浮浪徘徊セル癩患者及自宅療養ヲナシツ、アル患者ノ一齊取締施行患者數男百二十七名女四十九名發見大島療養所ヘ送致シタルモノ男四名女三名
- 七、結核豫防ノ爲多衆ノ集合スル場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於ケル唾壺ノ一齊取締施行唾壺配置箇所九千二百九十二シテ内變更ヲ命シタルモノ二百六十九増設ヲ命シタルモノ三百五十五ナリ
- 八、「トラホーム」豫防ノ爲客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於ケル貸手拭及流出裝置洗手器ノ現狀調査、調査場所數三千七百六十九ニシテ貸手拭又ハ共用手拭ヲ備ヘタルモノ二百八十二内清潔ナルモノヲ使用スルモノ二百四十五、流出裝置洗手器ヲ備ヘタル數二千八百五
- 九、花柳病豫防ノ爲内務省製作映畫「花柳病」ヲ購入シ縣下ニ於テ活動寫眞講演會開催、開催回數二十四、觀覽者數一萬九千九百三十名
- 一〇、飲食物取締ノ爲縣下各郡市ニ亘リ牛乳清涼飲料水其ノ他ノ飲食物ノ檢査施行、牛乳檢査數百六十件ニシテ内不良ノモノ三十三、清涼飲料水檢査千八十七件ニシテ内不良ノモノ一件發見其ノ他飲料水、清潔保持、塵芥尿尿處分、飲食物取締等一般衛生ニ關シ夫々施設取締リヲナセリ
- 一一、經費 特ニ豫算ヲ計上セス

(39) 香 川 縣

(一) 御大禮ニ際シ衛生施設

- 一、客年三月二十八日付内務省發衛第二十八號ニ基キ各警察署長、市町村長ニ通牒シ之カ實行ヲナサシメタルノミナラス更ニ警察署長會議市町村長會議ヲ開キ一層督勵セリ
- 一、衛生講話及活動寫眞
  - 縣下各警察署、市町村其他公共團體等協力シ衛生講話ヲナサシメタルノミナラス部員ヲ派シ百十六ヶ所ニ於テ衛生活動寫眞會ヲ開催シ衛生思想ノ普及ニ努メタリ
  - 一、宣傳ポスター掲出
    - 衛生ポスター一萬三千枚ヲ作り縣下一般ニ配布シ衛生思想ヲ普及ス
    - 一、保菌者調査
      - 腸チフス舊患者ノ健康狀態ヲ調査スルト共ニ其ノ尿尿ノ細菌檢査ヲ行ヒ保菌者ノ發見ニ努ム
    - 一、檢病的戸口調査ノ勵行
      - 縣下各警察署ニ命シ檢病的戸口調査ノ勵行ヲナサシメ患者ノ早期發見ニ努ム
    - 一、縣都市醫師會ニ警告
      - 縣都市醫師會ニ對シ傳染病患者ノ早期診斷ト届出方ニ關シ警告シ一面警察署トノ連絡ヲ密ニナサシメタリ
    - 一、癩患者ノ收容
      - 大島療養所ノ工事擴張ニ伴ヒ患者ノ收容力増大シタルヲ以テ浮浪徘徊セル患者ノ收容ニ努メタルハ勿論其他私宅療養患者ニ對シテハ一段ノ取締ヲ勵行セリ

一、花柳病、結核、トラホーム豫防

結核ハ四月二十七日花柳病ハ九月一日新法實施日トラホームハ十月十日ノ記念日ヲ利用シ御大禮ニ鑑ミ特ニ豫防宣傳ニ努メタルハ勿論平素ニアリテモ之カ取締ヲ勵行セリ

一、其他簡易水道、井泉ノ改良上水道使用ノ督勵汚水溝渠ノ浚渫便所ノ改良定期清潔法ノ嚴行、飲食物營業者、牛乳、清涼飲料水、酒類其他宿屋、料理屋、理髮營業者等ノ接客營業者ノ一齊取締ヲ行ヒ遺漏ナキヲ期セリ

(二)御大禮期間中ノ衛生施設

一、地方賜饌ニ伴フ衛生施設

衛生係ヲ置キ地方饗饌場ノ衛生取締并御料理品調製者ノ身體検査及糞便検査御料理品検査ヲナサシメ別ニ救護班ヲ設ケ遺憾ナキヲ期セリ

一、一般ノ取締

飲食物營業者、清涼飲料水營業者、酒類營業者等ニ對シテハ常ニ警察官之カ取締ヲ爲シ道路其他公衆ノ集合スヘキ場所ニハ撤水ヲ勵行シ衛生上遺憾ナキヲ期セリ

一、精神病者ノ救護

公私設置精神病者ノ救護ニ關シテハ特ニ精密ナル取締ヲナシタルノミナラス浮浪徘徊セル精神病者ハ悉ク監置又ハ監護義務者ニ引渡シ監護ヲ嚴ニナシ以テ之カ救護上遺憾ナキヲ期セリ

一、宣傳ポスター

四百十圓

一、糞便検査

十圓

一、救護班

十圓

一、其他豫算トシテ計上スヘキモノナシ

(40) 愛媛縣

昭和三年六月警察署長並市町村長ニ對シ通牒ヲ發シ特ニ監察員ヲ派遣シ實地調査ノ下ニ左ノ事項ヲ實行セリ

一、腸チフス患者及同病原體保有者アリタル家ノ家族又ハ看護ニ從事シタル者其ノ他各種ノ關係アル者ニ對シ豫防注射或ハ檢便ヲ勵行シタリ

右檢便ノ結果發見セシ病原體保有者二十名、豫防注射ヲ實行セシ人員二千三百二十五名

二、浮浪癩患者ノ取締ヲ嚴行シ之等ノ患者ハ勿論一般私宅療養者ニ就テハ本人若クハ關係者ニ注意ヲ加ヘ御大關係地方ハ趣カシメサルコト、シタリ右取締ヲ加ヘタル總數百七十六人、療養所ヘ送致セシ浮浪者一人、扶養義務者ニ引渡シタル者四人歸郷セシメタル者二十九人其ノ他相當ノ資産ヲ有シ私宅療養ヲ爲ス者ニ就テハ諭示ヲ加ヘ外出ヲ差止タリ

三、御警衛其ノ他公務ノ爲又ハ御大關係地方ヘ趣ク官公吏ニ對シ腸チフスノ豫防注射ヲ行ヒタル者三回ニシテ其ノ數七十二名同檢便ヲ行ヒタル者三回ニシテ七十二名

四、臨時清潔法ヲ實施セシメタルモノ

戸數三萬五千七百九、再調ヲ命シタルモノ二百十戸此ノ日數二百四十八日

五、大饗第一日ノ儀御用品納入者ニ關聯セシ本縣ヨリノ調賣入者五名ニ對シコレヲ豫防注射ヲ實行シ彼等ノ住所地ニ於ケル周圍ノ病況ニ鑑ミ腸チフス豫防注射ヲ行ヒ糞便検査或ハ健康診斷ヲ行ヒ其ノ他器具衣類等ニ就テハ總テ相當ノ藥品消毒ヲ嚴行シタリ

(41) 高知縣

該當事項ナシ

(42) 大分縣

昭和三年三月二十八日附内務省發衛第二八號御大禮衛生施設事項ニ關スル御通牒ノ次第モアリ縣下衛生ニ關スル諸般ノ施設ニ就キ最善ヲ竭シ萬遺漏ナキヲ期シタリ其ノ主ナル施設左ノ如シ

第一 飲料水ニ關スル件

飲料水ニ關シテハ縣下大分、別府、中津ノ各市町設置上水道ノ水質検査ヲ特ニ勵行シ其ノ他消化器傳染病ノ發生シタル部落並ニ其附近ニ對シテハ「クロール」消毒ヲ勵行スルト共ニ縣下一般ニ對シテハ井戸及下水溜ノ浚深修理ノ督勵ニ努メタリ

第二 飲食物等ノ取締ニ關スル件

一、屠場並ニ牛乳山羊乳取締ニ關スル件

昭和三年三月二十四日乳肉取締ニ從事スル衛生技術員ヲ召集シ内務省衛生局ヨリ主任技術官ノ派遣ヲ得、長官ヨリ訓示並指示ヲナシ以テ設備ノ改善並清潔保持ニ就キ特ニ注意ヲ促シ營業場ノ臨檢、乳質ノ検査度數ヲ増加セシメ亦一面ニ於テハ設備改善ノ一方策トシテ屠場主並營業者ヲ德憑誘導シテ記念事業ヲ爲サシメタルニ別府外十四ヶ所ノ屠場ニテハ改築其ノ他設備ノ改善等ヲナシ、牛乳營業者五十八名ハ消毒器及冷却器ノ購入、牛舎ノ増築、種牡牛購入等百二件ノ事業ヲ行ヒ、山羊乳營業者十六名モ亦種山羊購入、衛生搾乳罐備付等二十三件ノ事業ヲ行ヘリ

二、飲食物ノ製造業者、販賣業者ヲ管下主要地ニ召集シ從事者ノ健康ト清潔、飲食物原料ノ新鮮ト清潔、製造場ノ防塵、防蠅等ニツキ技術員又ハ警察官吏ヲシテ講演セシメ又ハ實地ニ臨檢シ注意又ハ検査ヲナサシメタリ

三、食品市場ニハ技術員又ハ警察官吏ヲ臨檢セシメ前號各項ト同一事項ヲナス

四、飲食物關係従業者ハ必要ト認メタルモノハ健康診斷ヲ行ヘリ

五、飲食物及ヒ飲食物用器具ニ關シテハ必要ト認メタルモノハ防腐劑、着色料、人工甘味質等ノ關係法令ニ依リ收去試験ヲ行フ

第三 花柳病豫防ニ關スル件

花柳病豫防ニ關シテハ縣下各警察署主催ノ下ニ縣ヨリ擔任技術員ヲ出張セシメ管内接客業者其ノ他ノ關係者ヲ集メ法規上ノ取締並ニ花柳病ノ大意及之カ豫防上ニ就キ一般ノ自覺ニ努メ一面ニハ各組合ニ於ケル自衛的健康診斷ノ一層嚴重ナル勵行ヲ促シ以

テ本病ノ豫防上遺憾ナキニ努メタリ

第四 精神病者ニ關スル件

本縣下ニ於ケル現在精神病患者ハ四百六十六名内百六十六名ハ女ニシテ之カ監護並ニ取締ニ就キ特ニ各警察署長ニ注意シ臨檢視察度數ヲ増加シ以テ事故ヲ未然ニ防止セムコトニ努メタリシカ幸ニシテ何等ノ事故發生セズ平靜無事ナルヲ得タリ

第五 防疫ニ關スル件

(イ) 一般防疫ニ關シテハ縣衛生課主催ノ下ニ九月十日ヨリ翌十月二十日ニ至ル此期間中ニ於テ事務ノ繁閑ヲ圖リ縣下各警察署ニ各擔任技術員、防疫醫及警部ヲ出張セシメ防疫上ニ關シ適切ナル講習會ヲ開催シ以テ防疫上特ニ遺憾ナキヲ期シタリ而シテ講習會開催數ハ十九回ニシテ聽講者ハ警察官町村吏員、醫師、藥劑師、學校工場各職員及諸組合員等ニシテ總數千六百四十二名ニ達シ相當ノ成績ヲ收メタリ

(ロ) 赤痢「チフス」其ノ他ニ關シテハ早期診定方法及檢病の戸口調査ヲ特ニ勵行シ以テ早期發見ニ努メ一面ニハ隔離病舎ノ設置ヲ督勵スルト同時ニ之カ豫防思想ノ喚起並ニ豫防注射(縣ヨリ無償交付セ)ノ勵行ヲ督勵シ以テ之等流行病ノ撲滅ヲ期シタリ

(ハ) 痘瘡豫防ニ關シテハ本病ハ縣下ニ於テ昨年末ヨリ今春ニ亘リ多數發生シタルヲ以テ之カ豫防上一般ノ注意ヲ拂ヒ各市町村ヲシテ臨時種痘ノ勵行ニ努メ同時ニ便宜上縣ヨリ痘苗ヲ約十四萬一千二百人分ヲ交付シ以テ臨時種痘ノ徹底ヲ期シ一面ニハ不絶本病ノ豫防警戒ニ努メ以テ遺憾ナキヲ期シタリ

(ニ) コレラ豫防ニ關シテハ支那上海ニ「コレラ」病發生ノ通報ニ接シタルヲ以テ本縣ニ於テハ佐賀關久原製鍊所々用鑛石輸入關係上往々上海ヲ經由スルコトアルヲ以テ速時ニ之カ調査ヲ遂ケ以テ之カ適當ナル豫防施設ヲ講シ且ツ縣下一般ニ對シ防疫上遺憾ナキヲ期シタリ次テ大阪ニ「コレラ」病發生ノ通報アリタル直後縣ヨリ防疫醫ヲ派遣シ之カ詳細ナル調査ヲ遂ケ本縣ニ於ケル之カ警戒豫防上ノ各項目ニ亘リ其ノ根底ヲ立テ以テ豫防施設ヲ實施スルト同時ニ縣下各警察署長並ニ町村其ノ他ニ通牒督勵シ以テ之カ豫防上遺憾ナキヲ期シ尙大阪地方ニ頻々交通スル者並ニ遠洋漁業者ニ對シ豫防注射ヲ施行シタリ

(ホ) 狂犬病豫防ニ關スル件

本縣ニ於テハ大正十三年ヨリ昭和二年ニ至ル間ニ於テ累計九十七頭ノ發生ヲ見病毒又二市十郡ニ瀰蔓スルニ至リシカ昭和二年九月ニ至リ略終熄シタルモ未タ豫防警戒ヲ緩フスヘカラサル實狀ニアルヲ以テ昭和三年ニ於テモ七月一日ヨリ同七日迄ノ七日間ヲ以テ豫防週間ト定メ畜犬整理不用犬買上野犬掃蕩並豫防思想ノ普及等ニ努メシニ別紙ノ成績ヲ收メタリ尙一面從前病毒ノ分布最モ濃厚ナリシ大分、別府兩市並ニ大分速見兩郡内所在ノ畜犬及其ノ他必要ト認メタル地方ノ畜犬二千四百八十七頭ニ對シ豫防注射ヲ行ヒタリ

**第六 結核、トラホーム豫防ニ關スル件**

結核「トラホーム」豫防ニ關シテハ縣下各警察署ニ通達シ以テ之カ取締ヲ嚴重ニシ特ニ接客業者ノ檢診ヲ勵行シ有病者ニ對シテハ夫々適當ノ處置ヲ施シ以テ之カ豫防ニ努メタリ

**第七 經費 特ニ豫算ヲ計上セス**

昭和三年七月一<sup>全國</sup>狂犬病豫防週間御績表 大分縣

種別	畜犬取締		犬ノ整理	不用犬買上頭數		野犬掃蕩頭數	野犬殘存見込頭數	回講數	
	合計	其ノ他		不用犬買上頭數	提供頭數			學	其ノ他
畜犬取締	901	數件反違令縣留繁	犬ノ整理	441	牝	野犬掃蕩頭數	534	回講數	432
犬ノ整理	322	數件反違ノ他	不用犬買上頭數	506	牝	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
犬ノ整理	7	數件罰處	不用犬買上頭數	204	牝	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
犬ノ整理	1,806	數件戒罰ハ又論說	不用犬買上頭數	240	牝	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
犬ノ整理	9,212	數頭總	不用犬買上頭數	1,391	計	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
犬ノ整理	6,689	ル有ヲ票證リヨ前從ノモ	不用犬買上頭數	133	牝	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
犬ノ整理	1,277	モルシタナヲ出届現新ノ	不用犬買上頭數	166	牝	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
犬ノ整理	585	出届モルス養飼キ續引ノモルサ	不用犬買上頭數	299	計	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
犬ノ整理	601	ノモルタシ止廢ヲ養飼	不用犬買上頭數	486	テニ費縣	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	441	牝	不用犬買上頭數	456	テニ費村町市	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	506	牝	不用犬買上頭數	942	計	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	204	牝	不用犬買上頭數	534	數頭込見存殘犬野	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	240	牝	不用犬買上頭數	432	テニ校學	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	1,391	計	不用犬買上頭數	68	テニ他ノ其	野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	133	牝	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	166	牝	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	299	計	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	486	テニ費縣	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	456	テニ費村町市	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	942	計	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	534	數頭込見存殘犬野	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	432	テニ校學	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68
不用犬買上頭數	68	テニ他ノ其	不用犬買上頭數			野犬掃蕩頭數	432	回講數	68

附記一、週間中ハ各警察署巡查部長以上ノ家畜防疫委員管内ヲ巡視シ各實施事項ノ督勵ヲナスト共ニ縣下ヲ五區ニ分チ夫々分擔ヲ定メ技師、警部警部補又ハ巡查部長ヲ派シ實施狀況ヲ視察督勵セシメタリ

二、週間中農林省ヨリ本多農林屬狀況視察ノ爲來縣縣下樞要地ニツキ實地視察セラレタリ

(43) 佐賀縣

一、コレラ豫防ニ關スル件

海外ニ於ケルコレラ流行ノ狀況ニ鑑ミ侵襲門戸ト認メラル、東松浦郡唐津港、杵島郡住ノ江港、佐賀郡諸富港、西松浦郡伊萬里港其ノ他ノ海上生活者及之ト密接ナル關係ヲ有スル者ニ對シコレラ豫防注射ヲ要スル爲メ九月四日之レニ要スル經費千四百圓ヲ追加豫算ニ計上シ縣參事會ノ可決ヲ經直チニ感作ワクチンノ製造ニ着手シ二萬四千六百立方センチメートルノ豫防液ヲ完成シタルヲ以テ衛生技師技手及防疫醫一名防疫監吏及巡查一名ヲ一班ト爲シ三班ヲ編成シテ各地ニ派遣シ豫定人員一萬六千人ニ對シ豫防注射ヲ完了シタル者一萬四百九十六名ナリ尙東松浦郡唐津港ニ入港セル船舶中八月ヨリ十月迄ノ期間上海方面ヨリ廻航セルモノ二艘同乗組員百十二名ニ對シコレラ菌檢索ヲ施行シタルニ何レモ陰性ナリ

一、腸チフス及バラチフス豫防ニ關スル件

腸チフス並バラチフスハ縣下殆ント全部ニ瀰蔓セルノ狀況ニアルヲ以テ五月二十九日各警察署長ニ命シ昭和二年一月以來發生セル患者並同家族同居者及其ノ附近住民ニ對シ病原體檢索ヲ施行スル爲メ檢索材料ヲ送付セシムル外檢病調査ヲ勵行セシメ荷モ疑ハシキ者ニ對シテハ檢査材料ヲ送付セシムル爲メ膽汁培養器、糞便採取器血液容器ヲ各警察署ニ配布シ開業醫師ヲシテ任意使用セシムルノ便ヲ計リタリ

次ニチフス豫防注射ニ關シテハ極力之レカ獎勵ニ努メ且ツ豫防注射ニ對スル一般民衆ノ恐怖心ヲ去ラシムル爲メ其ノ施行當時ニ於テ技術員ヲシテ簡明ナル講話ヲ爲サシメタルヲ以テ漸ク諒解セルモノ、如ク自發的豫防注射ヲ受ケントスルモノ増加セリ而シテ其ノ被注射人員ハ三萬七千三百八十一名ニシテ其ノ内第一第二回トモ注射ヲ受ケタルモノ三萬二千四百五名ナリ



一、痘瘡豫防ニ關スル件

痘瘡豫防ニ關シテハ警察署長會議ノ際又ハ別ニ通牒ヲ發シテ銳意警戒ニ努メ朝鮮支那方面ヨリ歸來セルモノ、健康狀態ニ注意シ患者ノ早期發見ニ努メ一面市町村長ヲ督勵シ種痘脫漏者並不善感者等ニ對シ種痘ノ勵行ヲ圖リ且ツ萬一患者發見ノ場合ニ備フル爲メ痘苗一千人分ヲ準備シ置キタリ

一、癩豫防ニ關スル件

管下ニ於ケル癩患者ハ昭和三年六月末現在百八十五名ナルカ之等患者ニ對シテハ本人又ハ家人ニ對シ病原ト豫防ノ方法ヲ指示シ誘導啓發ニ努ムルト雖モ今尙舊慣ヲ脱セス相當ノ資力アルニ拘ラス家人ト雜居シ豫防ノ途ヲ講セス諸方ヲ浮浪徘徊シ病毒ヲ散蔓セシムルノ虞アルヲ以テ之レカ豫防取締ノ徹底ヲ期スル爲メ六月以降隨時檢索ヲ勵行シタルカ無資力者ニシテ療養ノ途ナキモノ三名發見之等ハ何レモ療養所ニ收容資力アルモノニ對シテハ隔離其ノ他療養ノ途ヲ講セシムル等御大禮警備ノ完璧ヲ期シタリ

一、精神病者保護ニ關スル件

現在ニ於ケル監置精神病者總數四十九名ニ對シテ常ニ充分ナル注意ヲ爲サシメツ、アリト雖モ尙一層嚴密ニスルノ必要アリト認メ衛生官吏並警察官吏ヲ派遣視察セシメ保護ノ萬全ヲ期シタリ

(44) 熊 本 縣

御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニ就テハ昭和三年三月二十八日附內務省發衛第二十八號依命通牒ニ準據シ、各警察署長、市町村長、各種團體ト協力以テ遺漏ナキヲ期シ六、七月ヲ第一期トシ小冊子ノ配布、活動寫眞會、講話會等ヲ開催シ趣旨ノ徹底ニ努メ八月以降終了迄ヲ第二、三期トシ之カ實行ニ入り特ニ衛生課長ヲ派遣シ八月二十四日ヨリ十一月七日ニ至ル間三十ヶ所ニ於テ講演ヲナサシメタルニ之カ聽講者一萬一千六百四名ナリ又一面課員、警察署長、市町村長指導督勵ノ任ニ當リ防疫ニ關シ

テハ警察署長、市町村長ヲ督勵シ時々縣衛生職員ヲ派遣シ防疫施設ノ徹底ヲ期シ豫防警戒ニ努メタル結果一月以降猖獗ヲ極メタル傳染病モ低減シ平常以上ノ成績ヲ舉ケ一般衛生、防疫衛生共ニ相當ノ成果ヲ收メ得タリ

(45) 宮 崎 縣

一、監置精神病者取締ニ關スル件ニ關シテハ特ニ昭和三年九月十一日附ヲ以テ管内各警察署長ニ對シ通牒ヲ發シ左ノ計劃ニヨリ視察取締ヲ勵行セリ

(イ) 時々監置室ノ構造設備病勢監護義務者ノ適否等ヲ視察シ逃走ノ虞レアルモノ其ノ他不適當ト認メラル、箇所ニ對シテハ速カニ夫々相當ノ處置ヲ講セシムルコト

(ロ) 以上ノ視察取締ハ少クトモ十月十日同二十日同三十日十一月十日同二十日一齊之ヲ行ヒ其ノ結果ハ五日以内ニ別記様式ニヨリ報告スルコト

未監置精神病者ニ對シテモ前項ニ準シ嚴重ニ視察取締ヲ勵行セリ

二、傳染病ニ關スル件ニ關シテハ客年三月二十八日附貴省發第二八號ニ基キ勵行シタルノ外縣醫師會並ニ衛生組合等ト連絡ヲトリ患者ノ早期發見豫防撲滅保菌者ノ検査ニ努ム

三、清潔法ニ關スル件ニ關シテハ傳染病發生シ又ハ發生ノ虞アル地方ニ對シテハ臨時清潔法及消毒の清潔法勵行

四、爆發性藥物及劇毒物ニ關スル件ニ關シテハ藥品巡視員ヲシテ精密取締ヲ勵行ス

五、豫算 特ニ豫算ヲ計上セス

(46) 鹿 兒 島 縣

御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニツキ昭和三年三月二十八日內務省發衛第二八號依命通牒ニ準據シ縣下各市町村長及警察署長ニ對シ之カ實施方ヲ通牒シ以テ衛生上遺憾ナキヲ期セリ之カ豫算千三百三十一圓ナリ  
尙鹿兒島市ニ於テハ「ベスト」豫防上特ニ七月一日ヨリ十月末日迄鼠族ノ買上ヲナシ細菌學的検査ヲ施行シタリ其期間中鼠族ノ買上頭數五千六百九十頭ニシテ検査ヲナシタルモノ千七百七十四頭ナリシモ有菌鼠其他疑ハシキモノヲ發見セス之ニ要シタル費用貳百參拾貳圓五拾錢ナリ

(47) 沖繩縣

一、令達

(イ) 御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニツキ昭和三年三月二十八日內務省發衛第二八號ニ準據シ縣下各支廳長、警察署長及市町村長ニ對シ之カ實施方ヲ通牒

(ロ) 昭和三年八月廿八日「腸チフス」「バラチフス」疑似症ニ對シ傳染病豫防法全部適用ノ旨縣令ヲ公布シ縣下各醫師會長宛通牒

(ハ) 昭和三年九月六日御大禮ニ關シ一般縣民ノ確守勵行スヘキ衛生事項ニツキ諭告ヲ發布

二、施設事項

(イ) 縣下各警察署長ニ對シ檢病的戶口調査ヲ一齊ニ施行方示達シ傳染病ノ早期發見ニ努メ尙那霸市當局及那霸警察署ト縣衛生關係官吏協力シテ那霸市内各井戸ノ消毒ヲ施行シ尙縣衛生技術員並ニ縣都市醫師會員ト協調シテ近畿地方旅行者其他接客業者ニ對シ種痘接種「腸チフス」「バラチフス」豫防注射ヲ實行セシメ那霸市内各料理屋營業者及其家族ノ保菌者調査ヲ爲シ且ツ那霸港ニ於テハ阪神地方ヨリ來港スル船舶ニ對シ假檢疫ヲ七日間施行セリ  
那霸市井戸消毒數三千六百六十八個

「腸チフス」「バラチフス」豫防注射人員

第一回千八百三十五人

第二回千二百二十二

種痘接種人員 十四人

保菌者調査人員 六十八人

(ロ) 本縣ハ一般ニ飲料水ニ乏シク且ツ水質良好ナラサル爲メ保健衛生上飲料水ノ改善ハ緊要ナルニ付共用井戸ヲ衛生的ニ改善方ヲ促シタル結果簡易給水裝置及共同井戸六個所ヲ新設改造シタリ

(ハ) 「マラリア」有病地ノ排水溝工事ヲ施行シ且ツ同地帯ノ清潔保持ニ努メ本病豫防ノ實ヲ擧ケタリ  
其ノ他各般ノ施設ニ力メタリ

三、經費 特ニ豫算ヲ計上セス

一一、海港檢疫及重要海港地ノ防疫施設

御大禮ニ際シ傳染病ノ流行スルコトアラハ支障少ナカラサルヲ以テ内地ニ於ケル防疫施設ト相俟テ海外ヨリ侵襲ノ虞アル傳染病ニ對シ特ニ警戒ヲ嚴ニスル要アリ、昭和三年四月ニ於テ左記ノ通牒ヲ發シタリ

(一)

內務省發衛第三一號

昭和三年四月十二日

內務次官

横濱、大阪、神戸、長崎、門司各稅關長  
三重、愛知、佐賀、鹿兒島各臨時海港檢疫所  
所在地知事宛

御大禮ニ關スル海港檢疫施設事項ノ件

今秋御舉行アラセラルヘキ御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘瘡ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ別紙事項ニ準據シ實行方御配慮相煩度

御大禮海港檢疫施設要項(別紙事項)

第一、「ベスト」ニ關スル件

一、海外ヨリ來ル船舶殊ニ「ベスト」汚染港ヨリ來ルモノニ對シテハ海港檢疫ヲ嚴密施行シ鼠族ノ驅除並ニ鼠族ノ細菌學的検査ヲ勵行スルト共ニ碇泊中ハ鼠族ノ上陸防止ニ付適當施設ヲ講スルコト

二、税關上屋倉庫等ニ對シテハ除鼠班等適當ノ機關ヲ設ケ除鼠ヲ勵行スルト共ニ其ノ建物ニハ防鼠設備ノ完備ニ努メ且鼠族ノ細菌學的検査ハ特ニ嚴重施行スルコト

第二「コレラ」ニ關スル件

一、海外ニ於ケル「コレラ」發生狀況ニ從ヒ海港檢疫ノ施行ヲ一層嚴重ナラシムルコト

第三、痘瘡ニ關スル件

一、海港檢疫ヲ嚴重ニ施行シ患者ヲ發見セルトキハ之カ消毒傳播ノ防止方法ヲ講スルコト

第四、外航船舶ニ關スル件

一、海外諸港ヲ往來スル船舶ニ對シテハ當省ヨリ通報スル海外諸港ニ於ケル傳染病情報ニ注意セシムルノ外新嘉坡東局國際傳染病情報ヲ利用セシムル等ノ方法ニ依リ豫メ海外諸港ノ傳染病狀況ヲ知悉シ之ニ寄港ノ際ハ傳染病豫防ニ付キ必要ノ方法ヲ講シ病毒ヲ輸入セサル様特ニ留意セシムルコト

(二)

內務省發衛第三一號

昭和三年四月十二日

內務次官

神奈川、大阪、兵庫、長崎、福岡

各稅關所在地、府縣長官宛

御大禮ニ關スル海港檢疫施設事項ノ件

今秋御舉行アラセラルヘキ御大禮ニ際シテ衛生上施設スヘキ諸般事項ニ關シテハ別途通牒致置候へ共就中海外ヨリ侵襲ノ虞アル傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘瘡ノ豫防ニ對シテハ一層之カ完璧ヲ期シ度ニ付テハ別紙ノ通り各稅關長宛通牒致置候間之カ實行方ニ關シ一段ノ御配慮相煩度(寫及施設要項添付ノコト)

(三)

朝鮮、臺灣及關東州ニ對スル照會

御大禮衛生施設上ノ協力ニ關スル件

今秋御舉行可被爲在御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘瘡ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ貴管下ニ於ケル「ベスト」「コレラ」痘瘡ニ關スル情報ハ特ニ御大禮關係傳染病情報トシテ一層迅速ニ之カ報告ヲ入スルノ必要有之候條可然御配慮相煩度

追テ御大禮關係傳染病情報ハ週報トシ流行ノ兆アル場合ニハ不取敢電報ヲ以テ御通知相成度申添候

(四)

駐在防疫官ニ對スル通牒

今秋御舉行可被爲在御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ベスト」「コレラ」痘瘡ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ是等傳染病ノ發生流行狀況ニ關シテハ特ニ周到ナル注意ヲ以テ詳細調査ヲ遂ケ之ヲ委細週報ヲ以テ御報告相成度

(五)

外務省ニ對スル照會

御大禮ニ關スル衛生上ノ施設事項ノ件

今秋御舉行可被爲在御大禮ニ際シテハ衛生上諸般ノ施設ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルハ勿論ニ候得共就中傳染病殊ニ「ペスト」「コレラ」痘瘡ノ侵襲ニ對シテハ一層之カ豫防ノ徹底ヲ期シ度候ニ付テハ汕頭、厦門、福州、青島、秦皇島、天津、營口、ウラジオストツク、マニラ、バンクーバ、シャートル及桑港ニ於ケル「ペスト」「コレラ」痘瘡ニ關スル情報ハ特ニ御大禮關係傳染病情報トシテ一層迅速ニ之ヲ入手スルノ必要有之候條直接當省へ報告スル様右關係地ノ領事館等ニ對シ特ニ御示達方御高配相煩度

追テ御大禮關係傳染病情報ハ週報トシ流行ノ兆アルカ又ハ其ノ疑アル場合ハ不取敢電報ヲ以テ報告セラルル様併セテ御配慮相成度申添候

御大禮關係傳染病情報ニ關スル件

外務省通商局長ヨリ照會（昭和三年四月十七日）

本件ニ關シ客月二十七日附衛第三〇號貴信ヲ以テ御申越ノ趣了承右ニ付テハ早速同信記載ノ各在外公館宛及訓令置タル處本件ニ付テハ更ニ廣東港並楊子江沿岸（蘇州、南京、蕪湖、九江、漢口、沙市、宜昌、長沙、杭州、重慶）所在ノ各公館へモ同様訓令ノ要有之ヤニモ思考セラルルニ付右ニ對スル貴見折返シ御回示相煩度シ

内務省衛生局長ヨリ回答（昭和三年四月二十五日）

本件ニ關シ本月十七日付普通第二九七號ヲ以テ御申越ノ趣了承御意見ノ通廣東港及楊子江沿岸各公館ニモ訓令方可然御取計相煩度

以上ノ内海港地ニ於ケル衛生施設ニシテ「ペスト」及「コレラ」ニ關シテハ特殊ノ督勵方法ヲ必要ト認メ、重要ナル海港地ニ對シ本省技術官ヲシテ擔任監督セシメ其ノ実績ヲ舉クルコトニ努メシムルコトトシ左ノ通牒ヲ發シタリ

内務省發衛第三四號

昭和三年三月二十八日

内務省衛生局長

大阪、神奈川、兵庫、長崎、  
三重、愛知、福岡、山口、

各地方長官宛

大阪、横濱、神戸、長崎、門司、各税關長宛

海港地ニ於ケル「ペスト」及「コレラ」豫防ニ關スル件依命通牒

今秋御舉行ノ御大禮衛生施設事項中「ペスト」及「コレラ」ノ豫防上最モ緊切ト認メル施設實施方法別紙ノ通相定メ候ニ付テハ右ニ依リ實施方可然御盡力相煩度

海港地ニ於ケル「ペスト」及「コレラ」豫防ノ爲左記ニ依リ直ニ御大禮海港檢疫施設要項ノ實施ニ着手スルコト

一、關係海港地ヲ左記ノ三ニ分チ各擔任技術官ヲ定メ隨時出張指導監督スルコト

一、横濱、名古屋、四日市  
(飯村防疫官)

二、大阪、神戸  
(加藤防疫官)

三、門司、長崎  
(勝俣防疫官)

一、府縣衛生當局ハ税關及市ト緊密ノ聯絡ヲ採リ海港地ニ於ケル倉庫等ノ除鼠施設並水上生活者ニ對スル「コレラ」豫防注射ヲ一定計畫ノ下ニ實施スルコト

一、税關構内ノ除鼠施設ニ關スル中心機關トシテ税關ニ除鼠主任ノ設置ヲ求ムルコト

一、實施着手ニ先チ擔任技術官ハ一應海港地ノ實情ヲ視察シ府縣當局ヲシテ除鼠及「コレラ」豫防注射ノ實施計畫ヲ立シムルコト

一、擔任技術官ハ第一號ニ依リ其ノ擔任海港地ニ臨時出張スルハ勿論擔任以外ノ海港地ヲモ適宜視察シ彼是對照比較シテ實施上遺漏ナキヲ期スルコト

一、計畫ノ設定及其ノ實施ニ當リテハ隨時擔任技術官、府縣衛生當局、稅關除鼠主任ノ打合會ヲ府縣廳等ニ開催スルコト

一、成績ハ一週毎ニ擔任技術官ヨリ報告スルコト

右ニ依リ各擔任防疫官ハ先ツ準備トシテ概要左記事項ヲ調査スルコトヲ打合セノ上夫レ々々各擔任ノ海港地ニ出張シ調査ヲ

遂ケ、同時ニ當該府縣市、及稅關等ノ當局ト實行上ノ細目ニ付協議シタリ

調査事項「ベスト」關係

- 一、海外入港船舶ノ數及繫船並荷揚狀況
  - 二、近三年ニ於ケル輸入品目及輸入地方
  - 三、船舶燻蒸ノ狀況
  - 四、繫船岸壁ノ狀況
  - 五、繫船時ニ於ケル防鼠施設
  - 六、岸壁地帯ノ上屋倉庫及溝渠等ノ狀況
  - 七、岸壁地帯ニ沿ヒタル地ノ上屋倉庫及溝渠等ノ狀況(前二號ノ建物ノ大小及所屬等圖面)
  - 八、前二號ノ範圍ニ沿ヒタル一般狀況
  - 九、稅關方面ニ於ケル防鼠施設ノ現狀
  - 一〇、府縣ノ關係地帯ニ於ケル防鼠施設(買收檢鏡等ノ狀況)
  - 一一、稅關及府縣ノ防鼠施設並鼠族驅除ニ關スル今後ノ方針意見
- 「コレラ」關係
- 一、警戒又ハ流行地ニ於ケル便器ノ貸與其ノ他糞便放流ニ對スル取締狀況
  - 二、水上生活者及關係者ノ種類及人數
  - 三、豫防注射施行ノ時期ニ關スル意見

四、稅關ニ於ケル細菌檢査施設ノ狀況

以上ノ調査ヲ爲スト共ニ當該府縣當局ト協議シ大體ノ實施計劃ヲ定メ、尙之カ遂行ノ爲左記ノ如ク防疫職員ノ配置ヲ爲シタリ

府縣	防疫醫	防疫監吏
神奈川縣	一人	三人
(後ニ「コレラ」關係ノ爲特ニ)	三人	五人
愛知縣	一人	三人
三重縣	一人	二人
大阪府	同	〇人
(後ニ「コレラ」關係ノ爲特ニ)	五人	同
兵庫縣	同	二人
(後ニ「コレラ」關係ノ爲特ニ)	同	五人
山口縣	同	一人
福岡縣	同	一人
長崎縣	同	一人

更ニ各港市ニ於テ實施スヘキ大體ノ標準トシテ本省ニ於テ左記ノ事項ヲ決定シタリ

海港防疫施設概要

「ベスト」關係施設事項

一、棧橋岸壁ニ於ケル荷役時ノ防鼠施設

- (イ) 船舶(主トシテ外航船)ヨリ棧橋岸壁ニ連絡スル「ロープ」ニハ「ラットガード」ヲ付セシメ、又ハ繫留鋼索具ニハ凡ソ三、四尺ノ間「タール」ヲ塗布セル布ヲ緊縛セシメ「タール」ハ乾燥ノ前ニ塗り加ヘシメルコト
- (ロ) 外航船ト棧橋岸壁ヲ連絡スル昇降用渡リ橋渡リ板ノ類ハ使用休止時ハ撤去セシメ、又ハ昇降用渡リ橋ニハ金屬製防鼠

扉ヲ有スルモノヲ使用セシメ、然ラサル場合ハ巾凡ソ三四尺ノ「タール」塗布ノ布ヲ置カシメ「タール」ノ乾カサル様注意スルコト

夜間ハ絨梯ノ防鼠扉又ハ「タール」布ノ部分ヲ強力ナル燈光ヲ以テ照射スルコト

(ハ) 夜間荷役ノ際ハ特ニ注意シテ強力ナル燈光照射ヲ爲スコト

(ニ) 以上イ、ロ、ハノ方法ハ印度諸港、爪哇、新嘉坡、香港ヨリ來航スル船舶ニ對シテ勵行スルモ今後海外諸港ノ「ベスト」發生狀況ニ應シ追加スルコト

### 二、倉庫防鼠設備

(イ) 倉庫防鼠設備施行ノ範圍ヲ左ノ如クスルコト

一、沿岸倉庫(外航船繫船岸壁ニ直接關係アル地域ニアルモノ)

二、準沿岸倉庫(前號以外ノ地域ニアリテ外來貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫)

三、一及二ノ倉庫ニシテ其ノ收納物カ穀類粉類豆粕有機性肥料其ノ他鼠ノ食料タリ得ル物件並綿花類ヲ收納スルモノ

上屋倉庫ニシテ全體ノ構造狀況等ヲ考慮シテ普通ノ防鼠設備ノ出來得テ相當ノ效果ヲ舉ケ得ル見込アルモノハ倉庫ニ

準シ之ヲ取扱フコト

(ロ) 前號(イ)ノ標準ニ依リ沿岸倉庫ヲ定ムルコト別表第一號ノ如シ

(ハ) 前號(イ)ノ標準ニ依リ準沿岸ヲ定ムルコト別表第二號ノ如シ

(ニ) 沿岸倉庫ニ對シテ概要左記ノ如ク爲サシムルコト

一、戸扉、窓、土臺廻リ其ノ他破損等ニ依リ鼠ノ交通シ得ル如キ場所ハ完全ニ修理スルコト

二、内部地盤カ非防鼠材料ナルトキハ「コンクリート」漆喰叩キ其他ノ防鼠材料ニ改ムルヲ理想トスルモ止ムヲ得サルト

キハ、板張りナレハ腐朽部其ノ他荷鼠ノ交通スル穴ヲ造ラル、虞アル部分ヲ完全ニ修葺シ土間ナレハ厚サ凡ソ一尺前

後ニ小石砂利ノ類ヲ敷クカ、止ムナクハ鼠穴ヲ搜索シ砂利ノ類ニテ充分填塞スルコト

三、外壁カ非防鼠材料ナルトキハ地上凡ソ三尺、地下二尺ヲ防鼠材料トスルカ、或ハ亞鉛板ヲ圍繞及埋没スルコト、但シ

内部地盤カ「コンクリート」「アスファルト」煉瓦等ニテ鼠ノ潛入不可能ナルモノハ地上部ノ亞鉛板張りノミニテ可ナリ

四、外壁ノ戸扉カ完全ニ閉鎖セラレ又ハ其ノ他ノ狀況ニテ鼠ノ潛入シ得サル設備アルモノノ外ハ鼠返シヲ設備セシムルコト

五、鼠返シハ成ルヘク兩柱間ニ嵌挿スル式トシ、外ニ對シテ六〇度前後ノ角度ヲ保チ高サハ二尺以上トシ外面ハ金屬板ニ

テ滑澤ナルモノトスルコト

衝立式ハ裝置ノ際不注意ノ結果稍モスレハ兩側ニ隙空ヲ造リ易キ等ノコトアル故成ルヘク避ケタキコト

六、鼠返シハ夜間ハ勿論晝間ト雖モ入口使用時ノ外ハ常時之ヲ嵌挿シ置クコト

七、夜間荷役ノ際ハ荷役中強力ナル燈光ヲ以テ其ノ口ヲ照射スルコト

(ホ) 準沿岸倉庫ニ對シテハ前記沿岸倉庫ニ準シ出來得ル丈ケ之ヲ勵行セシムルモ止ムヲ得サルモノニ對シテハ一號丈ケトシ

テ特ニ次ノ除鼠施設ヲ勵行シテ之ニ代ラシムルコト

### (ハ) 實行方法

一、沿岸倉庫ニ付テハ其ノ占有者所有者相會シ一々倉庫ニ對スル前記(二)ノ各號ノ實行具體的方法ヲ協議シ設備ニ關シテ

ハ期間ヲ定メテ之カ實現ヲ期スルコト

二、準沿岸倉庫ニ對シテハ一面ニ於テ明治三十九年三月神奈川縣令第十四號ノ勵行ヲ通達スルト共ニ前記(二)各號ヲ刷物

トシテ配付シ二及三號ハ成ルヘク之カ實行方ヲ勸奨シ其ノ他ノ各號ノ實行ヲ勵行スルコト

三、國有、縣有、市有等ノ倉庫ニ對シテハ各其ノ主管課ニ於テ具體的方法及費用概算等ヲ作製シ、内務省出張員等ト協力

シテ夫々稟議協議等ヲナシ之カ實現ヲ期スルコト

四、實行ノ成績監視ハ稅關港務部員(稅關港内)及縣衛生課員ニ於テ豫テ協議又ハ通達シタル要項ニ對照シテ巡視ヲ爲シ

其ノ成績ハ一週間毎ニ取纏メ毎火曜日内務省衛生局(何々防疫官)宛報告スルコト

三、防鼠施設

(イ) 沿岸地區(外航船ノ直接繋船又ハ之ニ準スル地帯ノ範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シ)トシテ別表第三號ノ通定ム  
(ロ) 準沿岸地區(沿岸地區ニ隣接スル地帯及準沿岸倉庫所在地ノ範圍ニテ建物溝渠等ノ配置ヲ參酌シ)トシテ別表第四號ノ通定ム

(ハ) 沿岸地區及準沿岸地區内ニ於ケル倉庫及建物ヲ便宜上左ノ三階段ニ區別ス

A級、外壁床等カ石、煉瓦「コンクリート」等ノ防鼠材料ニテ築造セラレ、鼠ノ棲息殆ントナク、且ツ戸扉ヲ閉チタル時鼠ノ出入全ク不可能ナルモノ

B級、外壁カ前記防鼠材料ナルモ床ハ土間又ハ板張りニテ通常ノ場合ハ鼠ノ交通不可能ナルモ建物古クシテ鼠棲息シ且ツ處々ニ鼠交通ノ穴アル如キモノ

C級、外壁及床共非防鼠材料ニテ建物古ク、小修繕スルモ常時到底鼠ノ交通ヲ絶ツコト不可能ナル如キモノ

前各級ノ内鼠ノ食料タル物件又ハ綿花類ヲ收納セサル倉庫納屋等及人ノ住居ナキ等ニテ鼠ノ全ク棲息セサルモノハ之ヲ除外ス

(ニ) 沿岸及準沿岸地區ニ對シテハ殺鼠劑ノ配付及捕鼠器ノ引上ケ回数ヲ左ノ如クスルコト

殺鼠劑 捕鼠器

沿岸地區 月三回以上 月三回以上

殺鼠劑 捕鼠器

準沿岸地區 月二回以上 月二回以上

(ホ) 殺鼠劑ハ沿岸地區ニ對シ其ノC級ニハ殆ント各室(廣大ナルモノニ對シテハ大體住宅ノ間數ヲ標準トシ)B級ニハA級ノ倍容積ヲ標準トシ數ヶ宛ヲ配付スルコト

捕鼠器ハ大約前記殺鼠劑配付ノ半數位ノ場所ニ配置スルコト

準沿岸地區ニ對スル殺鼠劑捕鼠器ノ配置ハ沿岸地區ニ準シ多少密度ニ付考慮スルコト

(ヘ) 殺鼠劑捕鼠器ハ大約右ノ標準ナルモ鼠糞ノ數及其ノ新舊並鼠穴ノ多少其ノ他鼠棲息ノ多少ヲ推測參酌シテ取捨配置スルコト

(ト) 殺鼠劑ハ成ルヘク縣又ハ市ニテ製造無償交付シ或ハ直接ニ之ヲ配付スヘク處方ハ燐及亞硫酸ノ二種トシ其ノ各處方モ時々之ヲ變更スルコト。猶「イラズ」等ノ坊間販賣品ヲ使用セシムルモ可ナルコト

(チ) 捕鼠器ハ成ルヘク税關縣又ハ市ニアルモノヲ貸與シ或ハ自ラ配置引上ヲ爲スコト

(リ) 沿岸地區ノ護岸及之ニ接續スル場所ニテ破損其ノ他ニ依リ鼠ノ遁入潛行シ得ル狀況ノモノハ成ルヘク之ヲ修理填塞シ止ヲ得サルモノニ對シテハB級ニ準シ殺鼠劑捕鼠器ノ配置ヲナスコト

(ス) 沿岸地區ニ面シ又ハ常ニ往來スル船ニシテ鼠棲息ノ疑アルモノニ對シテハ沿岸地區ノB級ニ準シ殺鼠劑捕鼠器ノ配付ヲ爲スヘク且ツ成ルヘク縣直接ニ之ヲ行フコト。

(ル) 以上除鼠施設ノ實行ハ國、縣、市等ノ占有又ハ所有スルモノハ各々自ラ之ヲ行ヒ、倉庫業者及大會社、工場等ニハ各其ノ責任者ヲ會シテ協議實行セシメ其ノ他ニ對シテハ配付ハ主トシテ市ニ於テ之ヲ行ヒ巡視及監督ハ市及縣ニ於テ協同シテ之ヲ爲スコト

(オ) 以上各號ノ實施狀況ハ一週間毎ニ取纏メ(毎火曜日)縣ヨリ内務省衛生局(何々疫疫官)宛報告スルコト

「コレラ」關係施設事項

一、檢疫所ノ整備

(イ) 檢疫所ノ試験室ニ於テハ「コレラ」材料検査ニ必要ナル器具藥品及免疫血清類ヲ常ニ差支ナキ様準備スルコト

(ロ) 長濱檢疫所ノ整備ニ付時々檢閲スルコト

(ハ) 貸與便器ノ整備ヲ計ルコト

二、港内汚染防止勵行

(イ) 近接海外地方ニ流行又ハ流行ノ虞アルトキハ其ノ地方ヨリ直接入港スル船舶ニ對シ入港中便所封鎖ヲ命シ糞便検査開

始後ニ於テハ該検査全部終了迄便所封鎖ヲ命スルコト、之カ開始ノ時期ハ内務省出張員ト協議シテ定ムルコト

(ロ) 常時塵埃投棄等ニ對スル取締ヲ一層勵行スルコト

三、豫防注射ノ施行

(イ) 水上生活者(沖仲仕、沖行商、繫船船舶ニ出入スル仲仕ノ類ヲ含ム)ニ對スル「コレラ」豫防注射開始ノ時期ハ内務省出張員ト協議シテ之ヲ定ムルコト

(ロ) 注射ハ二回注射トシ(第一回二密瓦、第二回四密瓦)第一回注射ハ漏レナク施行スルコト

(ハ) 注射證明書ハ嘗テ協定濟ノモノヲ與フルコト

(ニ) 豫防注射施行ハ水上生活者中先ツ外國船關係者ヲ先ニシ、次テ沿岸漁業者其ノ他ニ及ホスヘキモ、場合ニヨリ率急ニ行ヒ易キ方面ヨリ行フモ差支ナキコト

(ホ) 豫防注射實施ハ醫一人防疫監吏一人警察官吏一人ヲ以テ一班トス

以上ノ準備調査トシテ各水上生活者ノ種類員數及注射施行豫定日割等ヲ作製シ置クコト

注射施行ノ時期及範圍等ハ内務省出張員ト協議シ之ヲ定ムルコト

以上全部ノ協議事項ハ左記ノ範圍ノ責任者相會合決定シ各々協力シテ之カ實行ヲ期ス

縣衛生課、税關港務部、水上警察署、市衛生課、内務省出張員、

以上ノ計劃ニ基キ實行ニ着手シ、本省各擔任技術官ハ時々當該地ニ出張シテ督勵ヲ爲シタルカ其ノ順序及成績ノ概要左ノ如シ

神奈川縣(橫濱港市)

昭和三年六月六日、神奈川縣廳ニ於テ打合セ會ヲ開キ、福田縣衛生課長、國友港務官、福武橫濱税關會計課長、瀬川橫濱市衛生課長及飯村防疫官等列席、實行ノ細目方法ヲ決定シタリ

橫濱税關ニ於テハ左ノ規定ヲ設ケタリ

達第三號

臨時防疫部規定左ノ通り相定メ即日之ヲ實施ス

昭和三年六月十四日

橫濱税關長 井上徳太郎

第一條 御大禮ニ關スル防疫施設要項ニ基キ防鼠、捕鼠、細菌學的検査並ニ清潔法ヲ施行スル爲メ臨時防疫部ヲ置ク

第二條 臨時防疫部ニハ臨時防疫委員、執行係及庶務係ヲ置ク

第三條 防疫委員會ハ防疫計劃ヲ審議シ且ツ其執行ヲ監督ス

委員會ニ於テハ上席委員長ノ職ヲ行フ

第四條 執行係ハ防疫計劃ノ調査並ニ執行ヲ掌ル

庶務係ハ防疫ニ關スル經費、調度、營繕其他庶務ヲ掌ル

各係ニ係長ヲ置ク

第五條 執行係ニ專ラ細菌ノ検査ニ從事セシムル爲検査主任ヲ置ク

第六條 臨時防疫部ニ防疫員ヲ置ク

防疫員ハ各係ニ分屬シ防疫ノ事務ニ從事ス

第七條 防疫委員、係長、検査主任及防疫員ハ職員中ヨリ税關長之ヲ命ス

第八條 執行係長ハ必要ニ應シ委員會ノ議ヲ經テ職員中ヨリ防疫手ヲ命シ又ハ傭人ヲ使役スルコトヲ得

防疫手ハ防疫員ノ指揮ヲ受ケ專ラ防疫ノ現場事務ニ從事ス

第九條 執行係長ハ防疫作業成績ヲ每週一回防疫委員ヲ經テ税關長ニ報告スヘシ

達第四號

橫濱税關防疫規定左ノ通相定メ即日之ヲ實施ス

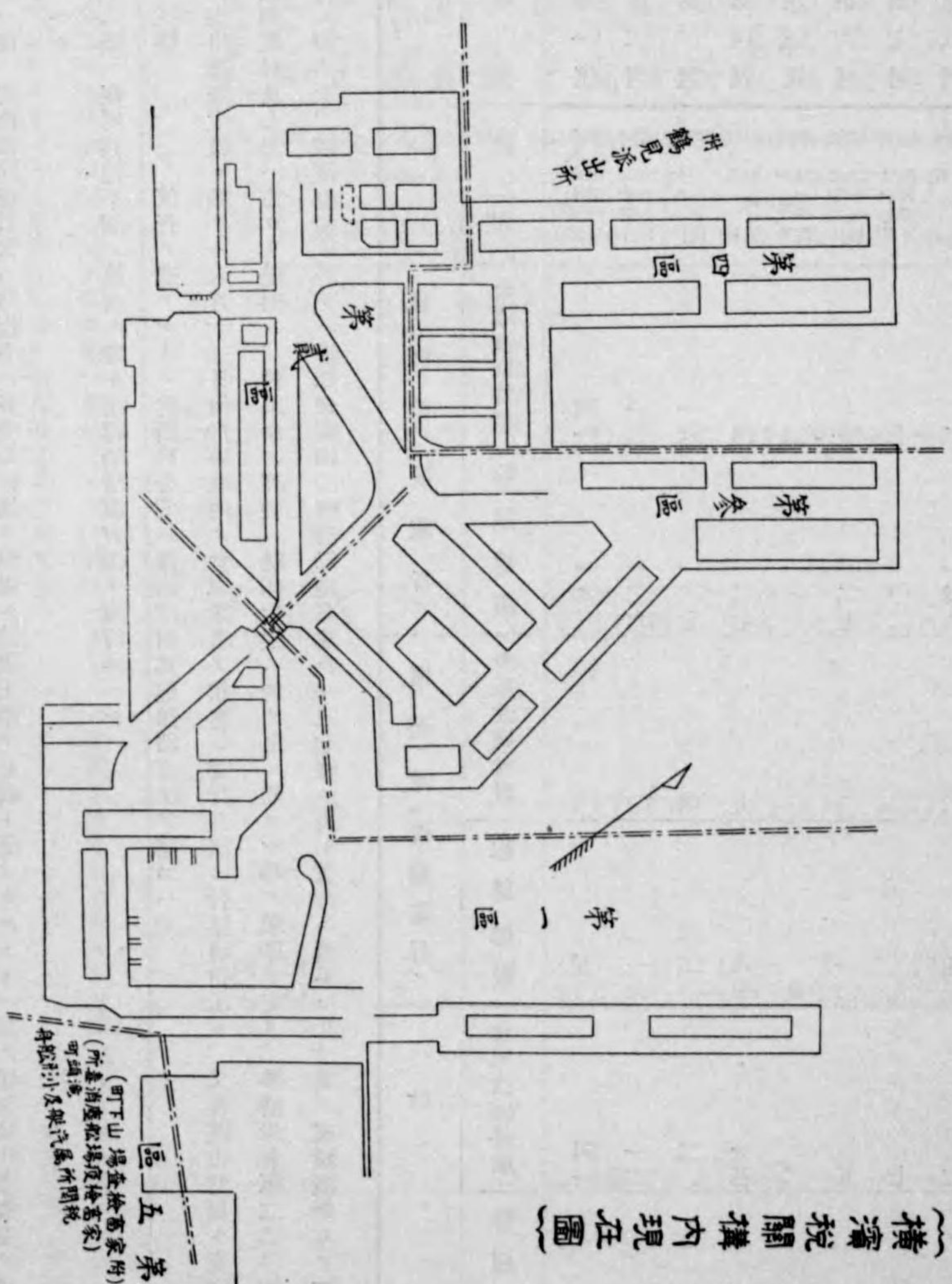
昭和三年六月廿六日

橫濱税關長 井上徳太郎



横濱税關防疫規程

- 第一條 「ベスト」及「コレラ」等ノ傳染病豫防上税關廳舎、倉庫、上屋ノ内外ニ於ケル鼠族ノ驅除、細菌検査並清潔法ヲ勵行スル爲メ税關構内ヲ別圖ノ示ス如ク五區ニ分チ各區ニ防疫員、防疫手及備人ヲ配屬シテ之カ實施ノ任ニ當ラシム
- 第二條 各區現業員(配屬防疫手及備人ヲ謂フ以下之ニ做フ)ハ毎日午後五時迄ニ捕鼠器ニ餌ヲ附ケ整理シ置キ午後六時迄ニ各要所ニ配置シ翌朝未明ニ之ヲ取纏ムヘシ捕鼠ハ之ニ日付及捕獲場所等ヲ明記セル札ヲ付ケ検査主任ニ送付スヘシ
- 第三條 殺鼠劑配付ノ通告ヲ受ケタルトキハ各區監督員ハ現業員ヲシテ之ヲ受取ラシメ當日夕刻各要所ニ撒布セシムヘシ撒布シタル個數及場所ハ之ヲ記帳シ置クヲ要ス翌日斃鼠ヲ搜索シ之ヲ發見シタルトキハ前條後段ノ如キ札ヲ付ケ之ニ斃鼠ナル旨ヲ添記シ検査主任ヘ送付スヘシ
- 第四條 捕鼠、斃鼠ノ取扱ハ鼠嵌子ニテ行ヒ直接手ヲ觸レサル様注意スルヲ要ス
- 第五條 現業員ハ毎日捕鼠、斃鼠ノ搜索ヲ終リタル後直ニ捕鼠器ヲ検査シ再ヒ使用ニ差支ナキ様整理スルヲ要ス、毀損又ハ紛失シタル場合ニハ直ニ庶務係ヘ申出テ代品ノ交付ヲ受クヘシ
- 第六條 現業員ハ除鼠ニ關スル現業ニ服セサルトキハ絶エス受持區内ヲ巡回シテ鼠ノ隠レ易キ場所ニ於ケル石塊、木片等ノ取片付ケ除草、塵埃蒐集、燒却場へ運搬等ニ従事シ常ニ區内ヲ清潔ニ保ツヘシ
- 第七條 各區監督員(配屬防疫員ヲ謂フ以下之ニ做フ)ハ配屬現業員ヲ監督シ時々巡回督勵スヘシ
- 第八條 各區監督員ハ其區内ニ在ル私設ノ倉庫、上屋、事務所、賣店等ノ除鼠及清潔方ノ執行ヲ監督シ捕鼠斃鼠ニハ第二條後段ノ札ヲ附シ之ヲ検査主任ニ送付スヘシ
- 第九條 各區監督員ハ日々ノ處理事項ヲ詳記スル外所定ノ用紙ニ捕鼠、斃鼠ノ數ヲ記入シ執行係長ニ報告スヘシ
- 第十條 棧橋、岸壁ニ繫留スル船舶ノ綱索及昇降用梯子ニハ「ラットガード」及防鼠扉ノ完全ニ施サレ居ルヤ否ヲ監督スル爲メ當該區受持防疫員ハ常ニ注意シテ巡視シ不完全ノモノアル時ハ直ニ完全ナルモノト取替ヘシメ破損セルモノハ直ニ修理ヲ命シ之ヲ執行係ニ報告スヘシ



第十一條 庶務係防疫員又ハ防疫手ハ各受命區域ヲ巡視シ防鼠工事ヲ必要ト認メタルトキハ其ノ場所及仕様概要ヲ係長ニ報告スヘシ

第十二條 便所其他不潔ノ箇所ハ時々消毒の清潔方法ヲ施行スヘシ

第十三條 「コレラ」流行ノ徴アル時ハ税關員全部ノ豫防注射其他豫防方法ヲ講スヘシ

神奈川県衛生課ニ於テハ六月十三日施行地域内ノ倉庫業者ヲ招集シ實行方法ニ付協議指示シ、又横濱市當局ト交渉ヲ重ネ殺鼠劑原料及人夫ハ市ヨリ提供シ、殺鼠劑ノ調製ハ縣衛生課ニ於テ之ニ任スル等ノ順序ヲ定メ、準沿岸倉庫二二〇棟ニ對シ實行ニ着手シ、横濱税關ニ於テハ沿岸倉庫四〇棟沿岸地區建物一三七棟ニ對シ實行ニ着手セリ。其ノ成績概要左ノ如シ

週別	期間	横濱市(縣施行)		横濱港(税關施行)		計	
		倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	自六月十五日至二十三日	四一	一九三	〇	五〇	四一	二四三
第二週	同 二十四日至三十日	一二	一三六	〇	一一六	一二	二五六
第三週	同 七月一日起至七日	一六	一三七	九	一二〇	二〇	二五七
第四週	同 八月一日起至七日	四	一二七	〇	六四	一三	一九一
第五週	同 八月八日起至十四日	二	一三一	〇	九	二	一四〇
第六週	同 八月十五日起至二十一日	五	一二七	〇	一〇	五	一三七
第七週	同 八月二十二日起至二十八日	七	一〇二	〇	九	七	一一一
第八週	同 八月二十九日起至八月三十一日	二	一〇八	〇	四三	二	一五一
第九週	同 九月一日至八月三十一日	〇	七二	〇	五〇	〇	一二二

週別	期間	倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數	倉庫改修件數	除鼠總數
第十週	同 九月一日起至九月六日	一	一〇二	〇	六一	一	一六三
第十一週	同 九月七日起至九月十二日	一	九一	〇	四三	一	一三四
第十二週	同 九月十三日起至十九日	一	一二二	〇	二一	一	一四三
第十三週	同 九月二十日起至九月二十五日	一	一〇九	〇	三七	一	一四六
第十四週	同 九月二十六日起至十月一日	〇	六九	〇	三〇	〇	九九
第十五週	同 九月二日起至九月七日	〇	七三	〇	三四	〇	一〇七
第十六週	同 九月八日起至九月十三日	一	八四	〇	六一	一	一四五
第十七週	同 九月十四日起至九月十九日	〇	六六	〇	三二	〇	九八
第十八週	同 九月二十日起至九月二十五日	〇	七四	〇	三九	〇	一一三
第十九週	同 九月二十六日起至十月一日	〇	七六	〇	四六	〇	一二二
第二十週	同 十月二日起至十月七日	〇	七九	〇	二二	〇	一〇一
第二十一週	同 十月八日起至十月十三日	〇	五三	〇	二九	〇	八二
第二十二週	同 十月十四日起至十月十九日	〇	六九	〇	一五	〇	八四
第二十三週	同 十月二十日起至十月二十五日	〇	五七	〇	三〇	〇	八八
第二十四週	同 十月二十六日起至十月三十一日	二	六〇	〇	四七	二	一〇七
計		九六	二二七一	一三	一〇一八	一〇九	三三三五

九月二十九日港務部ニ於テ英國船「グレナツプ」號ニ「コレラ」患者ヲ發見セルニ依リ必要ナル範圍ニ「コレラ」豫防注射ヲ施行シタルカ、十二月二日迄ニ左記人員之ヲ了シタリ

神奈川県施行

横濱税關施行

船行商	水船夫	沖人夫	沿岸人夫	應船人夫	其他	計	汽船水夫	税關係員	計
一一五〇	五八〇	六〇六二	七七九	八三	一三六四三	二二二九七	一	二四六	二四七

愛知縣 (名古屋港市)

昭和三年六月十一日、愛知縣廳ニ於テ落合警察部長、村島衛生課長島原名古屋市衛生部長、名古屋港務所員、名古屋水上警察署員、名古屋臨時海港檢疫所員及飯村防疫官列席會合シテ實施細目ヲ決定シ、更ニ名古屋水上警察署ニ關係倉庫業者ヲ招集シ實行方法等ヲ指示及協議ヲ爲シタリ  
之レニ依リ施行シタル成績概要左ノ如シ

名古屋港市

週	週間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數	週	週間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	第一週	自六月二十四日	至七月三十一日	五八	—	第六週	第六週	同八月二十九日	同八月二十九日	三〇	二七三
第二週	第二週	同七月一日	同七月七日	六五	二七三	第七週	第七週	同八月十五日	同八月十五日	二三四	二七一
第三週	第三週	同七月八日	同七月十四日	五二〇	四八〇	第八週	第八週	同八月二十二日	同八月二十二日	一一九	二二五
第四週	第四週	同七月十五日	同七月二十一日	四三六	二二五	第九週	第九週	同八月二十九日	同八月二十九日	一一一	一六〇
第五週	第五週	同七月二十二日	同七月二十八日	三四八	二二九	第十週	第十週	同九月一日	同九月一日	八〇	一一六

週	週間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數	週	週間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第十一週	第十一週	同	同	〇	一二七	第十八週	第十八週	同	同	〇	一二三
第十二週	第十二週	同	同	〇	一五八	第十九週	第十九週	同	同	〇	七九
第十三週	第十三週	同	同	〇	一四四	第二十週	第二十週	同	同	〇	一二五
第十四週	第十四週	同	同	〇	一四五	第二十一週	第二十一週	同	同	〇	八四
第十五週	第十五週	同	同	〇	一八九	第二十二週	第二十二週	同	同	〇	一一三
第十六週	第十六週	同	同	〇	一五六	第二十三週	第二十三週	同	同	〇	五八
第十七週	第十七週	同	同	〇	一二九	計				二〇一〇	三八六二

三重縣 (四日市港市)

昭和三年六月九日、三重縣廳ニ於テ縣當局及飯村防疫官ニ於テ實施細目ヲ定メ、翌十日四日市警察署ニ四日市市當局者及關係倉庫業者等ヲ招集シ實行方法ニ付指示及協議ヲ爲シタリ  
之ニ依リ施行シタル成績概要左シ如シ

四日市港市

週	週間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數	週	週間	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	第一週	自七月一日	至七月七日	三	—	第二週	第二週	同	同	三七	—

週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第三週	同	同	七	二一
第四週	同	同	二	一五
第五週	同	同	五	一四
第六週	同	同	一	一五
第七週	同	同	一	九
第八週	同	同	〇	一四
第九週	同	同	〇	一五
第十週	同	同	〇	一四
第十一週	同	同	〇	一五
第十二週	同	同	〇	一四
第十三週	同	同	〇	一五
計			三二七	三四四

五四二

警視廳管内

海外ヨリ横濱港ニ來ル船貨ノ約六〇%ハ沖荷役ニ依リ傳馬船等ヲ以テ東京ニ搬入セラルルヲ以テ、之等ノ貨物ヲ第一次ニ收納スル倉庫ニ對シテハ豫防施設ノ必要ヲ認メ、警戒地區百三十三棟ニ對シ大體他港市ニ於ケル準沿岸地區ノ倉庫ニ對スル方法ニ準シテ防鼠施設ヲ爲シタリ。其ノ成績概要左ノ如シ

週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	自	七月七日	一九	一四二
第二週	同	同	六〇	七五六

週	期	日	倉庫改修件數	除鼠總數
第三週	同	同	二	一四
第四週	同	同	二〇	三三
第五週	同	同	二	四四
第六週	同	同	六	二二
第七週	同	同	二	二二
第八週	同	同	一	二八
第九週	同	同	七	三〇
第十週	同	同	三	一九
第十一週	同	同	四	二二
第十二週	同	同	七	二二
第十三週	同	同	三	二二
計			四七三	八六二

長崎縣 (長崎港)

昭和三年五月二十七日長崎縣廳ニ於テ三島警察部長、鴛淵衛生課長、山路稅關港務官、岩永長崎市衛生課長、三警察署長及勝俣防疫官等會シ防鼠地域ノ決定防鼠除鼠實施細目及コレヲ豫防注射實施計圖ニ就キ打合ヲ爲セリ。十八日市内倉庫業者ヲ招集シ除鼠防鼠實行方法ヲ指示及協議ヲ爲セリ。之ニ依リ施行シタル除鼠防鼠成績概要左ノ如シ防鼠地域内ノ倉庫數ハ七十一民家數ハ四百四十四ナリ

五四三

長崎港

週	期	倉庫改修件數	除鼠總數	週	期	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	至自 六月九日 至 六月十日	二六一	三五	第十四週	至自 九月十五日 至 九月十六日	〇	一七八
第二週	至自 六月十日 至 六月十一日	〇	七八	第十五週	至自 九月十六日 至 九月十七日	一二	一二七
第三週	至自 六月十一日 至 六月十二日	〇	二二	第十六週	至自 九月十七日 至 九月十八日	〇	一六六
第四週	至自 六月十二日 至 六月十三日	四	四〇	第十七週	至自 九月十八日 至 九月十九日	四	一二七
第五週	至自 六月十三日 至 六月十四日	〇	二一	第十八週	至自 九月十九日 至 九月二十日	一	一〇八
第六週	至自 六月十四日 至 六月十五日	〇	四〇	第十九週	至自 九月二十日 至 九月廿一日	一	一三三
第七週	至自 六月十五日 至 六月十六日	一二	一五	第二十週	至自 九月廿一日 至 九月廿二日	〇	一二二
第八週	至自 六月十六日 至 六月十七日	〇	四〇	第二十一週	至自 九月廿二日 至 九月廿三日	〇	一七二
第九週	至自 六月十七日 至 六月十八日	四	三〇	第二十二週	至自 九月廿三日 至 九月廿四日	〇	一一五
第十週	至自 六月十八日 至 六月十九日	一	四八	第二十三週	至自 九月廿四日 至 九月廿五日	〇	一〇一
第十一週	至自 六月十九日 至 六月二十日	〇	三五	第二十四週	至自 九月廿五日 至 九月廿六日	〇	六四
第十二週	至自 六月二十日 至 六月廿一日	〇	四〇	計		三〇四	二、一九二
第十三週	至自 六月廿一日 至 六月廿二日	四	一五七				

長崎市ニ於ケルコレラ豫防注射八月十三日ヨリ開始セリ尙長崎市ハ上海トノ交通關係上水上生活者及其家族ノミニ限ラズ陸上生活者ニシテ飲食物業者及其ノ家族ニモ之ヲ及セリ其ノ成績概要左ノ如シ

週	期	第一回	第二回	計
第一週	至自 八月十三日 至 八月十八日	一、五五七	二二三	一、五八〇
第二週	至自 八月十九日 至 八月廿五日	一、五三九	六九四	二、二三三
第三週	至自 八月廿六日 至 九月一日	二六、四二二	七、六四二	三四、〇六四
第四週	至自 九月二日 至 九月八日	二九、三八六	一一、六五三	四二、〇三九
第五週	至自 九月九日 至 九月十五日	五五、五三二	二八、二六四	八三、七九六
第六週	至自 九月十六日 至 九月廿二日	二七、五七一	四九、一四一	七六、七一二
第七週	至自 九月廿三日 至 九月廿九日	一四、三一三	二四、三四六	三八、六五九
第八週	至自 九月三十日 至 十月六日	一、八八四	三、七三一	五、六一五
第九週	至自 十月七日 至 十月十三日	三、四三一	三、九一六	七、三四七
第十週	至自 十月十四日 至 十月廿一日	一、〇二一	二、四四二	三、四六三
第十一週	至自 十月廿二日 至 十月廿七日	九一五	二、一八〇	三、〇九五
第十二週	至自 十月廿八日 至 十一月三日	七二	八二六	八九八
計				二九八、六〇三

長崎税關ニ於テハ左記規定ヲ設ケ六月十日ヨリ除鼠ヲ行ヒ十一月末日迄ニ十一頭ヲ得タリ又税關ニ於テ倉庫修理件數ハ八ナリ  
税關職員ハ八月十四日八月二十一日兩日ニコレラ豫防注射ヲ行ヒ延人員三百二十三ナリ

長崎税關臨時除鼠班規程

第一條 御大禮ニ關スル衛生施設要項ニ基キ税關所屬ノ倉庫、上屋其ノ他税關構内ニ關スル防鼠、及鼠族驅除施行並出島保税地域ニ於ケル除鼠監督ノ爲本關ニ臨時除鼠班ヲ置ク

第二條 除鼠班ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一、港務部檢疫課職員
- 一、會計課職員
- 一、梅香崎事務所職員

第三條 除鼠班ニ主任ヲ置キ港務官ヲ以テ之ヲ充ツ

第四條 除鼠主任ハ除鼠班ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル

第五條 港務部檢疫課職員及梅香崎事務所職員ハ除鼠主任ノ命ヲ承ケ鼠族ノ驅除並細菌検査ニ従事ス  
會計課長ハ經費ニ關スル一切ノ事務ヲ擔當ス

會計課職員ハ除鼠主任及會計課長ノ命ヲ承ケ防鼠設備並鼠族驅除ニ必要ナル器具器械及材料ノ購入、配給ニ従事ス

第六條 除鼠主任ハ一週日毎ニ除鼠成績ヲ税關長ニ報告スヘシ

福 岡 縣 (門司市)

昭和三年五月三十一日門司税關ニ於テ縣、市、税關當局及勝保防疫官等會合シ防鼠地域ノ決定、防鼠除鼠實施細目及コレラ豫防注射計圖等ヲ打合セ協議ヲ爲シ六月一日門司警察署ニ市内倉庫業者ヲ招集シ除鼠防鼠實行方法ヲ指示セリ  
是ニ依リ施行シタル門司市除鼠防鼠成績ハ左ノ如シ

防鼠地域内ノ倉庫數ハ三十五棟ニシテ民家ハ貳百九十六戸ナリ

門 司 港

週 間	期 間	倉庫改修件數	除鼠總數	週 間	期 間	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	至自 六月十六日 至 六月十七日	二	二	第十四週	至自 九月十五日 至 九月十六日	二	四八六
第二週	至自 六月十七日 至 六月十八日	〇	〇	第十五週	至自 九月十六日 至 九月十七日	一	六六三
第三週	至自 六月十八日 至 六月十九日	〇	〇	第十六週	至自 九月十七日 至 九月十八日	三	五三二
第四週	至自 六月十九日 至 六月二十日	五	七	第十七週	至自 九月十八日 至 九月十九日	一	六一四
第五週	至自 六月二十日 至 六月廿一日	二	六	第十八週	至自 九月十九日 至 九月二十日	二	四八六
第六週	至自 六月廿一日 至 六月廿二日	六	五	第十九週	至自 九月二十日 至 九月廿一日	二	八七九
第七週	至自 六月廿二日 至 六月廿三日	一	六	第二十週	至自 九月廿一日 至 九月廿二日	九	一〇九二
第八週	至自 六月廿三日 至 六月廿四日	四	六	計		三	八三四
第九週	至自 六月廿四日 至 六月廿五日	七	四			〇	五五八
第十週	至自 六月廿五日 至 六月廿六日	〇	四			〇	四二六
第十一週	至自 六月廿六日 至 六月廿七日	〇	三			〇	六七五
第十二週	至自 六月廿七日 至 六月廿八日	〇	三			〇	六九九
第十三週	至自 六月廿八日 至 六月廿九日	一	三			〇	一三、二〇五
計		一〇	三八〇			三	三三八

門司税關ニ於テハ左記規程ヲ作リ七月一日ヨリ除鼠ヲ開始シ其ノ成績概要左ノ如シ

週 間	期 間	除鼠總數	週 間	期 間	除鼠總數
第一週	至自 七月 七日	七一	第十三週	至自 九月 廿三日	二四
第二週	至自 七月 十四日	六九	第十四週	至自 九月 卅日	四三
第三週	至自 七月 廿一日	五七	第十五週	至自 十月 七日	二六
第四週	至自 七月 廿八日	五五	第十六週	至自 十月 十四日	二四
第五週	至自 八月 四日	五三	第十七週	至自 十月 廿一日	三二
第六週	至自 八月 十一日	六五	第十八週	至自 十月 廿八日	二七
第七週	至自 八月 十八日	二六	第十九週	至自 十一月 四日	二四
第八週	至自 八月 廿五日	四一	第二十週	至自 十一月 十一日	二九
第九週	至自 八月 卅一日	三二	第二十一週	至自 十一月 十八日	二二
第十週	至自 九月 七日	二一	第二十二週	至自 十一月 廿五日	二九
第十一週	至自 九月 十四日	二四	計		八三七
第十二週	至自 九月 廿一日	四三			

稅關倉庫數ハ二棟ニシテ建坪三、〇一一坪アリ殆ント凡テ修理セラレタリ

門司稅關臨時除鼠班規程

第一條 御大禮ニ關スル衛生施設ノ要項ニ基キ門司及下關ニ於ケル稅關上屋、倉庫、小蒸汽船其ノ他ニ對スル防鼠、捕鼠並殺鼠施行ノ目的ヲ以テ本關ニ臨時除鼠班ヲ置ク

第二條 除鼠班ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織シ専務從事者トシテ臨時雇傭員若干名ヲ配屬セシム

港務官、醫官、會計課長、營繕係長、用度係長、監視係長、貨物係長、第一、第二派出所各主務、藥劑手、消毒所勤務檢疫員下關驛兩出張所長

第三條 除鼠班ニ主任ヲ置キ港務部長ニアラサル港務官ヲ以テ之ニ充ツ

主任ハ除鼠班ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理ス

第四條 醫官ハ主任ヲ扶ケテ一切ノ事務ニ干與シ細菌檢查及殺鼠劑調製ノ監督其他技術ニ關スル事務ヲ擔當シ主任事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

會計課長ハ經費ニ關スル一切ノ事務ヲ擔當ス

營繕係長ハ除鼠設備工事ニ關スル事務ヲ擔當ス

用度係長ハ器械器具及材料ノ購入配給ヲ掌リ本關廳内ノ除鼠現業ニ關與ス

監視係長、貨物係長、第一、第二派出所各主務及下關、下關驛兩出張所長ハ自己所管ノ上屋、倉庫、小蒸汽船其ノ他ニ於ケル除鼠ノ現業ニ關與ス

藥劑手及檢疫員ハ臨時雇及臨時人夫ヲ指揮シテ專ラ除鼠地域ノ除鼠現業ニ從事シ又殺鼠劑ノ調製、捕鼠器、餌食物ノ選定等ヲ擔當ス主任ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ庶務係ヲ置クコトヲ得

庶務係員ハ港務部庶務係長ヲ以テ充ツ

第五條 班員ハ常ニ除鼠方法ノ實施ニ就テ研究ヲ怠ラス以テ其ノ目的ノ遂行ニ努メ日々ノ作業狀況成績ヲ記錄保存スヘシ

第六條 主任及醫官ハ隨時現場ヲ巡回視察シ一週日毎ニ其ノ成績ヲ稅關長ニ報告スヘシ

第七條 除鼠施行ノ結果タル屍體又ハ除鼠地域及其ノ附近ニ於テ發見シタル斃鼠ハ直ニ之ヲ細菌室ニ送り檢查ヲ遂クヘシ

第八條 有菌鼠ヲ發見シタル場合ハ直ニ稅關長ニ報告シ内務省其ノ他關係ノ箇所ニ速報シテ更ニ適當ノ處置ヲ講スヘシ

コレラ豫防ニ關シテハ若松港ハ門司港ト特ニ密接ナル關係アルヲ以テ門司港ト同時ニ八月十二日ヨリコレラ豫防注射ヲ開始セリ其ノ成績概要左ノ如シ

福岡縣ニ於ケル豫防注射成績

八月十二日ヨリ	門司港		若松港	
	第一回	第二回	第一回	第二回
第一週	六、〇〇二	〇	五、〇四四	〇
第二週	四、一〇九	〇	四、五七三	〇
第三週	五九九	〇	二、五二二	二五五
第四週	八六八	〇	三六七	八三四
第五週	四八〇	〇	二二二	六六五
第六週	三七一	〇	三九〇	四〇五
第七週	三九七	〇	二三五	五一二
第八週	六〇五	〇	三〇	五三六
第九週	七三	〇	一六三	三〇六
第十週	七一	〇	二三六	一七八
第十一週	一七	〇	八七	一七七
計	一三、五九二	〇	一四、一二九	三、八六八
				一七、九九七
				二六四
				四一四
				四六九
				八三六
				七四七
				七九五
				八七七
				一、二〇一
				二、七七七
				四、五七三
				五、〇四四
				計

注射累計

三一、五八九

内

第一回 二七、七二一  
第二回 三、八六八

山口縣(下ノ關港)

昭和三年五月二十九日下ノ關警察署ニ於テ縣市當局及勝俣防疫官等會シ除鼠防鼠地域、除鼠防鼠實施細目及コレラ豫防注射等ニ關シ打合ヲ爲セリ下ノ關市ハ地形ノ關係上沿岸、準沿岸地域ヲ區別スルコト困難ナルヲ以テ防鼠地域ハ全部沿岸地域トスルコトトセリ 卅日市内倉庫業者ヲ招集シ除鼠防鼠實行方法ヲ指示セリ  
除鼠、防鼠實施成績ノ概要左ノ如シ  
除鼠防鼠地域内ノ倉庫數ハ六十四棟ニシテ民家ハ百三十二戸ナリ

下ノ關港

週	期	倉庫改修件數	除鼠總數	週	期	倉庫改修件數	除鼠總數
第一週	自六月十五日	七八	六六五	第四週	自七月十四日	〇	一三七
第二週	自六月廿四日	三	三九二	第五週	自七月廿一日	三	一九六
第三週	自七月七日	〇	一九三	第六週	自七月廿八日	五	一七八
計				計			



第七週	至自 七月廿九日 至 八月四日	一二	一九八	第十七週	至自 十月十三日 至 十月十七日	一	九九
第八週	至自 八月十五日 至 八月十八日	一一	二六五	第十八週	至自 十月廿四日 至 十月廿七日	〇	九一
第九週	至自 八月廿五日 至 八月廿九日	六	一三二	第十九週	至自 十月廿八日 至 十一月一日	二	八六
第十週	至自 八月廿九日 至 九月二日	四	二〇一	第二十週	至自 十一月二日 至 十一月五日	一	一二一
第十一週	至自 九月二日 至 九月五日	一	一三四	第二十一週	至自 十一月六日 至 十一月九日	〇	一一四
第十二週	至自 九月五日 至 九月八日	一	二〇七	第二十二週	至自 十一月十日 至 十一月十三日	〇	八二
第十三週	至自 九月八日 至 九月十一日	〇	二〇九	第二十三週	至自 十一月十四日 至 十一月十七日	〇	五六
第十四週	至自 九月十一日 至 九月十四日	二	一四三	計		一四一	四、二四〇
第十五週	至自 九月十四日 至 九月十七日	一	一二六				
第十六週	至自 九月十七日 至 九月廿一日	〇	一〇四				

コレラ豫防注射ニ關シテ、下ノ關水産防疫團ハ七月十二日ヨリ自營的ニ之ヲ開始シ縣當局ハ八月十六日ヨリ開始セリ其ノ成績概要左ノ如シ

下ノ關港ニ於ケル「コレラ」豫防注射成績

第一週	第一回	第二回	計
第一週	三九八	一〇二	三九八
第二週	五四二	一九一	六四四
第三週	五九〇	一九一	七八一
第四週	二八一	一八五	四六六

第五週	四一三	一一三	五二六
第六週	七六七	二六六	一、〇三三
第七週	三、〇八二	七三五	三、八一七
第八週	一、七四八	一、〇一四	二、七六二
第九週	一、八〇六	九一九	二、七二五
第十週	一、四八二	八四四	二、三二六
第十一週	一、五六三	七二〇	二、二八三
第十二週	一、四三四	七〇一	二、一三五
第十三週	一、八〇五	九二九	二、七三四
第十四週	一、四九八	一、三三三	二、八三一
第十五週	一、四九四	一、二一四	二、七〇八
第十六週	七三〇	四〇一	一、一三一
累計	一九、六三三	九、六六七	二九、三〇〇

兵庫縣 (神戸港)

御大典「ベスト」コレラ」防疫施設協議ノ爲メ昭和三年四月十日井上兵庫縣警察部長、岡田同衛生課長、中山衛生技師、神戸税關藤村港務官、伊庭野神戸市衛生課長、關係警察署各署長及内務省加藤防疫官兵庫縣廳ニ協議會ヲ開催シ、之カ實行ニ必要ナル基礎調査ヲナスト共ニ之ニ要スル經費支出ノ方法ヲ考究スルコトトシ更ニ五月下旬加藤防疫官地方廳税關當局ト協議シ當該豫

防施設ヲ具體的ニ決定シ速ニ之カ實施ヲナスコトトス  
 當該官廳ハ必要ノ經費ノ支出ヲ決シ防疫職員ノ配置ヲ得テ「ベスト」防疫施設職員ノ組織ヲ完成シ尙神戸税關ニ於テハ左記ノ如キ税關除鼠規定ヲ發布シテ直ニ之ニ着手ス

神戸税關除鼠規程

第一條 「ベスト」豫防上税關倉庫及上屋等ノ内外ニ於ケル鼠族ノ驅除及之カ細菌検査ヲ勵行スル爲メ検査係長タル港務官ヲ除鼠主任トシ上席港務醫官ヲ検査主任トス

港務部職員ハ必要ニ應ジ除鼠主任及検査主任ノ事務ヲ補助スヘシ

第二條 除鼠方法施行區域ヲ左ノ二區ニ分チ各區毎ニ班長以下必要ノ係員ヲ定ム

第一區 各突堤及第一、第二各波止場

第二區 兵庫川崎各波止場

第三條 前條ノ係員及其ノ受持ハ左ノ區分ニ依ルヘシ

受持係員	第一區	
	A 倉庫内外	B 上屋倉庫ヲ除ク建 物内外
班長	貨物係長タル者	陸務係長タル者
副班長	貨物係員タル突堤詰上席事務官補タル者	當直監視タル者
補佐	貨物係員タル各詰所勤務ノ事務官補タル者	當直ノ巡察タル者
捕鼠隊	人夫若干	同

受持係員	第二區	
	A 倉庫内外	B 上屋倉庫ヲ除ク建 物内外
班長	川崎事務所長タル者	陸務係長タル者
副班長	兵庫事務所長タル者	當直監視タル者
補佐	事務所勤務ノ事務官補タル者	當直ノ巡察タル者
捕鼠隊	同	同

第四條 除鼠方法ハ捕鼠器又ハ殺鼠劑ヲ使用シテ之ヲ行フモノトス

殺鼠劑ヲ使用スルトキハ左記事項ヲ遵守スヘシ

一、殺鼠劑ノ配付シアル場所附近ニハ其ノ旨ヲ揭示シ置クコト

二、豫メ解毒劑ヲ準備シ置キ其ノ一殺鼠劑ヲ誤食シタルモノアルトキハ之ヲ與ヘタル上直ニ最寄醫師ニ急報シテ其ノ來診ヲ求メ同時ニ除鼠主任其ノ他關係ノ向ニモ急報スルコト

三、其ノ他危險豫防並ニ救急處置ニ關シ常ニ細心ノ注意ヲ爲スコト

第五條 各區ニ於ケル斃鼠又ハ捕鼠ハ一頭毎ニ其ノ所在ヲ記載シタル標札ヲ付シ日々之ヲ一定ノ場所ニ蒐集シ置クヘシ

第六條 除鼠主任ハ各區ノ斃鼠又ハ捕鼠ヲ取纏メ之ヲ検査主任ヘ送致シ検査主任ハ遲滞ナク之カ検査ヲ行フヘシ

第七條 班長ハ別記第一號様式ノ帳簿ヲ設ケ日々其ノ成績ヲ記入シ尙第二號様式ニヨリ十日毎ニ除鼠主任ヘ通報ス可シ

第八條 除鼠主任及検査主任ハ前記第三號様式ニ依リ翌日五日程リ其ノ成績ヲ監視部長及警務部長ヲ經テ税關長ヘ報告スヘシ(様式略)

ベスト豫防除鼠施行成績左ノ通り

神戸防鼠除鼠地域内棟數ハ沿岸地域倉庫四六八棟九三七〇一坪上屋一〇四棟、四〇〇〇九坪住家二三九〇戸、準沿岸地域ノ倉庫一四四五棟八二、七一九坪住家一四、一三八戸第一次倉庫地域ノ倉庫四九棟三六、三〇一坪住家少數、外ニ外航船舶用解船

二、二二一隻税關地域ハ沿岸地域ニ包含セラル、神戸除鼠防鼠施設成績(設定セシ當該地域内ノミニ關スルモノトス)

五五六

期 間	防鼠施設件數	除 鼠 數	期 間	防鼠施設件數	除 鼠 數
至自 五月廿三日		一一一	至自 九月十五日	二四六	六三二〇
至自 六月廿四日		四七	至自 十月廿六日	一〇〇	五九七八
至自 七月七日	二〇八	三三六四	至自 十月廿九日	一〇七	六一四七
至自 七月十四日	一五	二六八八	至自 十月三十一日	四五	六三一六
至自 七月二十一日	一七二	三〇〇〇	至自 十一月四日	一五二	六一八七
至自 七月二十八日	二一九	四一八六	至自 十一月七日	九八	八三七四
至自 八月四日	二三七	四四三〇	至自 十一月十日	九九	八八六七
至自 八月十一日	八八	五一五五	至自 十一月十三日	五三	七三二〇
至自 八月十八日	三三二	三八二四	至自 十一月十六日	七六	六九四一
至自 八月二十五日	一四四	四二一四	至自 十一月十九日	六七	五四六八
至自 八月三十一日	一七八	四三八一	至自 十一月廿二日	九六	六五八八
至自 九月六日	三二〇	五二九八	至自 十一月廿五日		一八三〇
至自 九月十三日			計		

防鼠施設改築數ハ十月廿一日以後ハ主トシテ一度改善後破損シタルモノヲ再修築セシメタル數ナリ  
前記ノ協議會ニ於テ兼テ決定シ置キタル實行計畫ニ基キ上海ニ於ケルコレラ發生ニ鑑ミ防疫職員ノ配置ヲ得テ同十五日ヨリコレラ豫防注射ヲ開始ス、主トシテ神戸、西ノ宮、尼ヶ崎諸港ニ於ケル船員船夫沖仲仕船行商人等ニ之ヲ施行ス、其ノ成績左ノ通り

「コレラ」豫防注射成績

期 間	第一回	第二回	計	期 間	第一回	第二回	計
至自 八月十五日	四、四八九	二九七		至自 十月十六日	二、六三七	一、一一二	
至自 八月廿一日	七、五七九	一、六六四		至自 十月廿三日	七二六	四九九	
至自 八月廿八日	四、九一〇	二、四〇六		至自 十月廿四日	一四六	一五一	
至自 九月四日	八五〇二	四九二八		至自 十月廿七日	三七	一〇九	
至自 九月十一日	四九二七	五、六六七		至自 十月廿九日	一二	一二九	
至自 九月十八日	一、五〇三	七九六		至自 十一月一日	八	二七	
至自 九月廿五日	二、七七六	三、一八六		計	四〇、六二四	二二、六二二	
至自 十月二日	二、三七二	六五一					
至自 十月九日							

豫定ノ豫防注射人員ハ略々定テ了ス

大 阪 府 (大阪港)

御大典「ベスト」コレラ」防疫施設協議ノ爲メ昭和三年四月中旬大阪府廳ニ於テ國澤衛生課長、磯野衛生技師、安達大阪市保健部長、松下大阪市防疫課長及内務省加藤防疫官協議會ヲ開キ更ニ大阪税關ニ於テ同税關山本港務部長、元村港務醫官等ト協議シ經過並ニ方法ニツキ之カ打合セヲナシ更ニ五月下旬加藤防疫官ハ税關地方廳ノ當局ト協議シ當該豫防施設ヲ具體的ニ規定シ速ニ之ヲ實施スルコトトス

五五七

當該官廳ハ必要ノ經費支出ヲ決シ防疫職員ノ配置ヲ得テ「ベスト」防疫施設職員ノ組織ヲ完成シ尙大阪税關ニ於テハ左ノ如キ大阪税關臨時除鼠規程ヲ發布シ速ニ之ニ着手ス

達第一號

御大禮ニ關スル大阪税關臨時除鼠規程左ノ通相定ム

昭和三年六月二十一日

大阪税關長 中 嶋 鐵 平

大阪税關臨時除鼠規程

- 第一條 御大禮海港檢疫施設要項ニ基キ税關上屋、税關構内、汽艇其ノ他ニ於ケル鼠族ノ防禦、驅除及其ノ細菌學の検査ヲ勵行スル爲本關ニ臨時除鼠班ヲ置ク
- 第二條 臨時除鼠班ハ左記職員ヲ以テ之ヲ組織シ現業従事者トシテ所屬備人ノ外臨時雇備人若干名ヲ配屬セシム
- 港務部檢疫係及獸疫係、會計課用度係及營繕係、警視部警務係並富島及櫻島兩出張所ノ所屬職員
- 第三條 港務部長ハ臨時除鼠班員ヲ督勵シ第一條ノ目的ノ達成ニ努ムヘシ
- 第四條 除鼠班ニ主任ヲ置キ税關醫官ヲ以テ之ニ充ツ
- 臨時除鼠班主任ハ除鼠ニ關スル事務ト共ニ鼠族ノ細菌學の検査及殺鼠劑調製ノ監督其ノ他ニ關スル事務ヲ擔當ス
- 第五條 除鼠施行地域ハ左ノ通之ヲ區分シ各區毎ニ係長以下ヲ置ク

區分	地 域	係 長	係 員	現業従事者
第一區	本關構内並天保町監所	會計課用度係	會計課用度係及營繕係	
第二區	監視部構内、貨物係派出所及南海岸通旅具検査場並所屬汽艇	監視部警務係	所屬職員	

第三區	港務部構内及見張所並所屬汽艇	港務部長ノ指名スル者	港務部檢疫係職員	所屬備人及臨時雇備人
第四區	家畜檢疫所構内及木津川監所並所屬汽艇	港務部長ノ指名スル者	港務部獸疫係職員	
第五區	富島出張所構内	出張所長	所 屬	
第六區	櫻島出張所構内	出張所長	職 員	

第六條 鼠族ノ防禦及驅除ニ關スル方法ノ詳細ハ臨時除鼠班主任各係長ニ之ヲ指示スヘシ

第七條 各地域ニ於ルケ弊鼠又ハ捕鼠ハ一頭毎ニ其ノ發見又ハ捕獲シタル場所ヲ記載シタル小札ヲ附シ之ヲ臨時除鼠班主任ニ送付スヘシ

臨時除鼠班主任前項ノ弊鼠又ハ捕鼠ノ送付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之カ細菌學の検査ヲ行フヘシ

第八條 前條ニ依ル検査ノ結果有菌鼠ヲ發見シタルトキハ臨時除鼠班主任ハ直ニ港務部長ヲ經テ其ノ旨税關長ニ報告シ内務省其ノ他ニ速報ノ手續ヲ爲スト同時ニ適當ノ防疫措置ヲ講スヘシ

第九條 各係長ハ第一號様式ノ臺帳ヲ設ケ除鼠ニ關スル狀況ヲ記録スルト共ニ第二號様式ニ依リ毎週月曜日ニ前週ノ實蹟ヲ臨時除鼠班主任ニ通報スヘシ

第十條 臨時除鼠班主任ハ第三號様式ニ依リ翌月五日迄ニ前月分ノ實蹟ヲ港務部長ヲ經テ税關長ニ報告スヘシ

第十一條 鼠族驅除ノ爲殺鼠劑ヲ使用スルトキハ左記事項ヲ嚴守スヘシ

- 一 殺鼠劑ヲ配置シタルトキハ其ノ配置場所ニ其ノ旨明示シ置クコト
- 二 殺鼠劑ヲ誤食シタル者アリタルトキハ直ニ最寄ノ醫師ニ急報シテ相當ノ手當ヲ求メ同時ニ臨時除鼠班主任其ノ他ニ急報スルコト

三、其ノ他危険ノ防止並應急ノ處置ニ關シテハ臨時除鼠班主任ヨリ各係長ニ對シ豫メ詳細指示シ置クコト  
 第十二條 港務部長及臨時除鼠班主任ハ隨時各地域ヲ巡察シ本規程ノ勵行ニ努ムルト共ニ其ノ狀況ヲ稅關長ニ報告スヘシ  
 第十三條 各稅關支署長及出張所長ハ本規程ニ準シ鼠族ノ防禦及驅除ニ努メ第三號様式ニ準シ翌月十日迄ニ其ノ實蹟ヲ稅關長ニ報告スヘシ  
 (様式路)

防鼠施設除鼠成績左ノ通り

大阪 防鼠除鼠地域——内棟數ハ沿岸地域——倉庫一八九棟、四〇、〇八九坪、住家二、四八九戸、準沿岸地域——倉庫二六六棟、一七、七〇〇坪、住家一〇、七六八戸、第一次倉庫地域——倉庫五七九棟、七九、六一二坪住家六、六四三戸外ニ外航船舶船一、五九三隻稅關地域ハ沿岸地域ニ包含セララル

大阪除鼠成績(設定セシ當住地域内ノミニ關スルモノトス)

期	間	除鼠數	期	間	除鼠數
至自	至自	五、二八七	至自	至自	九、三四三
五月	六月	三、一〇一	八月	九月	六、九七〇
廿一日	廿七日	三、〇六八	廿五日	廿一日	六、〇三一
至自	至自	二、八四〇	至自	至自	六、六九七
七月	八月	三、六七九	十月	十一月	七、五三九
廿七日	廿三日	七、〇五一	廿五日	廿一日	七、六六四
至自	至自	六、六二二	至自	至自	七、一一四
八月	九月	六、九四六	十月	十一月	四、〇二六
廿三日	廿九日	四、八七三	廿五日	十二月	二、八五四
至自	至自	六、九七六	至自	至自	三、〇二七
九月	十月	九、二五二	十一月	十二月	三、三三八
廿七日	十一月	六、九七六	廿五日	十二月	三、三九六
至自	至自	八、七九六	至自	至自	三、〇二七
十月	十一月	九、二五二	十一月	十二月	三、三三八
廿七日	十二月	六、九七六	十二月	十二月	三、三九六
至自	至自	八、七九六	至自	至自	三、〇二七
十一月	十二月	九、二五二	十二月	十二月	三、三三八
廿七日	十二月	六、九七六	十二月	十二月	三、三九六

大阪防鼠施設成績

期	間	防鼠設備箇所數	期	間	防鼠設備箇所數
至自	至自	一、三三八	至自	至自	二、一二四
七月	八月	一、九九六	九月	十月	八四九
十五日	廿一日	一、三三八	廿五日	十一月	二、一二四
至自	至自	一、三三八	至自	至自	二、一二四
八月	九月	一、九九六	十月	十一月	八四九
廿一日	十月	一、三三八	廿五日	十二月	二、一二四
至自	至自	一、三三八	至自	至自	二、一二四
九月	十月	一、九九六	十一月	十二月	八四九
廿五日	十一月	一、三三八	十二月	十二月	八四九
至自	至自	一、三三八	至自	至自	二、一二四
十月	十一月	一、九九六	十二月	十二月	八四九
廿五日	十二月	一、三三八	十二月	十二月	八四九

防鼠設備ノ改善ヲ必要トセル箇所ハ以上ヲ以テ略々完了ス

「コレラ」豫防注射ニ關シテハ兼テ協議シ置キタル實行計畫ニ基キ八月十三日ヨリ主トシテ大阪港ニ於ケル船員船夫、沖仲仕  
 艦船行商人等ニツキ之ヲ施行スソノ成績左ノ通り

「コレラ」豫防注射成績

期	間	第一回	第二回	計	期	間	第一回	第二回	計
至自	至自	八、〇四九	三八		至自	至自	四、八五四	三、二二八	
八月	九月	九、九九九	一、六六六		九月	十月	五、九九四	三、四八一	
十三日	十月	八、四一〇	二、七四二		十五日	十一月	三、三八一	四、六五八	
至自	至自	七、三〇八	四一二八		至自	至自	七、〇三〇	三、六八四	
九月	十月	八、四一〇	二、七四二		廿三日	十二月	三、三八一	四、六五八	
廿六日	十一月	七、三〇八	四一二八		廿九日	十二月	三、三八一	四、六五八	
至自	至自	八、〇四九	三八		至自	至自	七、〇三〇	三、六八四	
八月	九月	九、九九九	一、六六六		十月	十一月	三、三八一	四、六五八	
十三日	十月	八、四一〇	二、七四二		廿五日	十二月	三、三八一	四、六五八	
至自	至自	七、三〇八	四一二八		至自	至自	七、〇三〇	三、六八四	
九月	十月	八、四一〇	二、七四二		十一月	十二月	三、三八一	四、六五八	
廿六日	十一月	七、三〇八	四一二八		十二月	十二月	三、三八一	四、六五八	

二、御大禮記念衛生事業

府縣名	企劃團體名	事業ノ名稱	事業ノ概要	經費
北海道廳	勇拂郡鵠川村	鵠川下水溝側工事	昭和三年十二月完成ノ見込ヲ以テ下水溝ヲ布設	六、四二六
	勇拂郡厚真村當麻内女子青年團	衛生思想普及	部内各戸へ夏期消毒用石油乳劑ノ配布	二五
	勇拂郡苫小牧町苫小牧赤心會	乳幼児保健相談及衛生デ	乳幼児ノ無料相談及優良兒ノ表彰又ハ消毒劑ノ撒布等ニヨリ衛生宣傳ヲナス	三七〇
	苫前町羽幌町	隔離病舎ノ移轉及改築	從來ノ隔離病舎ハ使用ニ堪ヘサルニ至リタルヲ以テ之カ改築ト位置ノ移轉	一〇、〇〇〇
	美幌郡美幌町衛生組合	衛生展覽會	毎年八月衛生展覽會ヲ開催シ衛生思想ノ普及宣傳ヲナス	五〇〇
	上川郡名寄町火防衛生婦人會	名寄婦人會館建設	乳幼児ノ健康相談開設或ハ衛生講話又ハ會員ノ集會等ニ使用ノタメ篤志家ノ寄附ニ依リ會館建設	五、〇〇〇
	龜田郡榎法華村衛生組合	蒸氣消毒用器具購入	消毒器具ヲ購入シ病毒傳播ノ防止	一六〇
	市立室蘭病院	産婆講習増設	看護婦養成所一學年修了者ニ對シ産婆講習ヲ加ヘ兼修セシム	經費ヲ要セス

豫定セシ豫防注射人員ハ略々完了ス

至自	至自	至自	至自
十一月三日至十八日	十一月廿七日至廿七日	十一月十四日至十四日	十月十三日至十三日
四二五	二、二六一	三、五七一	三、〇一二
一、四三六	四、〇四〇	六、三〇八	二、九九〇
計	十一月十七日至十一月十七日	十一月十四日至十四日	十一月十四日至十四日
七六、九一一	一三〇	三六九	六七一
四二、九〇一	五四二		

警視廳	警視廳	警視廳	警視廳
室蘭按摩業組合	室蘭盲啞講習所建設	盲啞者ニ對シ須要ノ科程ヲ授クルタメ同講習所ノ建設ヲ計劃中	五、〇〇〇
豐多摩郡杉並第四尋常小學校	御大典記念衛生室別室ノ設置	兒童ニ對スル簡易ナル應急措置ヲ施ス爲別室ノ設置	一、〇〇〇
下谷區御徒町一丁目町會	御徒町一丁目町會館設置	衛生講話、傳染病豫防注射其ノ他ノ集會等ニ使用	三、四〇〇
下谷區西町南部町會	西町々會館	衛生講話、傳染病豫防注射其ノ他ノ集會ニ利用ノ爲會館建築	一〇、〇〇〇
本郷區菊坂町々會	菊坂町々會保健相談部	囑託醫ヲ置キ町會員ニ對シ無料又ハ實費ヲ以テ疾病ノ治療ヲナス	會員支出
府下江北村押部井戸改造組合	井戸改造	會員ノ釀金ヲ以テ各戶使用ノ井戸ヲ改造	六、四八〇
西新井々戶改造組合	井戸改造	會員ノ釀金ヲ以テ各戶使用ノ井戸ヲ改造	三、一二五
府下江北村鹿濱東井戸改造組合	井戸改造	會員ノ釀金ヲ以テ各戶使用ノ井戸ヲ改造	五、四〇〇
府下江北村鹿濱古内井戸改造組合	井戸改造	會員ノ釀金ヲ以テ各戶使用ノ井戸ヲ改造	五、四〇〇
牛込看護婦會	所屬看護婦ノ病後轉地療養所設置	所屬看護婦ノ病後ノ療養ニ充ツルタメ湘南又ハ熱海地方ニ療養所設置	每年六〇〇

警視廳	東京府	東京府	東京府
南葛飾郡瑞江村二ノ江給水組合	井水供給方法改善	組合員二百五十戸ニ對シ簡易水道式ノ方法ヲ以テ井水ヲ供給スルノ設備	一一、〇四一
大日本美髮會本所太平支部	美髮改良研究會	衛生解剖、藥物、理髮技術等改善研究ノ爲毎月一回會合	會員支出
在日本救世軍財團	病院設置	一般患者ノ實費診療	二〇〇、〇〇〇
岩城町々會	私設下水道設置	東京市ノ下水道ニ至ル間ノ下水道設置	一、三〇〇
本銀町四丁目町會	公衆用塵芥容器設置	一般公衆用トシテ適當ノ箇所ニ設置	二〇〇
京橋區本港町々會	防蠅設備	町内四百戸ニ對シ便所ノ窓及掃出口ニ金網設備	四〇〇
南葛飾郡松江町西船堀、東船堀、西一ノ江、東小松川各給水組合、	井水供給方法改善	西船堀ハ組合員五十戸、東船堀ハ組合員百戸、西一ノ江ハ組合員八十六戸、東小松川ハ組合員九十四戸ニ對シ各々簡易水道式ノ方法ヲ以テ供給ノ設備ヲナス	西船堀 二、五〇〇 東船堀 五、三〇〇 西一ノ江 五、八〇〇 東小松川 六、〇五〇
東京府	結核療養所設立	場所未定、敷地坪數一萬坪 建坪千二百八十一坪木造 收容人員二百名 昭和五年六月竣工ノ豫定	二八〇、〇〇〇
東京府	高齡者生理的狀態調査	御大禮養老典ニ際シ賜盃ノ恩典ニ浴シタル東京市内在住者三千九百名中承諾ヲ得	

京 都 府

京都市産婆組合	妊産婦收容所、及組合事務所、産婆學校設立	開業醫ノ病舎寄附ニ依リ之ニ適當ナル建築物ヲ附加設置シ上記ノ各事業ヲ行フニ充ツ敷地ハ御前通り丸太町下ル約百坪昭和四年六月落成ノ見込ミ	九、〇〇〇
祇園甲部貸座敷組合	道路舗装及下水溝改修	京都市四條通ヨリ歌舞練場ニ至ル道路ノ舗装工事及同西側下水溝改修昭和三年十月竣工	一一、五〇〇
宮川町貸座敷組合	道路ノ舗装及下水溝改修	組合区域内ノ道路舗装及下水溝改修昭和二年十二月竣工	二〇、〇〇〇
松原料理飲食同業組合	店員健康保全事業	店員傷病ノ場合無料診察ヲ受ケシムル豫定、尙將來ハ無料治療ニモ及ホス可キ希望	年額五〇〇
加佐郡西大浦村千歳水道組合	簡易上水道布設	本部落ハ土地ノ關係上各戸ノ井水ハ飲用ニ適セス加フルニ部落内河川ノ上流ニ瀨患者アリ依テ今回之ヲ設置シテ飲料水ノ改善ヲ計ル	六一五
京都理髮組合	京都理髮學校及組合事務所新築	豫テ計劃ノ處今回記念事業トシテ建坪六十坪ノ木造二階建々造物ヲ新築シ現在ノ帝國理髮學校ヲ移轉シ之ヲ校舎及組合事務所ニ充當	二五、〇〇〇

京 都 府

京都産婆組合	平安産婆學校及組合事務所新築	寄附金募集中ノ處既ニ八千圓ノ寄附アリ敷地二百坪ヲ借受之ヲ新築シ之ニ産婦收容所ヲモ併置スルノ計劃	一〇、〇〇〇
加佐郡河東村	寄生蟲驅除	村民全部千名ニ對シ實施	二五〇
加佐郡丸八江村	寄生蟲驅除	村民全部千名ニ對シ實施	一五〇
相樂郡上狛町高麗村	傳染病隔離病舎	傳染病豫防救治ヲ目的トシテ上記兩町村聯合シテ建設	二、七六〇
相樂郡木津町外四ヶ村隔離病舎組合	傳染病隔離病舎	傳染病患者收容救治ヲ爲スタメ上記町村聯合シテ建築維持	一四、一二二
相樂郡木津町	下水設備改良工事	長サ一五〇間深一尺巾一尺ノ溝新設シ及路面ノ修理ス	一、三九六
福知山町	寄生蟲驅除	昭和三年十月二十五日海人草ヲ以テ町醫學校醫監督ノ下ニ上記各町村各住民全部ニ對シ寄生蟲驅除ヲ爲ス	三一二 四五 五一 四三 四一 三二 四三 四四 四五
細見村	〃		四三
川合村	〃		四一
上六人部村	〃		三二
中六人部村	〃		四三
下六人部村	〃		四四
西中人部村	〃		四五
雀部筋村	〃		四五





大阪府		神奈川縣	
大阪府產婆會	才產ノ博物館設立	足柄上郡共和村	隔離病舎新築
大阪府藥劑師會	會館設立	足柄上郡吉田島村	改良便所新設
大阪府開局藥劑師會	衛生試驗	高座郡御所見衛生組合	上下水改良
		中郡東秦野村	隔離病舎水道敷設
		足柄下郡湯本町	塵芥燒却場新設
		高座郡藤澤町	町立病院新設
		愛甲郡高峯村	簡易水道敷設
建坪百坪三階建鐵筋コンクリートノ會館ヲ建設シ才產ニ關スル參考品ヲ蒐集スル計劃	一五〇、〇〇〇		
各會員藥局ニ於テ一般公衆ヨリノ衛生試驗ノ依頼ニ應スルモノ	七〇〇		
新タニ敷地ヲ選定シ舊病舎ヲ統一シテ新築ス	一〇、〇〇〇		
十六個新設	九六〇		
井戸流場ノ改善施設及飲料水ノ検査	二五〇		
同村東田原地内敷地ヨリ湧出スル清水ヲ鐵管ヲ以テ貯水池ニ引水シ之ヲ隔離病舎ニ給水スルモノナリ	三〇〇		
中産階級以下ノ爲低廉ナル費用ヲ以テ診療ニ應シ併セテ一般傳染病患者ヲモ收容ス	四五、〇〇〇		
同村字峯部落ハ高臺ニシテ年々飲用水ニ不自由ヲ感スルアリ依テ部落民共同シテ	八〇〇		

神奈川縣		
足柄上郡寄村	衛生組合ノ設立	五〇〇
中郡南秦野村	衛生組合設立	一五〇
中郡金田村	衛生組合ノ設立	一〇〇
津久井郡牧野村	衛生組合ノ設立	四〇〇
鎌倉郡中川村	衛生組合設立	一三四
横濱市古井戸衛生組合	事務所新築	七、〇〇〇
横濱市戸部四丁目衛生組合	傳染病豫防消毒	一二〇
横濱市彌生曙衛生組合	衛生組合青年會共同會館新築	二、〇〇〇
横濱市池ノ坂山王衛生組合	衛生組合、青年會共同會館新築	一、三〇〇
	之ガ敷設シタルモノ	
	傳染病ノ豫防救治、衛生講話、講習、展覽會ノ開催、衛生施設ノ改善等衛生上必要ナル各種事項及衛生功勞者表彰等ヲナス	
	傳染病ノ豫防救治、衛生講話、講習展覽會ノ開催、其他衛生施設ノ改善、衛生功勞者表彰等一般衛生上必要ナル各種ノ事項ヲナス	
	同前	
	同前	
	諸種ノ會合講演及娛樂場等ノ會場ニ充ツ	
	傳染病豫防消毒ノ爲消毒藥及容器ヲ各戸ヘ配布	
	諸會合講演娛樂等ノ會場ニ充ツ	
	同前	

神奈川縣	兵庫縣
横濱市末吉五ヶ町衛生組合 横濱市御所山衛生組合 横濱市久保町西部衛生組合 横濱市山吹町衛生組合	横濱市久保町西部衛生組合 横濱市山吹町衛生組合
衛生會館新築 記念事務所新築 久保町西部記念館新築 定例清掃	庶民病院設置 警察病院建設 衛生展覽會開催 隔離病舎改築 共同墓地設置
諸會合、講演、娛樂等ノ會場トス 同前 同前 屋外清掃ノ爲器具購入シ人夫ノ備入レヲ爲シ大掃除ヲ行フ記念植樹モ行フ此ノ經費百二十圓	神戸市ニ本院ヲ設ケ西播、阪神地方ニ各分院並ニ淡路、但馬地方ニ各出張所ヲ設ケ主トシテ縣民ニ對シ治療負擔能力アル者ヨリハ相當額ノ診療費徵收昭和五年度ヨリ開院ノ豫定 警察官吏及其察族ニ對スル實費診療 衛生思想ノ向上發達、傳染病豫防ノ普及 從來ノ隔離病舎ハ使用ニ堪ヘサルニ至リタルヲ以テ今回之カ大禮記念事業トシテ改築シタルモノ 從來各所ニ散在セルモノヲ一ヶ所ニ集合
572	107,001
三、四八三	三六〇
二、五〇〇	二、九八五
五九、九〇〇	一、〇〇〇
一三、四三〇	三、〇〇〇

兵庫縣	兵庫縣
養父郡伊佐村 氷上郡船城村 赤穂郡尾崎村 城崎郡三方村 赤穂郡鹽屋村 美方郡兎塚村 有馬郡、中野、本庄 貴志三村共同 朝來郡粟鹿村早田部落 佐用郡徳久村 多賀郡松井庄村	簡易上水道新設 上水道敷設 トラホーム診療所設置 簡易水道敷設 簡易水道敷設 簡易水道敷設 福岡横町簡易水道敷設 衛生事務共同處理及隔離病舎建設 簡易水道敷設 隔離病舎建築 衛生施設事業
飲料水最モ不足セル部落ニ於テ十五戸ニ給水 水質不良ニ依ル傳染病豫防ノ爲 本村ノトラホーム患者多キニ鑑ミ之カ根絶ヲ計ル爲村醫、看護婦、事務員ヲシテ之カ治療ニ當ラシム 昭和三年六月廿日竣工 本村ノ飲料水不良ニシテ傳染病患者ノ發生多キニ鑑ミ今回之ヲ設ケ其ノ豫防ニ努ム 村役場、學校、駐在所、寺院、教會、其他大宇福岡字横町各戸ニ給水 目下設計書作製中 中野村負擔ノ分三、〇〇〇 本部落ハ三十正戸ノ小部落ニシテ井戸僅少飲料水ニ困却セルヲ以テ今回三ヶ所ニタンクヲ設ケ之カ充實ヲ計ル 木造平家建五十餘坪其ノ他附屬建物 便所、下水溜ノ改善、飲料水ノ改善	一、八八六 一〇、〇〇〇 二、〇〇〇 四、五一三 二、〇五〇 五、五〇〇 六九一 九、〇〇〇 一、二〇〇
573	573

兵庫縣	
城崎郡西氣村稻葉、水口、東河内部落	簡易水道敷設
川邊郡小田村	汚物掃除施行
宍粟郡山崎町	上水道敷設
加東郡上東條村衛生組合	衛生施設改善
揖保郡太市村	隔離病舎
津名郡中田村	隔離病舎改築
川邊郡小濱村川面部落	火葬場ノ改築
津名郡志筑町衛生組合	井水ノ水質検査及下水溝大掃除
三原郡阿萬村	隔離病舎改善

谿流水ヲコンクリート製貯水池ニ引水シ之ヨリ鐵管ヲ以テ各戸ニ給水尙必要ノ箇所ニ防火栓ヲ設ケ防火ニ努ム	一六、〇〇〇
昭和二年七月ヨリ掃除巡視二名及掃除人夫十人ヲ使役シ村内一圓ノ掃除施行	一五、一九二
面積約三十坪ノコンクリート貯水池ニシテ三十馬力電動力ポンプ一臺豫備一臺ヲ設備ス、給水區域山崎町一圓人口八千人	一〇〇、〇〇〇
衛生看板設立、衛生講習會開催、基本財産増殖、衛生冊子ノ配布、消毒器設備、宣傳印刷物配布衛生委員等ニ記念品ノ贈呈等衛生施設ノ改善ニ努ム	二一〇
増改築ヲナス	一三、一二六
從來ノ病舎ハ狹隘且腐朽セルヲ以テ今回之ヲ移轉改築スルモノ	七、〇八六
從來ノ火葬場ハ破損其ノ使用ニ堪ヘサルヲ以テ今回之ヲ改築シタルモノ	四、四八六
那藥劑師會員十三人ヲ以テ町内各戸ノ井水五〇六ノ水質検査施行及下水溝ノ大掃除ヲナス	一〇五
病舎内ノ設備ヲ改善シ排水工事屋根ノ修理等ヲナス	三〇〇

兵庫縣	
養父郡口大屋村	簡易上水道
佐用郡佐用町	隔離病舎改築
城崎郡長井村	隔離病舎改築
同上	上水道設置
養父郡關宮村	簡易上水道敷設
養父郡八鹿町	簡易水道敷設

長崎縣衛生課及縣醫師會	財團法人長崎縣衛生協會ノ設立	結核、花柳病、トラホーム、急性傳染病寄生蟲地方病等ノ豫防撲滅及齒科、醫事衛生並藥事衛生ノ普及發達、衛生思想ノ普及其他衛生ニ關スル各般ノ施設ニ關スル事項	會員募集中
南有馬村	南有馬村トラホーム治療所	醫師、看護婦ヲ聘シ一般村民ノトラホーム患者ニ對シ無料ニテ治療	二、〇〇〇

新潟縣	山口村	山口村トラホーム治療所	醫師、看護婦ヲ聘シ一般村民ノトラホーム患者ヲ無料ニテ治療	一、三七五
財團長岡病院 南魚沼郡醫師會 中頸城郡直江津町新橋青年團 南蒲原郡大面村北潟簡易水道組合 北蒲原郡產婆組合聯合會 新潟市產婆會 佐渡郡河原田外二ヶ村產婆會 佐渡郡相川町產婆組合 南埼玉郡清久村	夜間結核相談所 御大典記念學術研究會 塵芥棄却場ノ設置 簡易水道ノ布設 貧困妊產婦ノ無料取扱 記念無料診察 妊婦無料診察 妊婦無料診察 隔離病舎改築及火葬	一般結核患者ノ相談ニ應ジ療養上ノ指導ヲ爲ス 毎年ノ定期總會時又ハ臨時集會ヲナシ醫業向上ニ關スル學術研究會ヲ開催 塵芥棄却場ヲ設置シ夜間ノ便ヲ圖リ二百燭光ノ電灯ヲ架設ス 鑿井ニ依リ水源ヲ求メ簡易水道ヲ布設シ同字七十四戸ニ給水 無料助産券ヲ郡内各警察巡查派出所、町村役場、方面委員ニ配布シ貧困者ノ無料助産及乳兒保育ニ關シ相談ヲナス 毎月十日ヲ記念日トシテ當日妊婦ノ無料診察ニ應ス 御大典當日ヲ記念日トシテ毎年十一月十日ハ妊婦ノ無料診察ニ應ス 毎年十一月十日ヲ記念日トシテ妊婦ノ無料診察ニ應ス 從來ノ不備ナル隔離病舎ヲ改築シ又火葬	院長之ニ衝リ費要ヲ要セヌ 各自負擔 三〇〇 二、三〇〇	一一、五三六

五七六

群馬縣	千葉縣	場建設	場三ヶ所ヲ一ヶ所ニ合併建設	八、二四〇
入間郡越生町 北葛飾郡富多村 該當事項ナシ	安房郡白濱村 山武郡成東町外四ヶ村組合 天羽理髮營業組合 千葉市醫師會 千葉縣	隔離病舎新築 火葬場新設 隔離病舎建設 隔離病舎建設 店舖改善及理髮デパート 看護婦學校ノ充實 縣立公園設置(計劃中)	從來ノ隔離病舎ハ使用ニ堪ヘサルニ至リタルヲ以テ之カ新築ヲ爲ス 從來完備セル火葬場ノ設置ナキヲ以テ之カ新設 海濱高燥ノ地ニ建築 從來完全ナル隔離病舎ノ設置ナク防疫上支障不尠サリシニ鑑ミ成東町及南郷、大富、日向、睦岡以上五ヶ町村組合ヲ設ケ大富村ニ建築 昭和三年十月十日以降向五ヶ年間毎日五錢ツ、ヲ醸出貯金シ店舖改善ノ資金トナシ又毎年十一月十七日ヲ理髮デパート定メ當日各小學校ニ於テ兒童ノ無料理髮ヲ爲ス 從來修業年限一ヶ年ヲ二ヶ年トシ又校舎ノ増築、教材増補等ヲナシ指定看護婦學校ヲラントス 縣民保健萬人休養ノ地タラシムル爲鹿野	五〇〇 一一、〇三一 一五、〇〇〇 ナシ 五、〇〇〇 一〇、〇〇〇

五七七

茨城縣

筑波郡北條町外一町八ヶ村	隔離病舎設置	山公園ヲ篤志家ノ寄附ニ依リ設置セムトス	二五、〇〇〇
新治郡美並村外五ヶ村	隔離病舎設置	傳染病豫防ノ爲美並村外五ヶ村聯合ヲ以テ設置ノ計劃中	一二、〇〇〇
新治郡榮村	隔離病舎設置	傳染病患者收容	八、〇〇〇
稻敷郡江戸崎町外二ヶ村	隔離病舎設置	傳染病豫防ノ爲三ヶ村聯合ヲ以テ建設	七、七八六
稻敷郡中久村外二ヶ村	隔離病舎設置	傳染病豫防ノ爲三ヶ村聯合ヲ以テ建設	七、〇〇〇
稻敷郡大宮村外一ヶ村	隔離病舎設置	傳染病豫防ノ爲二ヶ村聯合ヲ以テ建設	六、〇〇〇
敷郡根本村外一ヶ村	隔離病舎設置	傳染病豫防ノ爲二ヶ村聯合ヲ以テ建設	二、〇〇〇
猿島郡八俣村	婦人衛生會	村内大字毎ニ於テ衛生講話會ヲ開催シ衛生思想ノ普及啓發ニ努ム	五〇
結城郡岡田村	岡田村婦人衛生組合設立	衛生思想ノ普及並乳幼児保護養育ヲ爲ス	三〇
北相馬郡菅生村	婦人衛生團	毎年二回以上衛生技術員其他名士ノ招聘	ナシ

茨城縣

同郡坂手村	同郡内守谷村	新治郡都和村	新治郡藤澤村	東茨城郡長岡村婦人衛生會	鹿島郡若松村	筑波郡豐村大字豐體村民有志	眞壁郡鳥羽村小學校	東茨城郡稻荷村役場	筑波郡總上村	新治郡志士庫村
婦人衛生組合ノ組織	婦人衛生團ノ組織	婦人衛生講話會並講話會	改良便所設置	改良便所設置	飲料水検査	兒童ノ健康増進	兒童ノ健康増進	少年保衛團ノ組織	保健少年團組織	少年保衛團ノ組織
ヲナシ講演會ヲ開催シ傳染病ノ豫防、妊娠育兒其ノ他保健衛生ニ努ム	婦人衛生施設ノ改良發達ヲ圖ル	婦人衛生思想ノ向上普及ヲ圖ル	毎年春秋二回總會ヲ開キ衛生技術員並講師ヲ聘シ講話會及講習會等ヲ開催	傳染病並寄生蟲病豫防ノ爲村民共同シテ設置	村民有志ヲ以テ築造	兒童三百七十六人ニ對シ寄生蟲検査ヲ行フ	村内全部ノ飲料水検査ヲ行ヒ不適當ノモノハ相當改善ノ方法ヲ講セリ検査總數三六八個	保健衛生ニ關スル各種ノ宣傳、傳染病患者ノ早期發見、蠅ノ驅除、石油乳劑ノ撒布等ヲ爲シ小學校兒童ヲ以テ組織	保安衛生ノ補充的活動ヲ助長シ自衛自警ノ思想ヲ鼓吹ス	ナシ
町村衛生組合費負擔及有志ノ寄附	二、〇〇〇	七二八	二〇	衛生組合費負擔	有志ノ寄附	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ

奈 良 縣	奈良縣藥劑師會	御大禮記念施藥	一ヶ年一千枚ノ施藥券ヲ發行シ貧困者ニ	一〇〇〇
	柘木縣藥劑師會	無料調劑	無料調劑券ヲ縣下ニ六百枚ヲ配布シ保導員ヲ經テ貧困者ニ對シ無料調劑ヲナス	五〇〇
柘 木 縣	足利市衛生組合	足利市細菌検査所	一般細菌學の検査ヲ爲ス	一、〇〇〇
	上郡賀郡小來川村役場	改良便所	主ニ結核病患者ニ使用シタル物件ノ消毒	一〇〇
	芳賀郡山前村	山前村隔離病舎	無料調劑券ヲ縣下ニ六百枚ヲ配布シ保導員ヲ經テ貧困者ニ對シ無料調劑ヲナス	五、九〇〇
	芳賀郡物部村	物部村隔離病舎	無料調劑券ヲ縣下ニ六百枚ヲ配布シ保導員ヲ經テ貧困者ニ對シ無料調劑ヲナス	七、〇〇〇
	柘木縣結核豫防協會	消毒所	主ニ結核病患者ニ使用シタル物件ノ消毒	一五、〇〇〇
	柘木縣藥劑師會	無料調劑	無料調劑券ヲ縣下ニ六百枚ヲ配布シ保導員ヲ經テ貧困者ニ對シ無料調劑ヲナス	五〇〇
	結城郡宗道村	保健組合組織	一般衛生知識ノ普及	二四
	多賀郡日立町	日立町塵芥焼却場	町内ニ二ヶ所ノ焼却場ヲ設置	一、〇〇〇
	多賀郡多賀獸肉商組合	獸魂碑建設	松原町屠畜場内ニ建設	三五〇
	筑波郡上郷村役場	下水路改築工事	村内縣道ノ兩側下水路改築	四二〇
	眞壁郡大國村役場	トラホーム公設治療所	毎年一回五十日間ノ豫定ヲ以テ三ヶ年間繼續村內全住民ニ對シ無料治療ヲ爲ス	四〇〇
	猿島郡岩井町役場	下水溝ノ改修	本町ヨリ結城郡石下町ニ至ル縣道兩側ノ下水溝ヲコンクリートヲ以テ改修	三、二〇〇

三 重 縣	桑名郡大山田村	簡易水道	對シ無料投藥ヲナス	一、二七〇
	度會郡中島村	簡易水道	鐵管(延長一六三間)ニ依リ同村小學校ニ飲料水ヲ供給ス	六一五
	安濃郡雲林院村	下水溝新設	鐵筋コンクリート水槽(内容六十六石)ヲ設ケ亞鉛管ヲ以テ導水シ同村大字阿曾浦ニ給水共同使用トナス	六〇〇
	一志郡雲出村	下水溝新設	同村ノ一部ニ石材及コンクリートヲ以テ延長二百八十間ノ下水溝新設	一、〇〇〇
	河藝郡玉垣村	下水溝修繕	延長二百六十間ノ下水溝ノ破損ケ所修繕	五〇〇
	度會郡五ヶ所村	塵芥處分	各戸ニ塵芥箱ヲ設備セシメ掃除人夫ヲ常備シ又塵芥焼却場二ヶ所ヲ新設	年額一八〇
	三重郡楠村	隔離病舎新設	傳染病患者收容ノ爲敷地二百七十坪ノモノヲ新設	六、五〇〇
	河藝郡一ノ宮村	隔離病舎新設	傳染病患者收容ノ爲敷地七十三坪ノ病舎新設	三、〇〇八
	志摩郡名田村	隔離病舎新設	病室十一坪半、事務室三坪半其ノ他二坪半三棟ノ病舎新設	一、三四九

三重縣

阿山郡城南村	隔離病者新設	敷地七十八坪ノ病舎新設	五、〇〇〇
宇治山田市	傳染病院増改築	六十六坪ノ病舎一棟及現病舎ニ附屬室ヲ増築	一〇、六〇九
河藝郡一ノ宮村	火葬場新設	無嗅裝置座棺窯ノモノヲ煉瓦及石材ヲ以テ築造	七五〇
阿山郡王瀧村	便所改築	同村小學校ノ便所改築	一、五〇〇
阿山郡乳業組合	牛乳無料配給	牛乳配給券ヲ作製郡内貧困病弱者ニ配付無期限無料牛乳ノ配給ヲナス	特ニ經費ヲ計上セス
飯南郡柿野町消防組第一部	道路散水	塵芥ノ飛散ヲ防ク爲一、二、三月ヲ除キ毎日道路ニ散水ス	一ヶ月一八
三重縣理髮業協會	理髮講義録ノ出版	理髮衛生智識普及ノ爲講義録千五百部ヲ出版、業者ニ頒布	實費頒布
名張理髮業組合	理髮師研究會ノ設立	毎月一回理髮衛生及技術ノ研究會ヲ開催	特ニ經費ヲ要セス
鳥羽警察署管内理髮業組合	無料理髮	管内貧困者救済ノ爲メ理髮無料券ヲ交付シテ無料理髮ヲナス	組合員ノ平等負擔
三重縣藥劑師會	印刷物配布	小冊子「井戸水ノ消毒法」五千部及一枚刷「簡易消毒法」三十一萬五千枚ヲ學校、工場又ハ各戸ニ配布	二五〇
宇治山田市	下水溝改修	計劃中	

愛知縣

宇治山田市	塵芥燒却場新設	計劃中	
度會郡二見町	隔離病舎新設	町役場ノ新設ヲ待チ其舊材料ヲ以テ新設スル旨下計劃中	
阿山郡西柘植村	隔離病舎新設	計劃中	
三重縣醫師會	會館建設	御大典ノ盛儀ヲ永久記念スルタメ會館ノ建設ヲ決議セリ	
志摩郡布施田村	隔離病舎新設	計劃中	
岡崎市醫師會	醫師會館建設	醫師會員ノ集會場ニ充テ醫藥療法研究ヲナシ又産婆、看護婦ノ養成	二〇、〇〇〇
賀茂郡稻取町	稻取町上水道敷設	從來簡易水道ナリシヲ上水道トシテ敷設スルコトニ決定其ノ計劃進捗中	三〇、〇〇〇
駿東郡長泉村上狩	上狩簡易水道組合設立	組合員五十名ニ飲料水及消火用水配給ノ目的ヲ以テ昭和四年四月簡易水道敷設ノ着手豫定	五、〇〇〇
榛原郡醫師會	醫學研究部設置	毎年一回以上斯道ノ大家ヲ招キ學術研究ヲ爲シ又會員ノ研究發表	一〇〇
小笠郡曾我村	隔離病舎新設	從來ノ隔離病舎ハ大正十年失火燒失シ爾來未設置ノ處今回之カ新築ヲ爲ス	六、一〇〇
周智郡森町藥業同業者	藥業組合設立	近ク成立ヲ見ルヘキ縣藥業組合ト連絡ヲ保チ組合員相互ノ親睦斯業ノ發展ヲ期ス	組合員ノ出金



山梨縣	滋賀縣
<p>庵原郡由比町寺尾</p> <p>阿僧簡易水道敷設</p> <p>簡易水道組合ヲ設ケ組合員ニ飲料水及消火用水ノ配給ヲ目的トシテ今回之カ敷設</p> <p>組合ヲ設ケ組合員ニ飲料水及消火用水ノ配給ヲ目的トシテ今回之カ敷設</p> <p>一、九〇〇</p> <p>一九、八〇〇</p>	<p>伊香郡理髮組合</p> <p>御大禮記念理髮講習會</p> <p>組合員相圖リ斯業ノ改善發達ヲ期スル爲衛生ニ關スル講演並實地ノ指導研究ヲ爲ス</p> <p>記念事業トシテ十六ヶ所ノ水槽及排水工事ヲ完了ス</p> <p>從來ノ貯水池ハ小規模ナリシヲ改修シタルモノ</p> <p>上記四ヶ村共同シテ隔離病舎ノ建設ヲ企劃</p> <p>一二〇</p> <p>二八三</p> <p>一六〇</p> <p>二三、八二二</p>
<p>山梨縣醫師會</p> <p>山梨縣醫師會結核豫防協會</p> <p>醫師會員並同會ノ目的ニ贊助スル者ヲ以テ組織シ結核性疾患ノ豫防撲滅ヲ圖ル爲結核療養所ノ設置、健康相談所ノ設置等結核豫防ニ關スル講演ポスター、パンフレットノ配布其他必要ナル事業</p> <p>保健衛生及防疫上ヨリ簡易水道ノ敷設ヲ爲ス</p> <p>組合員負擔 (一部ハ縣補助)</p> <p>會員ノ醜金及有志ノ寄附</p> <p>一、八〇〇</p>	<p>北巨摩郡清哲村青木櫻水水道組合</p> <p>飲料水改良</p> <p>飲料水々道貯水池</p> <p>四ヶ村共同隔離病舎</p> <p>伊香郡丹生村大字上丹生</p> <p>上丹生飲料水衛生組合</p> <p>伊香郡余吳村阪口南組水道組合</p> <p>栗太郡物部村、太寶村、常盤村、葉山村共同</p> <p>八〇〇</p> <p>八、〇〇〇</p> <p>二、五〇〇</p>

岐阜縣	長野縣
<p>甲賀郡土山町</p> <p>簡易火葬場設置</p> <p>從來火葬場ノ設置ナク不完全野燒ナリシヲ今回完全ナル火葬場ヲ設置シタルモノ</p> <p>從來上記各町村ニハ隔離病舎ノ設置アルモ之カ保存維持ニ多大ノ冗費ヲ要スルヲ以テ之カ輕減ヲ計ル爲今回合併經營スルモノナリ</p> <p>八〇〇</p> <p>八、〇〇〇</p>	<p>惠那郡付知町</p> <p>隔離病舎新設</p> <p>本町ニハ從來隔離病舎ナカリシ爲昭和三四年ノ二ヶ年繼續事業トシテ之カ新築</p> <p>約七百人ニ供給</p> <p>部落民六十戸ニ給水</p> <p>巡回産婆及補助産婆各一名ヲ常設シ助産及乳兒ノ保護ニ當ル</p> <p>治療及衛生上ノ指導ニ當ル爲村ノ醫師ヲ飲託</p> <p>飲料水ノ改善</p> <p>飲料水ノ改善</p> <p>唐澤簡易水道敷設</p> <p>三反田簡易水道敷設</p> <p>松尾村妊婦乳兒健康相談所</p> <p>下久堅村兒童保護會</p> <p>下伊那郡下久堅村</p> <p>北佐久郡大里村菱野</p> <p>海瀨村簡易水道敷設</p> <p>菱野簡易水道敷設</p> <p>下伊那郡下久堅村</p> <p>下伊那郡松尾村</p> <p>東筑摩郡入山邊村三反田衛生組合</p> <p>東筑摩郡山形村唐澤簡易水道組合</p> <p>上高井郡豊丘村園里水利組合</p> <p>二、五〇〇</p> <p>一、八〇〇</p> <p>五、五七〇</p> <p>一、五〇〇</p> <p>一、八〇〇</p> <p>二、三二三</p> <p>二、五〇〇</p>

宮城縣	福島縣	岩手縣	青森縣
上水内郡小田切村下 小鍋飲料水改良組合	桃生郡飯野川町	東磐井郡千厩町衛生 組合 同上	北津郡醫師會 東津輕郡小湊町大字 淺所衛生組合
下小鍋簡水水道敷設	上水道施設 栗原郡宮野村 登米郡登米町 下水溝ノ改善	用水路改修 無料施藥	乳幼児健康相談所設 置 改良便所築造 青森縣衛生協會設立 公營產婆設置
飲料水ノ改善	町民ノ大部分ハ河水ヲ飲用シ傳染病ノ流 行ヲ見ツ、アル狀況ニ鑑ミ上水道敷設計 劃整ヒ目下工事進行中 從來飲料水ノ窮乏ノ爲保健衛生上憂慮ス ヘキヲ以テ之カ上水道敷設 從來ノ下水溝不完全ニシテ下水ノ排水疎 通不良ノ爲不潔ニ傾キ易キ狀況ニ鑑ミ之 カ改善目下工事進行中 半額治療券ヲ發行シ貧困市民ノ救療ヲ爲 ス	町内用水路及下水路ノ改修 時候病ニ對スル應急藥ヲ町醫ノ處方ニ依 リ各戸ニ配布スル見込(計劃中) 郡内貧困者救療ノ爲無料施療 共同浴場三ヶ所ヲ設置シ組合員ノ入浴奨 勵	乳兒ニ對スル衛生上ノ注意書ヲ配付シ尙 乳幼兒ノ保健相談ニ應ス 消化器傳染病及寄生蟲病豫防ノ爲村民全 戸之カ築造ヲナス 縣民ノ保健及公衆衛生施設ノ完備ヲ期ス 村内ニ產婆一名ヲ置キ產婦臨床ノ需ニ應 セシム 村内ノ乳幼兒ノ健康相談ニ應セシムル爲 村醫囑託
一、五〇〇	七〇、〇〇〇 四、〇〇〇 二〇、〇〇〇	一一〇 八〇	ナシ 一、九二〇 五九〇 二〇〇、〇〇〇 一〇〇

山形縣	青森縣
東田川郡余目町簡易 水道組合 東田川郡狩川村大字 三ヶ澤簡易水道組合 東田川郡黄金村青龍 寺用水組合 西田川郡温海村衛生 組合 東置賜郡犬川村衛生 組合	南津輕郡大光寺村役 場 上北郡横濱村大字濱 田 青森縣警察部 三戸郡下長苗代役場 三戸郡階上村役場
簡易水道敷設 簡易水道敷設 簡易水道敷設 簡易水道敷設 温海村下水改良 犬川村衛生組合互助	乳幼児健康相談所設 置 改良便所築造 青森縣衛生協會設立 公營產婆設置 乳幼児健康相談所設 置
數年間繼續的ニコンクリートヲ以テ全村 ニ亘リ改良ス 村民中ニ於テ不慮ノ疾病、負傷、出産、 各戸ノ據金ヲ以	吸水井及揚水機ヲ設備シ鐵筋コンクリー トタンクヲ以テ貯水組合員二十戸ニ給水 部落ヨリ三百間ヲ離ル山中ニ水源地ヲ設 ケ全部十二戸ニ給水 從來河水ヲ飲用ニ供シツ、アリシカ降雨 等ノ場合汚染又ハ不潔混入シ保健上憂慮 スル處アリシカ今回之ヲ敷設部落十六戸 ニ給水 數年間繼續的ニコンクリートヲ以テ全村 ニ亘リ改良ス 村民中ニ於テ不慮ノ疾病、負傷、出産、 各戸ノ據金ヲ以
三〇〇	二、五九五 二、二五一 五一二 一〇〇

組合	西置賜郡蠶桑村	會	死亡等ニ依リ一時ニ多額ノ資金ヲ要スル場合低利ニ融通シ隣保相互扶助	テ之ニ充當
秋田縣	秋田市衛生組合聯合會	衛生會館建設	衛生參考品陳列、衛生諸會ノ集合所、又ハ修學旅行團體宿泊所其他公共事業諸會合所ニ充ツ	一〇、〇〇〇
福井縣	春山青年團春山小學校	春山兒童遊園地設置	總坪數百六十餘坪ニシテ之カ利用者約四千ノ見込	五〇〇
	大野郡猪野瀨村青年團在郷軍人分會、處女會消防組	公開運動場設置	總坪數千三百二十五坪ニシテ一般村民ノ利用ニ供ス、維持方法ハ各團體員ノ奉仕費用ハ村費補助	一、〇七二
	大野郡富田村藏生小學校及青年團	藏生大原スキー場	總坪數千八百坪ニシテ一般ノ利用ニ供ス	七〇
	大野郡坂谷村伏石青年會處女會	向山スキー場	總坪數六千坪	二〇〇
	福井縣スキー俱樂部武生支部	大野郡石徹白村公開運動場	坪數五百三十二坪ニシテ元村長上村氏ニ於テ寄附シタルモノ	三〇〇
	三方郡山東村	山東小學校運動場	坪數約五萬坪ニシテ之カ利用者約四千名ノ見込	二、七五〇

福井縣

大野郡比谷村中尼今立郡服間村	中尾區共同簡易水道公設產婆	千餘名ノ見込	一、七六三
今立郡粟田部保健組合	寄生蟲驅除	給水人口一一三人	年額四八〇
敦賀郡東郷村井川區	井川簡易水道	每年七、八、九、十ノ四ヶ月寄生蟲驅除トシテ海人草服用	二〇
敦賀牛乳搾取營業者組合	牛乳濾過器共同購入	給水戸數二四、學校一、	七、八〇〇
吉田郡吉野村水道組合	簡易水道敷設	ミルクフェルター四臺ヲ共同購入セリ	三〇〇
丸岡三業組合	丸岡町霞公園改善事業	雜草伐採、櫻楓等ノ植樹	四、五〇〇
南條郡河野村大良	大良區水道敷設	給水戸數四十八戸	六〇〇
南條郡河野村河野	河野區水道敷設	給水戸數十三戸	三、〇〇〇
南條郡河野村櫻橋校關係區	櫻橋運動場	八百坪ノ土地ヲ開墾シタルモノ	二〇〇
南條郡醫師會	貧困者救療	貧困者救療ノ爲郡内警察及町村役場へ治療券ヲ配付	八〇〇

石川縣

該當事項ナシ

富山縣

西礪波郡高波村  
西礪波郡石堤村  
氷見郡窪村  
下新川郡南保村  
東礪波郡梅檀山村  
西礪波郡若林村  
婦負郡百塚村  
東礪波郡青島村東山見村衛生組合

傳染病院設置  
隔離病舎設置  
隔離病舎設置  
隔離病舎設置  
隔離病舎設置  
隔離病舎設置  
公設產婆設置  
塵芥燒却場設置

一般傳染病患者診療、二階建ニシテ建坪八十二坪餘病床十四、便所ハ改良便所トス  
傳染病患者收容、平屋建ニシテ建坪五十餘坪病床八、便所ハ改良便所  
傳染病患者收容、二階建六十餘坪、病床數十一  
傳染病患者收容、平屋建六十坪餘、病床數十二  
傳染病患者收容、平屋建六十七坪餘、病床數八  
傳染病患者收容、平屋建四十坪餘、病床數八  
本村ニハ從來產婆在住セサリシ爲村費今回之カ設置ヲナシ五ヶ月以上ノ妊婦ノ家庭往診又ハ分娩後一ケ年間ハ幼兒ノ保育指導ノ爲家庭訪問ヲナス  
兩村ハ接續セル人家密集ノ處ナルモ塵芥燒却場ナク保健衛生上寒心ニ不堪今回共同シテ設置シタルモノ燒却能力一日八

一三、〇七五  
五、〇八三  
一二、九三一  
一二、二七八  
一〇、四五一  
五、三一〇  
二〇〇  
六二〇

鳥取縣

東礪波郡青島村外十六ヶ町村  
西伯郡法勝寺村青年團  
米子市  
八頭郡安倍村  
西伯郡渡村  
西伯郡境町  
東伯郡榮村  
米子市醫師會  
東伯郡由良町大字由良婦人會

堀抜井戸及簡易水道  
運動場設置  
小學校運動場ノ擴張  
小學校運動場ノ改善  
小學校雨天體操場ノ擴張  
町營舊臺場公園擴張  
村醫住宅建築  
醫師會館建設  
神社佛閣墓地ノ掃除  
臨時托兒所ノ設置

千貫  
上記各町村民六名乃至卅四名共同シテ新設  
地方有志ノ寄附金ニ依リ敷地五段歩ヲ買収シ之カ設置  
市内小學校ノ屋外運動場ノ擴張改善、坪數二千三百五十八坪餘  
既設小學校運動場ノ地均改善  
雨天體操場三十坪ノ擴張  
舊臺場公園ノ南方五反四畝二十六步擴張  
村醫設置ノ目的ニテ村醫住宅二十二坪ノモノ建設  
會員一人毎年七圓ヲ釀金積立之ヲ以テ建設、貧民救療、產婆看護婦ノ養成、其他保健衛生ニ關スル事業  
勞力奉仕ヲ以テ毎年一回會員全部出動シテ之ヲ行フ  
毎年農繁期十日間ヲ期間トシテ無料托兒所設置

最少限一一一  
最大限一五〇〇  
三、〇〇〇  
四、〇〇〇  
四〇〇  
七〇〇  
五、九七七  
二、〇〇〇  
五、〇〇〇  
ナシ  
五〇